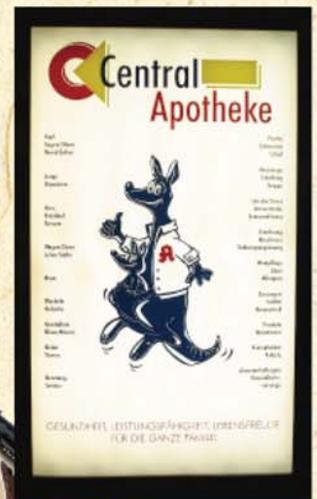




# 沖縄県薬剤師会報

No.277. 2015(平成27年) 7・8月号



沖縄県薬剤師会

# 目次

表 彰	日本薬剤師会有功賞受賞（嘉陽美津子先生、今井忠子先生、大城清吉先生、桜川浩太郎先生）…（1）
新旧会長挨拶	退任の挨拶…神村 武之…（2） 会長就任挨拶…亀谷 浩昌…（3）
新役員紹介	新理事・新監事…（4）
第72回通常総会	第72回通常総会開催…大城 喜仁…（7） 第72回通常総会会長挨拶…神村 武之…（8） 第72回通常総会懇親会…大城 喜仁…（12）
第72回通常総会資料	平成26年度会員・薬局等の業態現況報告…（13） 平成26年度事業経過報告および平成26年度決算…（14） 第72回通常総会議案審議および質疑応答の概要…（31）
会務ハイライト	第1回「薬剤師のための症例検討入門」研修会開催報告…潮平 英郎…（40） アッセンハイマー慶子氏 講演会&情報交換会報告…伊差川サヤカ…（42）
実務実習	平成27年度Ⅰ期薬学生実務実習報告…我喜屋美香…（45） 実務実習薬学生平成27年度Ⅰ期生からの体験記・感想…（46） 山里和代、出口仁、嘉数達紀、又吉辰磨、大宜見真希、仲宗根輝、盛根彩香、大橋あゆみ、山本要
研 修 会	公開「認定実務実習指導薬剤師」講習会…（49）
その他会務報告	平成27年度新任・新人薬剤師研修会報告…村田美智子…（50） 沖縄県医師会・沖縄県薬剤師会 おきなわ津梁ネットワークを活用した医療連携に関する協定調印式…吉田 洋史…（52） 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊…大城 喜仁…（53） 戦後70年沖縄全戦没者追悼式に参列…亀谷 浩昌…（54）
啓蒙・普及活動	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26ヤング街頭キャンペーン…（54） 薬剤師職能の啓蒙活動について「しごとミュージアム」「グッジョブ・サマースクール」…大城 喜仁…（55）
部会だより	平成27年度（第43回）沖縄県学校薬剤師部会総会・講演会報告…前濱 朋子…（58） 沖縄県学校薬剤師部会総会講演会報告…新垣慶朗・川満裕次郎…（59） 第44回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告…外間 惟夫…（61） 平成27年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会報告…森下 彰久…（66） 青年部会第10回通常総会報告…小湾 喜彦…（67）
地区だより	一般社団法人那覇地区薬剤師会第2回通常総会…那覇地区薬剤師会事務局…（68） 第13回北部地区薬剤師会定時総会報告…北部地区薬剤師会事務局…（69） 平成26年度中部地区薬剤師会総会報告…佐藤 雅美…（70）
月例相談会	第122回健康とおくすり相談会報告(担当：那覇地区薬剤師会)…鈴木 一徳…（72）
薬業連合会	平成27年第60回沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会報告…稲福 文隆…（73）
寄 稿	医療通訳ボランティア養成講座の医療講義にご協力いただき…葛 孝行…（74）
投 稿	広げよう「ブルーサークル」11月14日：世界糖尿病デー…田崎 仁…（75）
啓発ポスター	子どもによる医薬品の誤飲事故に注意！…医療安全対策委員会…（76）
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報…（80）
D I	薬事情報おきなわ No.234…薬事情報センター…（81）
転 載 記 事	医師会と薬剤師会 津梁ネットで連携 県内調剤情報一元化図る…（91） 琉球新報「南風」コーナー執筆陣に吉田洋史理事…（92） ウチナー薬草再認識へ「効用伝える薬剤師会の取り組み」…狩俣 イソ…（94） 県小児救急相談「#8000」に県薬剤師会が支援…（95） 県薬剤師会長に亀谷氏 技術向上へ研修強化…（95）
薬 草 学	身近な薬草を知ろう 第21回 ハママーチ（リュウキュウヨモギ）…狩俣 イソ…（96）
Spot Light	上原繁猛先生～偶然の出会いをチャンスに変えていく信念の男！～…池間 記世…（98）
リレー随筆	趣味遍歴…玉城 純…（100）
卒 煙 物 語	その53 19.9%という数字…え ん こ…（101）
会 務 報 告	平成27年6月～7月末日分（沖縄県薬剤師連盟会務報告）…（102）
薬連だより	平成27年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告…山城 英人…（107） 沖縄県薬剤師連盟 若手薬剤師フォーラム開催…石川 恵市…（108） 若手薬剤師フォーラムに参加して…盛本 直也…（109） 国会レポート ～スイッチOTCの促進とセルフメディケーション～…藤井 基之…（110） 国会レポート ～骨太方針2015～…藤井 基之…（111）
一 包 一 話	入院学級…橋 の 下…（112）
会 員 作 品	誌上ギャラリー（裏表紙）について…（114）
編 集 後 記	…（114）
おしらせ	『世界の薬局』表紙掲載写真を大募集！…（44） 学校薬剤師&学校薬剤師を希望の会員の皆様へ…（60） 地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！…（65） 第29回沖縄県薬剤師会学術大会の演題募集について…学術大会実行委員会…（77） 第29回沖縄県薬剤師会学術大会参加案内…学術大会実行委員会…（79） 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…（106） 会報原稿募集のご案内…（113）

# 日本薬剤師会有功賞 受賞



おめでとうございます

嘉陽 美津子先生 今井 忠子先生  
大城 清吉先生 桜川 浩太郎先生



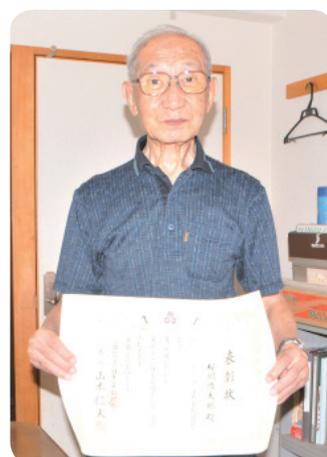
第72回通常総会懇親会(6月21日)にて  
神村武之会長(当時)から伝達授与  
受賞者を代表して受賞の喜びを語る  
嘉陽 美津子氏



今井 忠子氏



大城 清吉氏(左) 亀谷浩昌会長から伝達授与



桜川 浩太郎氏

・表紙

とよ ひら ほう うん  
題字：豊平峰雲

## 「Central Apotheke」

去る5月31日にご講演されたアッセンハイマー慶子氏のドイツの薬局「セントラルアポテーケ」アッセンハイマー慶子氏の特別講演の報告が後頁に掲載されていますので、是非お読み下さい。本誌表紙は今号より「世界の薬局」シリーズとなります。ご期待下さい。



## 退任の挨拶

第十八代会長  
神村 武之



退任にあたり挨拶を申し上げさせていただきます。

平成元年に理事として就任させて頂きまして、主に医薬分業担当、社会保険担当として職務を担わせて頂きました。その後、副会長として6年間、そして会長として10年間務めさせて頂きました。27年間という長きにわたり、私の様な浅学、非才な者が務める事が出来たのも、色々と相談に乗って頂き、ご指導、ご支援頂きました先輩を始め、行動を共にした同朋、そして後輩会員の皆様のご協力のお陰であり、無事に務める事ができました。心より感謝と御礼を申し上げます。

職務を遂行する中で、私なりに心掛けた事は「飛・耳・長・目」吉田松陰の言葉であり、座右の銘として「日々アンテナをめぐらせ、大きく情報を得る」事を心掛けたつもりです。先輩達の意味を受け止め、少しでも発展させ、そして後世へ継ぐ、孔子の言葉ではありますが、“温故知新”を志して来たつもりであります。

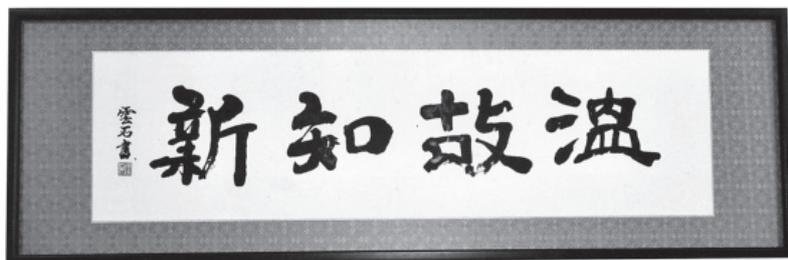
その中での薬剤師活動の拠点となる薬剤師会館が建設されたことが嬉しく思います。会館建設の節には皆様の寄付金、そして会館内

には久場トヨ先生を始め、会員の絵画、写真、書、そして豊平峰雲書家の書額、その他、シーサー、生薬等、多数ご寄贈頂きました。神農様、薬師如来像を祀った神殿と薬学・薬剤師資料館の設置には会員、関係者のご寄付を頂き、完成する事が出来ました事を嬉しく思います。薬に纏わる貴重な資料を集め保管し、後世に繋げて頂きたいと思っております。

記憶に残ることは、東日本大震災の時に日本薬剤師会から協力の依頼がくる前に、沖縄県の会員の先生方が自ら率先して災害救助に行きたいと申し出があり、会も即支援に乗り出しました。その節には多くの医薬品の贈呈、支援、並びに短期間に会員の皆様から1,300万円もの救援金が集まり感動しました事は今でも忘れません。

退任するにあたり、至らぬ処も多々あります。薬剤師職能向上のための課題が多く残っておりますが、次期執行部に引き継ぎ、益々の発展を願い、期待致しております。

この様な経験をさせて頂きました事に心より感謝申し上げます。苦労も楽しみも多く体験させて頂きました。この様な良き思い出は私の心の宝です。本当に有難う御座いました。



書家 謝花雲石書



## 会長就任挨拶

第十九代会長  
亀谷浩昌



この度、2015年6月21日に開催されました、第72回通常総会にて、新しく会長に就任しました亀谷浩昌かめやひろまさです。

精力的な活動で多くの実績を重ねてこられました、前会長の神村武之先生の後任ということで、とても荷が重いのですが、誠心誠意、会員の皆様のご期待に応えられるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。何分にも経験が乏しいので、会員の皆様にはご心配をお掛けしますが、先輩方のアドバイスや事務職の助けも借りながら会務を進めてまいります。

このところ、医薬分業に対するバッシングが多々ありますが、これに対するには、国民の皆様に我々の仕事を正しく認識していただくことと、我々に対する国民のご期待に応えていくこと以外に策は無いと考えています。そのためには、我々の行っている活動や業務

についての広報活動と、地域社会に最大限貢献できるように薬剤師職能の更なる向上が欠かせません。この命題を解決するための種々の方策について具体的に考えていきますが、会員の皆様からのアドバイスやご意見も取り入れていきたいと思致します。

次に、他府県でもそうだと思いますが、若い人たちの会への加入率が低い状態にとどまっていることを何とかしないといけません。加入率の向上による組織強化が肝要です。進んで入会してもらえようような薬剤師会にしていきたいと思致します。

薬剤師がいてくれて良かった、医薬分業になって良かった、薬局があって良かった、と言われるよう、会員の皆様方と共に頑張っていきたいと思致します。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 新 理 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務・地区・職種部会



会 長 カメヤ ヒロマサ  
亀谷 浩昌

- ①昭和24年生
- ②金沢大
- ③沖縄県薬剤師会
- ④統括



副会長 エナツ キョウコ  
江夏 京子

- ①昭和23年生
- ②名城大
- ③あかみち薬局
- ④総括  
医薬分業担当



副会長 マエハマ トモコ  
前濱 朋子

- ①昭和38年生
- ②名城大
- ③がねこ薬局
- ④総括  
学校薬剤師  
部会代表



副会長 ホカマ ノブオ  
外間 惟夫

- ①昭和33年生
- ②第一薬科大
- ③琉球大学医学部  
附属病院
- ④総括・病院薬剤  
師部会代表



常務理事 ヤマザト イサム  
山里 勇

- ①昭和24年生
- ②名城大
- ③(株)ダイコー  
沖縄
- ④卸部会代表  
財務担当



常務理事 ミヤギ アツコ  
宮城 敦子

- ①昭和37年生
- ②第一薬科大
- ③クララ薬局
- ④広報担当



常務理事 ムラタ ミチコ  
村田 美智子

- ①昭和25年生
- ②九州大
- ④女性薬剤師  
部会代表



常務理事 ガキヤ ミカ  
我喜屋 美香

- ①昭和32年生
- ②昭和薬科大
- ③おもろまちメディ  
カルセンター
- ④実務実習担当

(新)



常務理事 カワミン ナオキ  
川満 直紀

- ①昭和47年生
- ②北陸大
- ③ミント薬局
- ④医療保険担当

(新)



理 事 ナリカワ ケンイチ  
成川 賢一

- ①昭和52年生
- ②東北薬科大
- ③しろがね薬局
- ④北部地区代表

# 新 理 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務・地区・職種部会

(新)



- ①昭和38年生
- ②第一薬科大
- ③(株)薬正堂・すこやか薬局グループ
- ④中部地区代表

理事 サトウ マサミ  
佐藤 雅美



- ①昭和40年生
- ②第一薬科大
- ③大浜第一病院
- ④那覇地区代表

理事 ヒメノ コウイチ  
姫野 耕一



- ①昭和39年生
- ②東北薬科大
- ③新垣薬局
- ④南部地区代表

理事 アラカキ ヒデユキ  
新垣 秀幸



- ①昭和33年生
- ②北陸大
- ③シモジ薬局
- ④宮古地区代表

理事 シモジ ヒトシ  
下地 仁



- ①昭和36年生
- ②第一薬科大
- ③幸地薬局
- ④八重山地区代表

理事 コウチ ヨシノブ  
幸地 良信



- ①昭和33年生
- ②東京薬科大
- ③福寿薬局
- ④地域保健開局担当

理事 カサハラ ダイゴ  
笠原 大吾

(新)



- ①昭和33年生
- ②北海道医療大
- ③あにも調剤薬局
- ④在宅医療担当

理事 アライ チハル  
荒井 千春

(新)



- ①昭和38年生
- ②北海道薬科大
- ③(株)琉葉
- ④医療安全対策担当

理事 ヨシトミ ユミエ  
吉富 弓江



- ①昭和48年生
- ②大阪薬科大
- ③吉田薬局
- ④災害対策担当

理事 ヨシダ ヒロフミ  
吉田 洋史



- ①昭和50年生
- ②北海道医療大
- ③ミント薬局
- ④青年部会代表

理事 イシカワ ケイチ  
石川 恵市

# 新 監 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先



オオシロ ケイコ  
大城 桂子

①昭和9年生  
②明治薬科大  
③泉薬局



トモリ ヒロカズ  
友利 弘一

①昭和23年生  
②昭和薬科大

## ご退任されました理事の先生方、お疲れ様でした！

神 村 武 之      松 山 朝 雄      田 場 英 治  
川 上 善 久      玉 城      純      (順不同、敬称略)



退任理事を代表して言葉を述べる神村武之会長（中央）  
登壇（後列）左より、川上善久理事、玉城純理事、松山朝雄副会長、田場英治専務理事



旧理事で記念撮影

## 第72回通常総会開催

日時：平成27年6月21日(日) 13:30～16:10

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

石川恵市理事の進行で通常総会を開催する旨の案内が定刻の午後1時30分にアナウンスされ開会する。通常総会は、代議員以外の会員が傍聴できる席も特別に用意された。

開会挨拶の前に、会員物故者5氏（金城栄一氏、具志堅秀子氏、新嵩武三氏、屋嘉勇氏、山田貞子氏）の先生方のご冥福を祈るため、出席者全員が起立黙祷した。

松山朝雄副会長が第72回通常総会の開会を告げる。

定款第15条の規定により、議長、副議長を選出。議長に那覇中央支部の西川裕代議員、副議長に浦添支部の吉富弓江代議員が選出された。両名より挨拶の後、議長が事務局に出席人数を確認するよう指示。事務局より報告を受けた吉富副議長が、代議員総数48名に対し出席代議員が40名で、過半数以上の出席により定款第17条の社員総会成立要件を満たしていることが述べられ、総会の成立を宣言した。

田場英治専務理事より同総会の日程の説明がなされ、続いて神村武之会長が挨拶をされた。

議題に入り、報告第1号から第2号、議案第1号から第2号までの報告と説明を各担当理事及び監事が滞りなく行った。

休憩を挟み、再び議長と副議長が登壇して質疑応答の時間に入った。質疑応答は、前半に地区薬剤師会代表質問、後半に一般関連質問という構成である。

地区薬剤師会代表質問の順番は、去る5月の定例理事会にて地区代表理事によるクジ引きにより決定されたこと、1地区あたりの代表質問は質疑応答を含め計7分であることが議長より説明された。代表質問は、①八重山地区（山城専石垣支部代議員）、②南部地区（伊敷松太郎糸満支部代議員）、③北部地区（成川賢一名護支部代議員）、④宮古地区（古謝真己平良支部代議員）、⑤中部地区（新川祥

平宜野湾支部代議員）、⑥那覇地区（具志堅興信小禄支部代議員）の順で質問演説が行われ、これらの質問に対し各担当理事が順次答弁を行った。

続けて、一般関連質問の時間に入った。同時間は前述の議案及び地区代表質問に関連する質疑応答の時間として設けられている。特に在宅医療分野に関する活発な質疑がなされた。

これら地区代表質問ならびに一般関連質問の質疑応答内容については後頁を参照いただきたい。

最後に議案第1号から第2号の採決に入った。議長が一議案毎に読み上げ、賛成の挙手にて議決していった。事務局に挙手人数カウンターの指示が出されることが無いぐらいの賛成の挙手があり、無事に全議案が承認された。

閉会の前に、今回選出された理事の中から新任理事5氏（荒井千春、川満直紀、佐藤雅美、成川賢一、吉富弓江）の紹介がなされ、閉会直後に開催される新理事による臨時理事会に於いて役職等を決定する互選が行われることが司会より述べられた。

続けて、今回退任される理事5氏（神村武之、松山朝雄、田場英治、川上善久、玉城純）に舞台へ登壇いただき、特に会長職だけでも5期10年と長きに亘って薬剤師会を先導されてきた神村武之会長から退任理事を代表して挨拶をいただいた。就任時から掲げてきた「温故知新」の精神、骨太ながら繊細なまでの事業の取り組み、数々の実績を残してきた氏だけに、その思いを語る内容となった退任の挨拶は会場を感動に包み込んだ。

神村武之会長の退任挨拶で、鳴り止まない激励のエールと拍手喝采の中、江夏京子常務理事による閉会の辞で第72回通常総会は終幕となった。（報告：事務局 大城喜仁）

## 第72回通常総会 会長挨拶



神村 武之

第72回通常総会が開催されます事を嬉しく  
思いご挨拶を申し上げます。

今回は新代議員に選出された会員の先生方  
により、会活動、会運営への評価、要望等が  
質疑、応答することで会運営の透明性、正当  
性が確認され、会活動の活性化に繋がる事を  
期待しております。

さて、昨今の世界環境情勢は国防とか宗教  
とかの名の下での戦争、テロが活発化してお  
ります。日本国に於いては、安全保障関連法  
案で集団的自衛権なる議論、論争で揉めてお  
ります。沖縄県に於いても普天間基地返還・  
辺野古移設問題で難題、課題で苦渋の選択を  
余儀なくされております。真の沖縄のために  
早期解決を願うものであります。

私達薬剤師職の環境に於いても、次々と難  
題、課題があります。今までにない医薬分業  
バッシングであります。一部の企業による高  
額所得、破格な医療機関敷地の入札購入、組  
織的に意図的な薬歴未記入、更には医療機関  
への裏リベート等の営利主義的な医薬分業で  
あり、真の医薬分業の本質から逸脱した行為  
であり、分業批判や見直し論が出るのは当然  
と受け止めなければなりません。

私達は、効率的で質の高い薬物療法を実現  
し、患者、県民に十分に理解され納得される

医療提供に努めて行かなければならないと思  
います。

厚労省大臣より去る5月26日開催された経  
済財政諮問会議に於いて、2025年までに医薬  
分業の原点に戻り、57,000総べての薬局が患  
者本位の“かかりつけ薬局”に再編し、「立  
地から機能へ」、「薬中心から患者中心へ」、  
24時間対応、在宅対応（バラバラから一つへ）  
を勧め、患者の薬物療法の安全性、有効性を  
向上し、医療費の適正化に繋げ、患者が“か  
かりつけ薬局のメリットを実感できるような  
調剤報酬を次期以降に改定をするように中医  
協で検討するとしています。厚労省大臣の発  
言と相反するように、政府内の規制改革委員  
会では、患者の利便性、経済背景から、医療  
機関の敷地内に門内薬局を許可すべきと強行  
に進めております。日本薬剤師会、全都道府  
県薬剤師会では、『経済的・機能的・構造的』  
三原則を遵守すべきと強く反対しており、関  
係機関、関係国会議員へ働きかけております。  
沖縄県薬剤師会に於いても、県選出の関係国  
会議員へは反対決議書を持って趣旨説明し、  
強く反対の意思を伝えております。

さて、皆様も新聞等でご存じの通り、この  
程、琉球大学への薬学部設置についてであり  
ますが、西普天間住宅地区返還跡地へ日米協

力の下、国際医療産業拠点として新薬の研究開発施設等「沖縄メディカル・イノベーションセンター」構想が検討され、琉球大学医学部ならびに附属病院が移転し、がん治療重粒子線施設が設置されることから、県薬剤師会として4月11日の理事会にて、琉球大学に薬学部創設に向けた方針を決定し、沖縄県、関係国会議員と相談し、創設依頼を行ってまいりました。その後、日本薬剤師連盟の薬剤師国会議員へも相談協力の依頼を致しました。実現に向け行動して行きたいと思っております。

ここ10年間で薬剤師職能が評価され、確率される大事な時期となります。去る6月15日に「おきなわ津梁ネットワーク」を活用した医療連携に関する協定書を県医師会と県薬剤師会で調印しました。医・薬連携の情報共有の下、健診、検査結果を基にした薬歴管理をし、適切な服薬指導により重複投薬、副作用を防止し、県民の健康寿命の延伸に努めて行きたいと思っております。

これからの薬剤師には医療人として、より



専門的な臨床判断能力、各疾病専門薬剤師が強く求められ、医薬品の供給、管理者としての期待と要望が増してきます。私達、薬剤師は“薬を学んで世に益す”宿命と自覚を持ち、将来の薬剤師ビジョンを描き、「将来の為に今やらなければ成らない事」を大局を見据え、会員一丸となって着実に実行して行かなければなりません。会員の皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

本日の総会の議案を慎重なご審議の上、円滑な進行をお願い申し上げ挨拶と致します。

<第72回通常総会次第>

1. 物故会員へ黙祷	司 会 理 事 石川 恵市
2. 開会の辞 (議長・副議長選出)	副 会 長 松山 朝雄
3. 議長・副議長登壇あいさつ (点呼、宣告)	議 長 西川 裕 副 議 長 吉富 弓江
4. 日程説明	専務理事 田場 英治
5. 会長あいさつ	会 長 神村 武之
6. 議題	
報告 第1号 平成26年度会務並びに事業経過報告	副 会 長 吉田 洋史
第2号 平成26年度会務並びに会計監査報告	監 事 大城 桂子
議案 第1号 平成26年度決算承認の件	常務理事 山里 勇
第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件	会長候補者 亀谷 浩昌
7. 地区代表質問	
8. 一般質問	
9. 議案審議	
10. 退任の挨拶	会 長 神村 武之
11. 閉会の辞	常務理事 江夏 京子

[第72回通常総会出席者]

<理事・監事>

敬称略

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| ○神 村 武 之 (会 長)   | ○姫 野 耕 一 (那覇地区代表)   |
| ○松 山 朝 雄 (副 会 長) | ○新 垣 秀 幸 (南部地区代表)   |
| ○吉 田 洋 史 (副 会 長) | ○下 地 仁 (宮古地区代表)     |
| ○田 場 英 治 (専務理事)  | ○幸 地 良 信 (八重山地区代表)  |
| ○亀 谷 浩 昌 (常務理事)  | ○川 上 善 久 (保険薬局部会代表) |
| ○江 夏 京 子 (常務理事)  | ○外 間 惟 夫 (病薬部会代表)   |
| ○山 里 勇 (常務理事)    | ○村 田 美智子 (女性薬部会代表)  |
| ○前 濱 朋 子 (常務理事)  | ○我喜屋 美 香 (実務実習担当)   |
| ○宮 城 敦 子 (常務理事)  | ○笠 原 大 吾 (保健福祉担当)   |
| ○玉 城 純 (北部地区代表)  | ○大 城 桂 子 (監事)       |

< 代 議 員 >

- |                |                  |                |
|----------------|------------------|----------------|
| ○成川 賢一 (名護支部)  | ○日高久美子 (浦添支部)    | ○仲村喜久子 (那覇東支部) |
| ○屋嘉比康作 (名護支部)  | ○池間 正 (浦添支部)     | ○入月 健 (那覇東支部)  |
| ○江夏 恭範 (具志川支部) | ○比嘉 保 (浦添支部)     | ○比嘉 真三 (那覇東支部) |
| ○崎山 慶子 (具志川支部) | ◎吉富 弓江 (浦添支部)    | ○高良 知子 (那覇東支部) |
| ○福地 健治 (具志川支部) | ○大塚成一郎 (首里支部)    | ○具志堅興信 (小禄支部)  |
| ○村田 成夫 (嘉手納支部) | ○金城 清二 (首里支部)    | ○上原 陽子 (南風原支部) |
| ○上原 卓朗 (沖縄支部)  | ○村上 市子 (首里支部)    | ○川上雄一朗 (南風原支部) |
| ○上原 盛和 (沖縄支部)  | ○狩俣 イソ (那覇北支部)   | ○知念 正人 (南風原支部) |
| ○鈴木 直志 (沖縄支部)  | ○伊是名秀平 (那覇北支部)   | ○小湾 勝敏 (糸満支部)  |
| ○長濱 照美 (沖縄支部)  | ○平良仔巳子 (那覇北支部)   | ○高良 武和 (糸満支部)  |
| ○普久原 隆 (沖縄支部)  | ○仲宗根正人 (那覇中央支部)  | ○松本 圭吾 (糸満支部)  |
| ○新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ○鈴木 一徳 (那覇中央支部)  | ○伊敷松太郎 (糸満支部)  |
| ○新川 祥平 (宜野湾支部) | ○渡慶次全康 (那覇中央支部)  | ○古謝 真己 (平良支部)  |
| ○仲座 方利 (宜野湾支部) | ○我喜屋恵美子 (那覇中央支部) | ○山城 専 (石垣支部)   |
| ○武富 弘記 (浦添支部)  | ☆西川 裕 (那覇中央支部)   | ☆：議長 ◎副議長      |



物故会員へ黙禱

第72回通常総会



開会の辞  
松山 朝雄 副会長



議長：西川 裕 代議員  
副議長：吉富 弓江 代議員



日程説明  
田場 英治 専務理事



報告第1号  
吉田 洋史 副会長



報告第2号  
大城 桂子 監事



議案第1号  
山里 勇 常務理事



議案第2号  
亀谷 浩昌 会長候補者



閉会の辞  
江夏 京子 常務理事



司会  
石川 恵市 理事

<地区薬剤師会代表質問演説>

<地区薬剤師会代表質問回答演説>



山城 専  
石垣支部代議員  
(八重山地区代表)



伊敷 松太郎  
糸満支部代議員  
(南部地区代表)



成川 賢一  
名護支部代議員  
(北部地区代表)



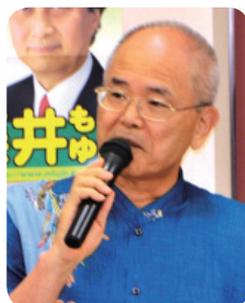
前濱 朋子 常務理事  
(学校薬剤師部会関連質問回答演説)



古謝 真己  
平良支部代議員  
(宮古地区代表)



新川 祥平  
宜野湾支部  
(中部地区代表)



具志堅 興信  
小禄支部代議員  
(那覇地区代表)



笠原 大吾 理事  
(在宅医療関連質問回答演説)

## 第72回通常総会

### <懇親会>

日時：平成27年6月21日(日) 16:45～18:30  
会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

通常総会を無事に終え、会場を研修室に移し懇親会が催された。司会の村田美智子理事により、会が進められた。

松山朝雄副会長の開会の辞に続き、神村武之会長の挨拶、仲本朝久沖縄県保健医療部長の代理で阿部義則参事が代読で来賓の挨拶をされ、相談役の新垣正次氏の乾杯の音頭で歓談に入った。

歓談が落ち着いた頃、新役員の紹介が行われた。総会終了直後に開催された新理事による臨時理事会において役職決定の互選が行われ、会長に亀谷浩昌氏、副会長に江夏京子、外間惟夫、前濱朋子の3氏、常務理事には山里勇、宮城敦子、村田美智子、我喜屋美香、川満直紀の5氏が決定された旨のアナウンスが司会からなされ、新役員から一言ずつ挨拶をいただいた。続いて、退任する神村武之会



長、松山朝雄副会長、田場英治専務理事へ新役員から感謝の意を込め花束が贈呈された。

次に、日本薬剤師会有功賞伝達授与と当会職員への永年勤続表彰が執り行われた。日本薬剤師会有功賞は長年に亘る薬剤師会への貢献を称えるもので、嘉陽美津子氏、大城清吉氏、今井忠子氏、桜川浩太郎氏が受賞され、出席された嘉陽美津子氏より喜びと感謝の言葉が述べられた。また、永年勤続表彰は、20年勤続表彰として小泉宝之氏(試験検査センター主任技師)、10年勤続表彰に奥間七英子氏(会営薬局とよみ薬剤師)、赤嶺美樹氏(県薬事務局)、金城みどり氏(薬事情報センター事務)の4氏が表彰された。

大いに盛り上がった懇親会は、吉田洋史副会長の挨拶で閉会となった。

(報告：事務局 大城喜仁)



開会の挨拶  
松山 朝雄 副会長



来賓挨拶  
阿部 義則 参事



乾杯の音頭  
新垣 正次 相談役



司会  
村田 美智子 理事



神村武之会長から亀谷浩昌新会長へ  
バトンタッチ!



新理事の役職が決定した旨の報告をする亀谷浩昌新会長



職員永年勤続表彰受賞者  
左より、小泉宝之氏、赤嶺美樹氏  
金城みどり氏、奥間七英子氏(代理)

## 第72回通常総会資料

報告第1号 平成26年度会務並びに事業経過報告

## 1. 平成26年度 会員・薬局等の業態現況報告

## (1) 会員数

平成27年3月末現在

① 正 会 員	1,115 人	(A会員592人、B会員518人、C会員5人)
(内 訳)	総会員数7人減、A会員8人増、B会員15人減、C会員増減0人	
名 誉 会 員	3 人	久場トヨ、中村昌義、金城保景
薬 局 開 設 者	237 人	
一 般 販 売 業	13 人	
卸 売 一 般 販 売 業	23 人	
勤 務 薬 剤 師	712 人	薬局(632)、病院(76)、製輸(2)、登録販売業(1)
そ の 他	127 人	行政(5)、教研(2)、他職勤務者(10)、無職(114)
② 賛 助 会 員	84 人	
合 計	1,199 人	①(1,115人) + ②(84人)

## (2) 薬局開設者等 (前年度との比較)

平成27年3月末現在

	平成25年度	平成26年度	増	減
薬 局 開 設 者	239 人	237 人		2 人
一 般 販 売 業	13 人	13 人		
卸 売 一 般 販 売 業	24 人	23 人		1 人
勤 務 薬 剤 師	711 人	712 人	1 人	
保 険 薬 剤 師	955 人	955 人		
そ の 他	131 人	127 人		6 人

## (3) 保険薬局等 (前年度との比較)

平成27年3月末現在

	平成25年度	平成26年度	増	減
保 険 薬 局	529 件	539 件	10 件	
処 方 箋 応 需 薬 局	515 件	522 件	7 件	

## 第72回通常総会資料

# 平成26年度 事業経過報告

### 1. 医薬分業対策

近年、医薬分業バッシングによる風当たりが強く薬剤師職能が問われている。薬剤師は医療の担い手として、薬局は医療提供施設として今一度、医薬分業の原点に戻り、国民、県民の期待に応えていかなければならない事を念頭に、平成26年度は事業を実施した。

8月には医薬分業対策会議を開催し、県内広域病院薬局長と各地区薬剤師会会長・分業担当者が参加し「医薬分業の質の向上に向けて～患者目線で見た医薬分業とは～」というテーマで分業当初と現在を比較しながら、これからの医薬分業の在り方について話し合った。

11月には各地区から推薦された若手薬剤師を中心に「地域密着型の薬局を目指して」というテーマでSGD（スモールグループディスカッション）を開催した。

2月にはFAXコーナー担当者意見交換会を開催し、日頃の業務の問題点やこれからのFAXコーナーの在り方について話し合った。

休日夜間調剤に取り組む「会営薬局医療センター前」は、多くの輪番薬剤師に支えられ、開局して6年が経過し、地域医療参画への実績を着実に積んでいる。

不動産・備蓄ネットワークシステムの運用は、5年目になり、現在115薬局が参加している。薬剤師職能の更なる拡大と資質向上を図る為、上記の件に加え以下の項目の事業、研修を実施したので報告する。

#### (1) 医療安全対策（医薬品事故・過誤対策）

（財）日本医療機能評価機構の事業である「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」について、積極的に参加するよう登録の呼びかけを継続している。

「薬局・薬剤師のための調剤行為に起因する問題・事態が発生した際の対応マニュアル」を完成させ、本会ホームページに掲載した。

平成26年度医療安全講習会を平成27年2月1日（日）に本会館ホールで開催し、上記マニュアルの紹介及び特別講師に九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授の鮎澤純子氏をお招きし、「医療安全に関するトピックス～いまだから知っておきたいこと、考えておきたいこと～」の演題で講習を行い、当日の出席者は過去最多となる130名であった。講習会へ事前参加登録を行った会員には受講認定証を発行した。受講した会員が自らの薬局職員等へ伝達講習をするよう促した。

薬剤師賠償責任保険の対象となり得る案件が発生し、保険適用を巡って保険会社側と意見が対立したが、本委員会の粘り強い交渉の結果、全面的保険適用となった。

#### (2) 共同指導、個別指導の実施状況

前年度は、予定より1年早く7月に、沖縄県で厚生労働省による共同指導が実施された。2件の薬局が対象となったが、やはり指摘事項は厳しく、返還の対象となる事例が多かった。個別指導は、例年通り、新規個別指導34薬局、既存の個別指導15薬局であった。共同指導、個別指導等には、管理薬剤師の知識不足が指摘されているため、今年度は、初めて「管理薬剤師業務

講習会」を平成27年3月に、コンベンションで開催した。折しも、全国的に薬歴簿未記載問題が発覚し、沖縄県でも会員へのアンケートにより、26件の薬局に薬歴簿未記載が発覚したところでもあった。診療報酬の不正請求にも値する事態を招いたこともあり、適正な保険請求業務についても同講習会に盛り込んで開催した。分業バッシングで薬局に対する風当たりが強い中、医療提供施設として、地域医療に貢献できる薬局作りに取り組んで頂きたい。宮古、八重山地区でも開催する予定である。

また、今年度の薬事法改正を受けて、「管理薬剤師業務日誌」も刷新して、新年度から使用できるようにした。

### (3) 自殺予防・対策事業

平成23年度から本会も沖縄県の自殺対策連絡協議会に加わり、4年目を迎えた。この予防対策事業は平成29年まで予定されている。

県内における自殺者は、平成10年以降300人を超える状態が続いてきたが、平成24年度には267人と15年ぶりに300人を大幅に下回った。また、同じく平成24年度は全国的にも15年ぶりに3万人を下回り、これらは対策事業の効果ではないかとの評価もあった。しかしその後、県内においては平成25年度に278人、平成26年度に284人と上昇傾向にあり、今後も沖縄県自殺対策連絡協議会においては、今後も取り組んでいく事業として位置づけられている。当初目標とした数値（県内自殺者ピーク時の10%減）は平成24年で達成できたため、平成25年度以降はピーク時の20%減に向けて取り組んでいる。

本会の自殺対策検討委員会の平成26年度事業は、例年通り、会員店舗における自殺予防啓発ポスター掲示と、ゲートキーパーとしてのスキルアップ研修会開催に取り組んだ。研修会は平成27年3月8日（日）に31人の参加によって行われた。埼玉県薬剤師会自作のゲートキーパースキルアップDVD視聴と、沖縄県医療保健部健康長寿課主任の喜納みどり氏による報告、沖縄県立総合精神保健福祉センター長の仲本晴男医師による講演と、約2時間半にわたり執り行われた。埼玉県薬剤師会から寄贈されたDVDには、眠剤過量服薬の裏に“うつ”が隠れていることや、家族が一般薬を受け取りに来た場合でも、よくよく尋ねてみると患者背景にアルコール依存症が疑われるなど、それぞれへのアプローチ例が示されていた。喜納みどり主任からは、沖縄県の自殺者の現状と県の取り組みについて報告をいただいた。仲本晴男先生からは、「うつ病の最近の知見と自殺～認知行動療法によるうつ病予防を含めて」というテーマでご講演をいただき、薬局におけるゲートキーパーとしてのスキルアップに留まらず、家庭や職場関係においても参考となる講演であった。“うつ病は正しく診断することが非常に重要で、そのうえで認知行動療法に取り組めば必ず治る病気です”という力強い言葉があり、薬剤師がうつ病の服薬指導を行う上で大いに有意義な研修会であった。

### (4) 禁煙事業について

平成19年に発足した禁煙支援薬局・薬剤師の認定制度（3年毎更新）は、現在、認定薬剤師は69名である（但し、禁煙サポート薬局の更新は、本年度も行われた）。引き続き、禁煙支援に携わる薬剤師のモチベーションを高く維持するための工夫が必要であることが確認された。また、平成26年度も、禁煙サポート薬局支援継続事業として「第176回全国禁煙アドバイザー育成講習会」と共同開催で講習会を実施した。

第76回九州山口薬学大会（長崎）の禁煙協議会においては、引き続き①禁煙支援指導者の認

定制度に係る単位の他県との相互互換の可能性ならびに妥当性について、②各県独自の禁煙支援や防煙教育の資料は各県で共有化できるような方向で検討することなど、他県との連携を確認した。

全国での連携としては、日本禁煙科学会学術総会に、3年前の沖縄大会から継続して参加しており、全国の禁煙に関わる多職種と情報交換している。

県内における他職種との連携としては、県内に一昨年より設立された“こどもの禁煙研究会”への参加があり、同事業の推進に貢献した。

また、各市町村との連携も継続し、本年度は再び豊見城市の禁煙事業に加わり協働で禁煙相談を行った。さらに県内の禁煙事業を多職種で集まって報告を行う“沖縄県禁煙協議会総会”に継続して参加して県薬剤師会の取り組みを報告した。

一方、学校薬剤師を中心とした教育現場における防煙（はじめの1本をすわせない）活動については継続して行われた。これらの活動が小学校～高等学校の児童・生徒に対して継続して展開していることは、喫煙防止に大いに貢献するものである。未成年の禁煙支援に対しては、継続して県に対してその補助事業を申請しているところである。

#### (5) 在宅事業について

平成26年度も引き続き、日薬より示された在宅医療推進アクションプラン（地域薬局の訪問薬剤管理指導業務応需体制等に関する調査ならびに地域連携の促進として薬局機能・業務の他職種への理解促進）への取り組みを行った。本年度も昨年度までと同様、地区によって取り組みの温度差のあることが明らかとなった。

日薬の在宅医療推進アクションプランの取組としては、まず地域包括支援センターを中心とした“地域包括ケア”のポスター、チラシを用いた浸透を行なった。その結果、平成27年度より沖縄市ならびに宮古島市が県よりの委託事業を行うことになり、そこに調剤薬局薬剤師が専門職アドバイザーとして参加できることになった。ほかの市町村においても、那覇市、浦添市などでは調剤薬局薬剤師の関与を示唆する動きとなっている。加えて、在宅支援薬局の県薬剤師会ホームページへの登録は、掲載事項を変更し、きちんと在宅訪問を行っている薬局のみで平成26年度末で59件となり、着実に在宅支援薬局が増えている。

また、今年度より県の在宅支援推進委員会のメンバーとして県薬剤師会より参加することになり、県医師会が主導して取り組んでいる沖縄県津梁ネットワークへの在宅療養患者または利用者へのデータの取り込みならびに在宅医療に関わる多職種の教育研修の充実という2本柱を推進する事業に参画している。

一方、薬剤師の在宅における業務の多職種ならびに一般住民への周知として次のような内容を事業として取り組んだ。すなわち、①昨年度に作成した沖縄県保健福祉医療財団の補助金を活用した在宅医療にかかる薬剤師の訪問服薬指導のポスターとチラシの活用による他職種へのアピールの継続。②在宅支援薬局の参考になるようなマニュアルの作成（作成を継続中）。③沖縄県病院薬剤師会が行っている“薬剤師のフィジカルアセスメント”事業に一昨年より加わり、昨年度、本年度とも各5名が参加して継続して研修を行った。また、一昨年度の2名、昨年度の4名がインストラクターとしてこれにかかわった。この研修に参加した者が中心に、主に調剤薬局におけるフィジカルアセスメント講習会（BLS講習会）を、宮古地区、八重山地区への出前講座を含めて6回の講習会を企画実施した。

また、県薬としては、既に完成した会営薬局うえはら内に設置された無菌調剤施設の利用の

ための講習会を実施した。残念ながら、平成26年度のこの共同施設の利用はなかった。来年度以降、さらに利用の推進を進めたい。

さらに平成27年3月1日に県薬剤師会館で“第5回在宅医療に関する講習会”を企画実施し、その会の中で上記の地域ケア会議に向けてのディスカッション（グループワーク）を行った。

平成26年4月の診療報酬改定とも相まって、今後地区薬レベルでアクションプランに基づいた在宅医療の展開を引き続き企画している。

## (6) 健康とおくすり相談会（月例）

回	開催日	担当	開催場所	相談員数	参加者数
第115回	2014/6/29	那覇地区	サンエーメインプレイス	7	30
第116回	2014/9/28	八重山地区	明石公民館	7	19
第117回	2014/10/19	那覇地区	沖縄セルラーパーク那覇	8	58
第118回	2014/10/26	南部地区	パレット市民劇場	11	30
第119回	2014/11/15	中部地区	うるみん健康福祉センター	9	72
第120回	2015/2/22	那覇地区	サンエー経塚シティ	5	42
第121回	2015/3/7	中部地区	具志川ドーム	12	69

## 2. 生涯学習

平成26年度新任・新人薬剤師研修会は、平成26年7月6日に沖縄県薬剤師会館ホールで開催された。参加者は薬局27名、病薬20名、薬学生22名、その他3名の計72名と多くの参加があった。例年通り、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局の施設見学、またランチョンセミナーでは「日本血液製剤機構のウイルス・プリオンに対する安全対策研究」について日本血液製剤機構の柚木幹弘氏からご講演頂いた。最初の「実務に生かせる情報検索」は琉球大学医学部附属病院薬剤部の鈴木毅先生が担当し、情報検索の基本から検索に有用なサイトの紹介、問い合わせ事例Q&Aや情報検索などの有益な講義であった。「薬歴の書き方について」は、すこやか薬局グループの金城奈々美先生から、薬歴の目的、記録システムPOSの紹介と薬歴の書き方実例の講義があった。中頭病院の山本紗織先生による「フィジカルアセスメントについて」は、フィジカルが保険薬局薬剤師にも必要なこと、そして実際に脈拍測定するなどとても具体的な講義であった。さらに、学校薬剤師部会副部会長の笠原大吾先生から「学校薬剤師部会」、青年部会紹介では副部会長の川満直紀先生から部会紹介の他に薬学生に向けて県内にも良い就職先があるなど啓発をされていた。今年の研修会も若い薬剤師や薬学生の参加が多く、また講師に関しても、講演内容、配布資料、発表において大変素晴らしかったとの声が多く、実りのある研修会となった。

また、第28回沖縄県薬剤師会学術大会は、秋晴れの平成26年10月26日（日）に薬剤師会館を主会場に、テレビ会議中継システムを用いてシモジ薬局2階会議室（宮古地区）と大濱信泉記念館（八重山地区）で開催された。参加者は285名（県薬172名、病薬113名）、その内、宮古地区会場は18人、八重山地区会場は6人が参加された。今年の医療法改正では高齢化で医療・介護需要が増大していく中で、地域医療提供体制の充実がわれわれ薬剤師にも求められていることから、大会テーマを「～今こそ活かそう薬剤師の力～地域医療の担い手として」とした。会員発表の部では病院診療所部門13演題、保険薬局部門7演題、その他1演題の合計21演題の発表があったが、殆どが時間内での発表でスライドも良くまとめられており、昨年度の反省が生かされていた。ランチョンセミナーはヤンセンファーマ株式会社との共催で琉球大学医学部附属病院第一内科の前城達次先生

に「最新のC型肝炎治療」をご講演頂いた。特別講演は中央大学理工学部生物統計学教授の大橋靖雄先生に「医療統計にだまされないために」をご講演頂いた。昨今の降圧剤臨床試験の不正問題に関連して、文献を適正に読む、あるいは批判的に読む力が薬剤師に求められているが、期待にたがわぬ素晴らしい講演であった。大会奨励賞は、病薬関連部門は沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの齊藤うたた先生の「抗HIV薬を粉碎・経管投与した症例」が、保険薬局関連部門では、にしばる薬局の新垣慶朗先生の「糖尿病患者の低血糖に対する認識度調査と再発防止の指導方法の検討」が選ばれ、盛会のうちに終了となった。

日本薬剤師会生涯学習支援システム（JPALS）は平成24年4月からスタートした。過渡的認定でレベル5を取得した会員は今年の3月末が更新期限であった。更新の要件である実践記録18本を提出した会員は平成26年10月末でわずか9人であった。対策として実践記録の提出に特化した研修会を計6回実施し、更新要件を満たした会員数を期限までに79人に増やすことができた。それでも、多くの会員が降格となったが、今後も必要に応じJPALS利用会員数を増やすべく対策を講じる。

「日本薬剤師研修センターの生涯研修受講単位状況は、702名（会員数の63%）で、前年度と比較して42名の増。取得目標単位（10単位）取得者は、154名（会員数の14%）で、前年と比較して23名の減少であった。また、沖縄県の日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師は認定者が215名で取得率10.7%であり、全国平均の14.4%を下回っている。」日本薬剤師研修センターの生涯研修受講単位状況は、660名（会員数の58.5%）で、前年度と比較して50名の減。取得目標単位（10単位）取得者は、177名（会員数の16%）で、前年と比較して4名の増であった。また、沖縄県の日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師は認定者が219名で取得率10.8%であり、全国平均の14.8%を下回っている。本制度は平成6年スタートであり、新規認定者は全国で平成20年の7,569名をピークに平成23年が4,763名、平成24年が4,572名と著しく減少しているが、これは薬学部6年制移行の影響であり、今後増加する見通しである。さらに、日本薬剤師会生涯学習支援システム（JPALS）も平成24年4月からスタートし、今年で3年目に入る。

我々薬剤師は、薬の専門家として国民の健康の保持・増進に寄与する責任がある。さらに、最近の薬剤師に対する厳しい非難を解消するためには、薬剤師が「国民の目に見える形」で医療への貢献を示す必要がある。そのためにも、生涯にわたり研修・研鑽に取り組む事は重要である。今後も実りある生涯学習活動を継続していきたい。

### (1) 薬学生実務実習受入について

平成26年度の薬学生長期実務実習は、1期16名、2期19名、合計35名（昨年より12名増）を沖縄県で受け入れた。県での受け入れを開始して5年目になるが一番多い年であった。

大学の内訳は以下の通りである。九州保健福祉大学4名、第一薬科大学11名、長崎国際大学1名、崇城大学3名、徳島文理大学（新）6名、京都薬科大学4名、日本薬科大学（新）1名、神戸学院大学4名、名城大学（新）1名。参加薬局も年々増え、35名の実習生を26薬局（指導薬剤師27名）で受け入れた。また、新規で受け入れた指導薬剤師は10名であった。その中で宮古地区や、OTC中心薬局が初の受け入れ、県が主催するしごとミュージアムでは実習生が大活躍しTVのニュースにも流れるなど特色ある年だった。

さらに、8月には早期体験実習（第一薬科大学実習生7名）を6薬局で受け入れた。

実習生の増加や地区体制の強化の必要にて地区単位で実習薬局を支援できる体制をつくる初

年度とした。そのため、委員会メンバーを3名増員した。

認定実務実習指導薬剤師の養成のためのワークショップへ5名派遣し、例年行っている座学も予定通り2回行うことができた。

### 3. 災害支援対応について

沖縄県薬剤師会災害対策マニュアルを作成。沖縄県薬剤師会事業継続計画（BCP）については日本薬剤師会をはじめ他県の情報を収集。沖縄県の薬務疾病対策課、防災危機管理課と災害協定等の調整を進めていくなかで、沖縄県と災害対策基本法に基づく指定地方公共機関に指定された。

### 4. 関連事業

毎年度、継続して行った事業は次のとおりである。

- |                                    |                                  |
|------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 「薬と健康の週間」事業<br>(10月17日～10月23日) | (5) 日薬年金及び賠償責任保険への加入促進           |
| (2) 各種関連協議会への参加協力                  | (6) 県薬会報の発行                      |
| (3) 関連機関団体との協議及び懇談                 | (7) 求人求職斡旋事業                     |
| (4) 関係行政当局との定期的連絡協議会               | (8) 麻薬覚せい剤及び<br>薬物乱用防止対策行事への参加協力 |



役員席側



代議員席側

## 薬事情報センター 平成26年度事業報告

(質問集計については2014. 1. 1～2014. 12. 31)

### 1. 情報提供業務

- (1) 質疑応答業務 (集計内容の詳細は別紙参照)
  - ・調査件数：587件/年 (会員369、一般218) 49件/月 ・質問者数：469人/年 39人/月
- (2) WEBサイト (ホームページ) による情報提供
  - ・ホームページ利用状況 アクセス件数：410,519/年 (月平均34,209件、1日平均1,140件)
  - 本年度追加・更新した主な項目
    - (一般向け)・研修会カレンダー ・薬局マップ ・沖縄県薬剤師会会報 ・在宅支援薬局一覧
    - (会員向け)・ドーピング禁止薬リスト2014 ・医療事故情報収集当事業報告書
    - ・イエローレター、ブルーレター頁 ・お知らせ (厚労省通達など)
  - 閲覧回数の多かったページ：上位3項目
  - 1位：臨床検査の基準値 2位：沖縄県薬剤師会報 3位：子供の誤飲・中毒
- (3) 会報「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (隔月刊・年6回) No. 226～No. 230を発行

### 2. 情報収集業務

1. 新規図書総数36冊 (購入：3冊)
2. 購読雑誌：21誌
3. 各都道府県薬剤師会機関誌：37誌
4. 業界新聞：5紙 全国紙：1紙 (朝日) 地方紙：2紙 (琉球新報・沖縄タイムス)
5. メーカー・卸機関誌：10誌
6. 厚生労働省および日薬からの各種情報・通知
7. 製薬企業からの情報

### 3. 情報管理業務

- (1) 当センターで独自に入力・管理を行なっているデータベース
  - 1. 適応外使用情報集 2. 沖縄県薬事情報センター質疑応答事例 3. ドーピング禁止薬リスト
- (2) 日薬と共同作成を行なっているデータベース (文献検索システム Bunsaku)
  - ・入力データ：416,067件 (作年度より8,182件増加：平成26年12月31日現在)
  - 沖縄県薬担当雑誌(「新薬と臨床」「総合診療」「臨床薬理」「おきなわ県薬会報」「産科と婦人科」)
- (3) 全都道府県薬の薬事情報センター協同事業：情報バンクへの資料提供

### 4. 学会及び研修会等への参加

- (1) 2014年4月25日(金) 平成26年度第1回日本薬剤師会薬事情報センター実務担当者研修会  
於：東京・日本薬剤師会 (出席：吉田典子)
- (2) 2014年11月22日(土) 第76回九州山口薬学大会 IN 長崎 (薬事情報センター協議会)  
於：長崎ブリックホール 2階練習室 (出席：松山理事、姫野理事)
- (3) 2014年11月28日(金) 平成26年度ドーピング防止ホットライン担当者研修会  
於：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター5F ホール5B (出席：笠原大吾)
- (4) 2015年2月27日(金) 平成25年度第2回日本薬剤師会薬事情報センター実務担当者研修会  
於：東京・日本薬剤師会 (出席：吉田典子)

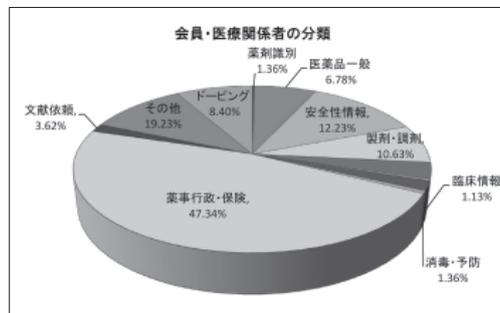
### 5. その他

- (1) 琉球新報社発行・新報生活マガジン「うない」の掲載原稿審査  
(化粧品、健康食品等の広告表現の審査：薬事法、健康増進法等) 平成26年1月～平成26年12月(71件)
- (2) 薬学実習生見学 (吉田・大城恭子) II期：平成26年11月12日 (2名) (希望者のみ見学)
- (3) DI業務支援
  - ・平成26年4月～平成27年3月 (週1) (大城恭子)
  - ・平成26年4月～平成27年3月 (週5) (事務：金城みどり)
  - ・平成26年4月～平成27年3月 (週2時間) (HPメンテ、制作：赤嶺朝健)
- (4) 会営薬局とよみへ出向 (週2)
  - ・吉田典子 (週2日)

## 2014年(平成26年)：調査件数集計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	(%)
薬剤識別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.27%
医薬品一般	0	0	3	4	0	3	0	0	3	4	2	6	25	6.65%
安全性情報	9	2	12	1	5	5	3	2	4	1	0	2	46	12.23%
製剤・調剤	1	4	4	1	7	5	0	2	2	1	0	1	28	7.45%
臨床情報	1	2	0	0	2	2	1	0	1	1	1	1	12	3.19%
漢方薬・民間療法	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.27%
消毒・予防	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	7	1.86%
食品・栄養学	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.53%
薬事行政・保険	10	13	17	12	13	19	22	11	8	19	14	20	178	47.34%
文献依頼	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	6	1.60%
その他	3	3	0	2	5	4	1	0	4	10	5	2	39	10.37%
PL相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
ドーピング	0	0	3	0	0	0	5	3	9	11	0	0	31	8.24%
合計	27	27	40	20	32	38	33	19	31	50	23	36	376	100.0%

2014年：年間総質問件数 599件  
2014年：月平均質問件数 50件

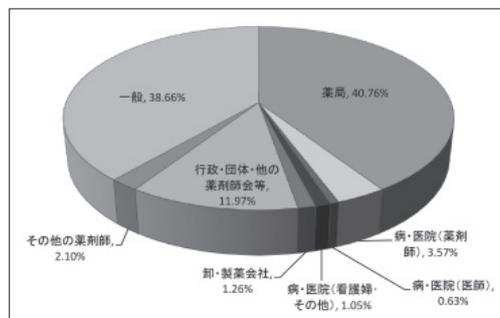


一般 (件数)	15	8	23	27	34	19	14	21	12	28	8	14	223
(ドーピング)	0	0	0	0	3	1	2	4	2	11	0	1	24

## 2014年(平成26年)：質問者数集計 (質問者別)

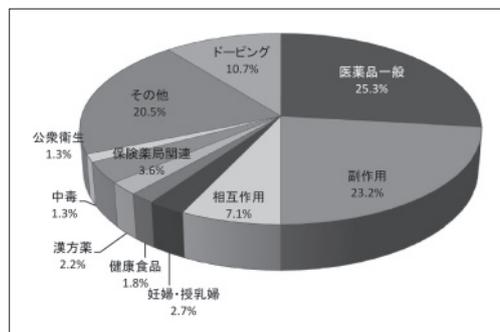
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	(%)
薬局	11	20	18	9	21	18	14	9	13	23	13	25	194	40.76%
病・医院 (薬剤師)	0	0	1	2	2	3	1	1	2	1	2	2	17	3.57%
病・医院 (医師)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	0.63%
病・医院 (看護婦・その他)	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	5	1.05%
卸・製薬会社	2	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	6	1.26%
行政・団体・他の薬剤師会等	4	4	8	6	7	4	8	2	3	6	4	1	57	11.97%
その他の薬剤師	2	0	1	0	0	4	0	0	1	1	1	0	10	2.10%
一般	15	7	16	22	27	16	14	18	12	21	5	11	184	38.66%
合計	34	32	45	39	57	48	39	30	32	54	25	41	476	100.0%

2014年：年間総質問者数 476人  
2014年：月平均質問者数 40人



## 2014年(平成26年)：一般からの質問の内訳 (1月～12月)

	合計	(%)
医薬品一般	60	26.8%
副作用	52	23.2%
相互作用	16	7.1%
妊婦・授乳婦	6	2.7%
健康食品	4	1.8%
漢方薬	5	2.2%
保険薬局関連	8	3.6%
中毒	0	0.0%
公衆衛生	3	1.3%
その他	46	20.5%
ドーピング	24	10.7%
合計	224	100.0%



## 平成26年度 試験検査センター事業報告

### I. 医薬品検査について

#### 1) 計画的試験

\*平成26年度の計画的試験の検査については、平成26年12月16日に試験検査センター運営委員会で討議され、1) プレドニゾロン錠の溶出試験、2) カフェイン（液剤）の定量試験及び3) 漢方薬の細菌試験が選定された。1)～3) 以外の品目1検体を含めて、検体の提出は195検体であった。1)～3) 以外の品目は、薬局製造販売医薬品（薬局製剤）1検体であった。また、漢方薬の細菌試験については第16改正日本薬局方「参考情報」を結果判定の参考とする。

検査対象	検査項目	検体数
プレドニゾロン錠	溶出試験	143
カフェイン（液剤）	定量試験	15
漢方薬	細菌試験	36
その他	定量試験	1
		195

#### 2) 統一試験（日薬）；平成26年度医薬品全国統一試験

\*日薬より試験実施要領及び検体などが配布され、下記の試験を行った。

\*プレドニン錠（プレドニゾロン）の溶出試験

（分析法）パドル法

平成27年1月15日提出

#### 3) 外部精度管理（厚生労働省）；平成26年度登録試験検査機関技能試験

\*国立医薬品食品研究所より検体及び試験法が配布され、下記の試験を行った。

\*ジルチアゼム塩酸塩錠の定量試験並びに純度試験

（分析法）液体クロマトグラフ法

平成27年3月27日提出

#### 4) 依頼医薬品・化粧品検査

\*依頼検査の実績は以下のとおりである。

化粧品の細菌検査及び医薬品の規格試験等の依頼を受けた。

	検査数	検査料金
依頼	9	227,930

### II. 水質検査について

#### 1) 学校関係水質検査

\*学校関係の水質検査は以下のとおりである。

県立学校及び33市町村の水質検査、また、琉球大学附属小学校・中学校等の水質検査を行った。

	検査数		検査料金
	飲料水	プール水	
県立学校	77	74	2,262,168
市町村	392	286	7,824,869
その他 琉大附属小学校等	11	4	191,592
計	480	364	10,278,629

#### 2) 依頼水質検査

\*依頼検査は以下のとおりである。八重瀬町営プール等の水質検査等を行った。

	検査数	検査料金
一般依頼	69	703,296

### Ⅲ. 空気環境検査について

#### 1) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の検査

\* 県立高等学校及び那覇市等より空気環境検査の委託を受け、検体を取りまとめ、財団法人東京顕微鏡院へ分析を依頼した。また、今年度、新たに与那原町と豊見城市から委託を受けた。

ただし、東京顕微鏡院への外注費は、1,873,200円。

#### 2) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の依頼検査

\* 依頼検査は以下のとおりである。

ただし、東京顕微鏡院への外注費は、17,600円。

#### 3) ダニ又はダニアレルゲン検査

\* 県立学校、那覇市及び国立沖縄工業高等専門学校の検査を行った。

#### 4) ダニ又はダニアレルゲンの依頼検査

\* 依頼検査は以下のとおりである。

	検査数	検査料金
県立学校	77	968,544
那覇市立小・中学校	72	911,520
与那原町立小・中	3	50,544
豊見城市立幼・小・中	17	359,856
浦添市立幼・小・中	7	152,064
久米島町立小・中	8	169,344
その他 国立高専 等	5	135,216
計	189	2,747,088

	検査数	検査料金
一般依頼	3	42,336

	検査数	検査料金
県立学校	231	623,808
那覇市立幼・小・中	201	487,944
与那原町立小・中	9	22,680
豊見城市立幼・小・中	37	98,280
浦添市小・中	16	51,840
その他 国立高専 等	15	37,800
計	509	1,322,352

	検査数	検査料金
一般依頼	5	14,688

### Ⅳ. 随時の調査等依頼への対応

○学校環境衛生や医薬品等の検査に関する問い合わせについて、下記の事項等について資料提供を行った。

- 1) 飲料水中の赤錆について                      など      6件

### Ⅴ. 研修

#### 1) 日薬技術講習会

講習日 平成26年12月15日

講習会場 日本薬剤師会 会議室

出席者 小泉 宝之

～研修内容～

- 1 登録検査機関精度管理等適正化事業報告書について
- 2 放射線ファーマシストへの取り組み
- 3 危険ドラッグの現状と課題
- 4 危険ドラッグの分析における課題
- 5 試験検査センター委員会報告
  - ・ 雨水中の無機物質調査実施について
  - ・ 医薬品精度管理試験実施要項について

### Ⅵ. 試験検査センター運営委員会

平成26年12月16日(火) 19時より本館会議室において試験検査センター運営委員会を開催した。会議内容は次のとおりである。

- 1 報告事項
  - 1) 平成25年度実績報告(医薬品検査・水質検査等)
  - 2) 平成26年度中間報告(医薬品検査・水質検査等)
- 2 議題
  - 1) 平成26年度計画的試験について
  - 2) 平成27年度事業計画(案)について

第72回通常総会資料

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	214,140,386	249,580,557	△ 35,440,171
未収入金	267,601,031	241,669,965	25,931,066
商品	70,815,036	77,520,031	△ 6,704,995
立替金	306,967	136,129	170,838
前払費用	913,697	1,036,121	△ 122,424
仮払金	441,869	0	441,869
貸倒引当金	△ 2,900,000	△ 2,670,000	△ 230,000
流動資産合計	551,318,986	567,272,803	△ 15,953,817
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	81,039,013	77,856,978	3,182,035
九山積立預金	11,612,353	10,110,601	1,501,752
法務対策積立預金	5,001,592	5,000,796	796
会館修繕積立預金	29,742,607	26,738,067	3,004,540
災害対策積立	3,001,076	3,000,598	478
移転積立預金	10,001,000	0	10,001,000
特定資産合計	140,397,641	122,707,040	17,690,601
(3) その他固定資産			
建物	158,200,455	163,338,915	△ 5,138,460
造作	3,542,572	3,972,441	△ 429,869
建物付属設備	21,057,684	25,095,977	△ 4,038,293
構築物	8,903,290	10,308,928	△ 1,405,638
車両運搬具	629,878	1,268,103	△ 638,225
什器備品	11,612,188	15,768,224	△ 4,156,036
土地	157,097,850	157,097,850	0
電話加入権	2,765,413	2,765,413	0
ソフトウェア	5,778,908	8,501,496	△ 2,722,588
敷金	1,250,000	1,250,000	0
差入保証金	5,081,850	5,081,850	0
その他固定資産合計	375,920,088	394,449,197	△ 18,529,109
固定資産合計	516,317,729	517,156,237	△ 838,508
資産合計	1,067,636,715	1,084,429,040	△ 16,792,325

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	167,309,934	181,035,065	△ 13,725,131
未払金	18,282,159	26,986,159	△ 8,704,000
前受金	400,000	380,000	20,000
前受会費	15,000	33,400	△ 18,400
預り金	1,693,524	1,172,012	521,512
仮受金	0	15,040	△ 15,040
賞与引当金	5,145,455	4,266,955	878,500
未払法人税等	8,116,300	13,635,200	△ 5,518,900
流動負債合計	200,962,372	227,523,831	△ 26,561,459
2. 固定負債			
長期借入金	139,191,000	149,187,000	△ 9,996,000
退職給付引当金	70,700,000	66,364,155	4,335,845
固定負債合計	209,891,000	215,551,155	△ 5,660,155
負債合計	410,853,372	443,074,986	△ 32,221,614
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	26,857,357	30,478,981	△ 3,621,624
寄付金	8,470,870	8,433,944	36,926
指定正味財産合計	35,328,227	38,912,925	△ 3,584,698
2. 一般正味財産	621,455,116	602,441,129	19,013,987
(うち基本財産への充当額)	418,000	418,000	0
(うち特定資産への充当額)	49,357,628	44,850,062	4,507,566
正味財産合計	656,783,343	641,354,054	15,429,289
負債及び正味財産合計	1,067,636,715	1,084,429,040	△ 16,792,325

## 平成26年度 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	20,250	18,806	1,444
特定資産受取利息	20,250	18,806	1,444
受取入金会費	620,000	870,000	△ 250,000
受取入金会費	620,000	870,000	△ 250,000
正会員受取会費	96,294,799	105,732,738	△ 9,437,939
A 会費	50,340,800	51,689,352	△ 1,348,552
B 会費	5,920,400	6,221,302	△ 300,902
C 会費	3,789,000	4,199,100	△ 410,100
自会館未納者	0	40,000	△ 40,000
分会薬費	24,993,400	25,077,000	△ 83,600
分会薬費	0	24,350	△ 24,350
分会薬費	15,521,700	16,127,600	△ 605,900
分会薬費	116,300	0	116,300
賛助会員受取会費	45,953,999	54,043,386	△ 8,089,387
賛助会費A	960,000	1,050,000	△ 90,000
賛助会費B	44,993,999	52,993,386	△ 7,999,387
事業収益	1,638,340,455	1,648,989,334	△ 10,648,879
出版物事業収益	6,174,508	6,329,684	△ 155,176
専門テキス	3,158,758	3,294,030	△ 135,272
出版物の収入	3,015,750	3,005,414	10,336
その他	0	30,240	△ 30,240
広告料事業収益	741,120	720,000	21,120
学会報料	91,120	20,000	71,120
その他事業収益	650,000	700,000	△ 50,000
学術研修参加費	9,216,978	4,488,447	4,728,531
FAX一斉同報	580,000	452,000	128,000
高度医療機器研	463,187	494,772	△ 31,585
禁煙関係	535,000	397,000	138,000
書籍幹旋料	0	41,000	△ 41,000
その他事業収入	0	9,460	△ 9,460
その他会業収入	5,573,994	1,772,300	3,801,694
席貸業収入	2,064,797	1,321,915	742,882
調剤報酬収入	1,392,589,534	1,399,740,638	△ 7,151,104
一部負担金収入	182,034,313	188,350,068	△ 6,315,755
小分治療剤収入	14,666,736	17,415,279	△ 2,748,543
保険外自費	9,676,797	9,563,897	112,900
保険外内容	4,688,312	3,992,098	696,214
保険外OT	715,580	701,070	14,510
受取手数	4,272,905	4,870,729	△ 597,824
受取手数	4,435,624	4,306,501	129,123
保険等調整増減	4,435,624	4,306,501	129,123
新規契約課金	749,796	725,512	24,284
新利用契約	70,000	150,000	△ 80,000
医薬品検査手数	2,730,000	2,920,000	△ 190,000
水質検査手数	227,930	641,670	△ 413,740
空気検査手数	10,900,655	9,987,800	912,855
空気検査手数	4,126,464	3,649,838	476,626

科 目	当年度	前年度	増 減
受 取 補 助 金 等	3,913,624	3,324,979	588,645
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	292,000	0	292,000
受 取 民 間 助 成 金	0	213,000	△ 213,000
受 取 補 助 金 等 振 替 額	3,621,624	3,111,979	509,645
受 寄 付 金 等 振 替 入 額	775,074	861,413	△ 86,339
受 寄 付 金 等 振 替 入 額	400,000	596,206	△ 196,206
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	375,074	265,207	109,867
雜 収	0	135,000	△ 135,000
受 取 利 息	3,380,351	3,172,526	207,825
受 取 利	41,268	48,058	△ 6,790
雜 収	466,740	304,797	161,943
自 販 機 や ク ル ト 収 入	159,909	171,968	△ 12,059
自 公 所 過 話 他	11,040	14,260	△ 3,220
事 務 受 託 金 収 入	292,571	116,524	176,047
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	3,220	2,045	1,175
事 務 受 託 金 収 入	2,872,343	2,819,671	52,672
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	2,800	2,800	0
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	220,386	177,000	43,386
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	2,500,000	2,500,000	0
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	60,000	60,000	0
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	0	79,871	△ 79,871
日 研 藥 業 賠 償 責 任 保 險 他	89,157	0	89,157
經常収益計	1,743,344,553	1,763,104,796	△ 19,760,243
(2) 經 常 費 用			
事 業 費	1,681,590,988	1,672,556,343	9,034,645
期 首 棚 卸 費	77,520,031	70,090,779	7,429,252
そ の 他 品 高 品 高 他 品 C	1,000,957	359,683	641,274
調 剤 薬 品 C	75,758,389	69,114,420	6,643,969
仕 入 薬 品 C	760,685	616,676	144,009
調 剤 薬 品 C	1,324,665,465	1,328,635,058	△ 3,969,593
期 末 棚 卸 費	1,322,093,979	1,325,244,508	△ 3,150,529
そ の 他 品 高 他 品 C	2,571,486	3,390,550	△ 819,064
調 剤 薬 品 C	△ 72,025,341	△ 78,397,197	6,371,856
そ の 他 品 高 他 品 C	△ 355,076	△ 1,000,957	645,881
調 剤 薬 品 C	△ 71,034,028	△ 76,626,040	5,592,012
役 給 員 料 報 酬 手 当 与 給 与 用 費 費 費	△ 636,237	△ 770,200	133,963
給 料	3,273,940	3,083,950	189,990
職 給 付 費	106,444,072	111,485,525	△ 5,041,453
定 利 福 厚 議 生	106,444,072	111,485,525	△ 5,041,453
法 福 會	58,806,930	51,155,004	7,651,926
退 職 給 付 費	17,715,596	18,290,045	△ 574,449
法 福 會	7,157,302	8,083,122	△ 925,820
退 職 給 付 費	24,041,250	24,576,564	△ 535,314
法 福 會	1,114,471	859,224	255,247
退 職 給 付 費	2,596,708	4,182,392	△ 1,585,684
法 福 會	0	3,650	△ 3,650
退 職 給 付 費	7,145	70,665	△ 63,520
法 福 會	10,974	68,914	△ 57,940
退 職 給 付 費	84,008	156,182	△ 72,174
法 福 會	473,639	427,609	46,030
退 職 給 付 費	18,030	16,316	1,714
法 福 會	309,910	542,793	△ 232,883
退 職 給 付 費	155,291	138,559	16,732
法 福 會	69,016	538,843	△ 469,827
退 職 給 付 費	185,301	177,547	7,754
法 福 會	82,447	288,899	△ 206,452
退 職 給 付 費	86,181	39,501	46,680
法 福 會	0	7,027	△ 7,027
退 職 給 付 費	5,870	9,382	△ 3,512
法 福 會	7,960	3,940	4,020

科 目	当年度	前年度	増 減
災害対策委員会	3,400	10,248	△ 6,848
禁煙セミナー	0	198	△ 198
研修センター	0	840	△ 840
在宅医療関係	75,560	22,729	52,831
なごみ主催の健康フェア	379,030	314,735	64,295
熟練者の集い	184,210	153,025	31,185
沖縄県薬剤師連合会	130,000	190,000	△ 60,000
薬事情報センター運営委員会	4,000	24,979	△ 20,979
試験検査センター運営委員会	4,850	39,291	△ 34,441
研修協議会	83,680	17,680	66,000
市民相学談術大会	40,206	200,240	△ 160,034
旅費交通費	15,526,239	16,808,876	△ 1,282,637
職員品配	8,436,041	8,454,647	△ 18,606
薬用車ガソリン	5,730	3,340	2,390
公役員交通費	210,518	246,290	△ 35,772
その他	1,500	96,100	△ 94,600
委員会の交通費	710,250	722,115	△ 11,865
旅費	2,534,942	2,885,192	△ 350,250
研修会旅費	2,817,148	3,191,272	△ 374,124
通減	810,110	1,209,920	△ 399,810
減価償却費(直接対応)	6,383,233	5,477,783	905,450
減価償却費(使用割合)	19,234,287	19,147,068	87,219
減価償却費(従事割合)	9,597,961	8,632,718	965,243
消耗品	9,058,221	9,935,153	△ 876,932
消修研	578,105	579,197	△ 1,092
九そ出版の帳、レ	9,231,075	14,154,076	△ 4,923,001
山の大他研旅	304,956	413,977	△ 109,021
の版物テ印キス	113,610	70,800	42,810
専門テの、	47,000	0	47,000
薬手帳、レ	66,610	70,800	△ 4,190
地光熱水道料	8,837,428	10,648,653	△ 1,811,225
水電道気料	2,935,578	4,481,277	△ 1,545,699
賃広薬と健康週間広告	4,220,198	3,536,528	683,670
保その保の険他広	1,681,652	2,630,848	△ 949,196
傷火自災動保車険	21,889,392	21,736,622	152,770
諸租税定動資産	6,086,325	6,358,201	△ 271,876
固自そのの	324,346	191,875	132,471
支支支外支振F会	5,761,979	6,166,326	△ 404,347
払払払	2,505,312	2,537,016	△ 31,704
負補寄注手数のほ	5,518,182	3,354,556	2,163,626
担助附	2,069,580	1,565,250	504,330
金金金	3,448,602	1,789,306	1,659,296
課税他	910,231	967,407	△ 57,176
車	86,300	20,214	66,086
の	637,322	868,679	△ 231,357
担助附	186,609	78,514	108,095
金課税他	628,063	318,000	310,063
金課税他	3,250,242	3,284,783	△ 34,541
金課税他	3,126,339	3,192,348	△ 66,009
金課税他	67,990	67,990	0
金課税他	55,913	24,445	31,468
金課税他	1,530,979	1,629,272	△ 98,293
金課税他	6,000,000	6,000,000	0
金課税他	133,000	55,000	78,000
金課税他	2,051,568	1,767,570	283,998
金課税他	9,022,470	5,509,983	3,512,487
金課税他	5,121,352	3,284,857	1,836,495
金課税他	1,156,640	1,171,705	△ 15,065
金課税他	1,123,200	777,000	346,200

科 目		当年度	前年度	増 減
清加	掃除管理手数	1,364,145	276,421	1,087,724
交	管 店 手 数	257,133	0	257,133
管	理 際 持	124,247	94,555	29,692
セ	塵 芥 コ 処 理	7,069,209	6,189,513	879,696
レ	電 セ 子 コ 薬	892,077	871,902	20,175
コ	ソ ピ ー メ ン	382,003	386,124	△ 4,121
自	家 用 電 気 工 作 物 保 安 管 理 業 務	1,297,875	698,441	599,434
工	機 レ ベ ー タ 保 守 料	771,120	806,400	△ 35,280
新	貸 支 商 雑 管	2,114,533	1,815,238	299,295
役	給 員 料 報 手	977,312	1,022,952	△ 45,640
給	使 用 人 給 兼 務 給	200,112	266,070	△ 65,958
退	法 福 会	143,747	65,946	77,801
財	貨 倫 幹 表 九 雜 所 地 理 総 新 旅	290,430	256,440	33,990
所	の 他 会 長 会	343,604	281,826	61,778
地	理 区 会 事	230,000	150,000	80,000
理	總 公 益 法 人 制	2,142,827	2,310,076	△ 167,249
新	旅 費 交 通	1,210,305	877,166	333,139
旅	研 修 信 価 却 費 ( 使 用 割 合 )	3,780	369,098	△ 365,318
通	減 価 償 却 費 ( 従 事 割 合 )	34,593,034	34,931,580	△ 338,546
減	消 修 光	1,306,060	1,246,050	60,010
光	水 電 賃	6,887,735	6,812,672	75,063
賃		6,411,736	5,979,336	432,400
		475,999	833,336	△ 357,337
		353,010	577,020	△ 224,010
		1,179,676	1,054,856	124,820
		28,824	18,609	10,215
		863,481	1,098,098	△ 234,617
		9,580	5,236	4,344
		0	2,150	△ 2,150
		0	4,440	△ 4,440
		140,567	179,919	△ 39,352
		3,080	0	3,080
		56,101	0	56,101
		0	31,701	△ 31,701
		82,784	88,111	△ 5,327
		68,057	126,815	△ 58,758
		231,544	347,902	△ 116,358
		267,338	306,001	△ 38,663
		4,430	5,823	△ 1,393
		3,227,531	3,402,004	△ 174,473
		55,180	52,610	2,570
		376,751	370,177	6,574
		26,718	17,992	8,726
		240,200	282,700	△ 42,500
		1,500,982	1,711,155	△ 210,173
		446,700	544,150	△ 97,450
		295,500	284,500	11,000
		259,500	40,720	218,780
		26,000	98,000	△ 72,000
		486,522	758,868	△ 272,346
		1,553,634	1,680,525	△ 126,891
		1,305,876	1,432,298	△ 126,422
		247,758	248,227	△ 469
		458,773	976,841	△ 518,068
		0	237,518	△ 237,518
		552,614	267,926	284,688
		6,629	7,437	△ 808
		545,985	260,489	285,496
		114,651	114,507	144

科 目	当年度	前年度	増 減
保 險 料	114,799	76,780	38,019
傷 害 保 險	66,436	31,635	34,801
火 災 保 險	20,562	26,149	△ 5,587
自 動 車 保 險	27,801	18,996	8,805
諸 謝	129,600	730,000	△ 600,400
租 税 公 産	455,976	459,467	△ 3,491
固 定 資 産	432,961	438,152	△ 5,191
自 動 車	14,010	14,010	0
そ の 他	9,005	7,305	1,700
支 払 負 担 金	12,969,540	13,213,000	△ 243,460
支 払 寄 附 金	70,000	0	70,000
支 払 手 数 料	1,942,110	451,874	1,490,236
振 込 手 数 料	1,177,255	244,084	933,171
会 計 委 託 料	550,800	0	550,800
清 掃 管 理 手 数 料	60,269	39,850	20,419
パ ソ コ ン バ ン ク 基 本 料	153,786	167,940	△ 14,154
交 際 費	820,795	776,757	44,038
管 理 維 持 費	768,784	645,177	123,607
セ ム ー ム 費	26,187	27,518	△ 1,331
塵 芥 処 理 費	15,281	15,876	△ 595
そ の 他	600,590	483,527	117,063
自 家 用 電 気 工 作 物 保 安 管 理 業 務 金	28,973	39,362	△ 10,389
エ レ ー タ 保 守 料	28,848	24,210	4,638
機 器 保 守 料	20,721	21,924	△ 1,203
支 払 保 守 料	48,184	32,760	15,424
支 払 利 息	308,919	333,031	△ 24,112
<b>経常費用計</b>	<b>1,716,184,022</b>	<b>1,707,487,923</b>	<b>8,696,099</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	27,160,531	55,616,873	△ 28,456,342
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>27,160,531</b>	<b>55,616,873</b>	<b>△ 28,456,342</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	30,244	6,521	23,723
什 器 備 品 除 却 損	30,244	6,521	23,723
経常外費用計	30,244	6,521	23,723
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 30,244	△ 6,521	△ 23,723
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	27,130,287	55,610,352	△ 28,480,065
法 人 税 等	8,116,300	13,635,200	△ 5,518,900
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	19,013,987	41,975,152	△ 22,961,165
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	602,441,129	560,465,977	41,975,152
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	621,455,116	602,441,129	19,013,987
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受 取 補 助 金 等	0	7,500,000	△ 7,500,000
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	7,500,000	△ 7,500,000
受 取 寄 付 金	412,000	0	412,000
受 取 寄 付 金	412,000	0	412,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 3,996,698	△ 3,377,186	△ 619,512
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 3,996,698	△ 3,377,186	△ 619,512
地 方 公 共 団 体 補 助 金	△ 3,621,624	△ 3,111,979	△ 509,645
寄 付 金	△ 375,074	△ 265,207	△ 109,867
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 3,584,698	4,122,814	△ 7,707,512
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	38,912,925	34,790,111	4,122,814
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	35,328,227	38,912,925	△ 3,584,698
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>656,783,343</b>	<b>641,354,054</b>	<b>15,429,289</b>

## 第72回通常総会

### 議案審議及び質疑応答の概要

#### <議案の審議>

##### 報告第1号 平成26年度会務並びに事業経過報告について

吉田洋史副会長より、(1) 平成26年度会員・薬局等の業態現況報告、(2) 会議等の開催状況(3) 講演会・研修会の開催状況(4) 公的機関等の会議・公的活動(5) 各種委員会等開催状況(6) 会報取材状況(7) 公的機関への協力、について配布資料に基づき報告があった。引き続き(8) 地区・支部・部会活動(平成26年度事業経過報告、「薬と健康の週間」行事、生涯研修の受講状況、調剤報酬請求金額・処方せん枚数、病院別院外処方せん発行状況、試験検査センター事業報告、薬事情報センター事業報告)までを報告書に沿って報告した。

##### 報告第2号 平成26年度会務並びに会計監査報告について

大城桂子監事より、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの沖縄県薬剤師会の予算の執行を監査した結果、事業報告の内容は会の状況を適切に示しており、また、収支計算報告の内容は会の活動及び収支状況を正しく示しているものと認めた、との報告があった。

##### 議案第1号 平成26年度決算承認の件について

山里勇常務理事より、配布資料に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書の大科目について順次説明した。実施事業等会計の総計について述べられた。

##### 議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件

亀谷浩昌会長候補者より、新理事候補者名簿を資料として提出しているので、承認を頂きたいと述べられた。

#### <地区薬剤師会代表質問>

##### 八重山地区薬剤師会

##### 山城専代議員演説①

八重山地区への医薬品卸会社を誘致する件について、新沖縄県立八重山病院建設予定地(旧石垣空港跡地)の側に県有地があり、そこに卸会社支所を誘致できないか考慮している。県の病院事業局から、管財課や空港課との会合を勧められている。沖縄県薬剤師会(以下、県薬)も引き続き協力して頂きたい。

##### 神村武之会長答弁

当件については、中山義隆石垣市長にこれまで4度面会、また、中山市長と共に沖縄県医薬品卸業協会にも出向き協会会長に同様に依頼してきたが、難色を示している。県薬としては当該設置に向け、今後も引き続き模索し協力していく。

##### 山城専代議員演説②

薬局の構造規制の緩和について、政府の規制改革会議の今後の動向を予想できるか。

##### 吉田洋史副会長答弁

日本薬剤師会も薬局の構造規制の緩和に反対の決議をし、県薬も去る6月13日の定例理事会で

反対の決議をした。政府の規制改革会議は、6月16日に「医薬分業」の一部緩和による病院敷地内の薬局併設等の答申をまとめ、安倍晋三首相に提出。政府は答申を基に実施計画策定に着手し、新成長戦略に反映させ、今月末に閣議決定する方針である。

### 山城専代議員演説③

薬剤師求人求職斡旋事業に関して、平成26年度の取り組みと実績を示して頂きたい。民間の紹介会社の手数料がアップしており、更なる強化策をご検討頂きたい。

### 田場英治専務理事答弁

昨年の通常総会において、貴地区から同内容の代表質問があったことから、平成26年度は同事業を強化するため予算を増額し、従来行ってきた事業に加え、次の対策等を行った。

- ① 地元紙と本土紙の求人欄へ広告掲載
- ② 薬剤師のための情報誌（「調剤と情報」と「日経D I」）へ求人広告を掲載
- ③ 薬学部を有する大学以外に、薬学ゼミナールの進路相談コーナーへ求人票を掲示
- ④ 薬科大学におけるUターン・Iターン等の就職斡旋・相談会の開催
- ⑤ 新任・新人薬剤師研修会や学術大会などは、薬学生実務実習期間中に開催日を調整し、薬学生が無料で参加できるようにして、卒後に沖縄でも十分に研修や発表の場があることをPRしている。これは、昨年度から実務実習薬学生が急増したため、薬学部へ出向くよりも、実習期間中に「Uターン・Iターン啓発」をすることが効率的であると考えたからである。特に、平成26年7月6日開催の「新任・新人薬剤師研修会」には多くの薬学生が参加し、青年部会役員が「Uターン・Iターン啓発」の講話を行った。

更に、平成26年度は、国が創設した「医療提供体制改革のための新たな財政支援制度（基金）」の一項目である「医療従事者等の確保・養成のための事業」に、本会は「薬剤師の確保」を県に提示した。平成26年度と同補助金を交付されるよう県に昨年末から交付申請をし、交付された。平成26年度は僅かな期間で求人広告掲載のみとなった。同申請は、沖縄県に薬科大学が無く、また全国的な薬剤師不足もあり、薬剤師の確保が困難であることを提示理由としている。平成27年度も引き続き申請しており、8月には交付される予定。同計画の有効性としては、年間数名程の薬剤師を確保し養成、そして就職に至るまでの達成を目標にしたいと考えている。

### 山城専代議員演説④

県薬災害対策マニュアルも完成し、県から指定公共機関に指定されたが、今後の具体的な取り組みを示して頂きたい。

### 吉田洋史副会長答弁

県薬のBCP（業務継続計画）を作成し、資材・機材の購入や災害対策・避難用品の備蓄を少しずつ進めたい。机上訓練、実務訓練を県や医師会と連携し行っていきたい。

### 山城専代議員演説⑤

賛助会員B会費未納薬局に対する昨年度の取り組みと回収実績を示して頂きたい。

### 山里常務理事答弁

県薬に登録されている調剤薬局522件の内、賛助会員B会費の未納薬局は51件となっている。当該未納薬局に対しては、電話連絡により再請求を行っている。その内、500円以下8件を除く43件中5件から処方せん受付回数届出書があり、支払い始めた薬局もある。残る38件に対しては再々請求し、応じない薬局には今後厳しく対応せざるを得ない。定款第9条に基づき除名、そこに勤務している薬剤師も会員資格を失うことになる。

**南部地区薬剤師会****伊敷松太郎代議員演説①**

南部地区では、1カ所のFAXコーナーが開設当初より赤字を続けている。各地区も運営には苦勞していると思われるが、今回、累積赤字が、FAXコーナーの1年分の運営額に並んだ。各地区のFAXコーナーを沖縄県薬剤師会で一元管理できないか。

**江夏京子常務理事答弁**

南部地区ではFAXコーナーを3カ所運営されており、その内1カ所だけが赤字になっていることだが、赤字の原因が、処方箋発行枚数が少ないのか、FAX料金の回収率が悪いのか、自助努力をしての結果なのか、他に理由があるのか知りたい。また、3カ所まとめて収支決算したうえでの赤字なのか教えてほしい。FAXコーナーの本来のあり方は面分業の推進や患者サービスの向上に資するという考えから厚労省が認めた事業であり、このような趣旨から収益事業としては認められていない。3カ所まとめての収支決算から収益が出ていないようであれば、それで良いのではないか。各地区が運営しているFAXコーナーを県薬で一元管理できないかとのことだが、北部地区と那覇地区は下部組織ではあるが一般社団法人になって別法人であり、会計も別になっている。会計上、一元化はできない。それ以外の地区をみてもFAXコーナーの運営は各地区の状況に基づいて運営方法が違うので、一元化にすると、より運営が複雑になる。現在のまま各地区で運営していただくのが最善の方法である。

**伊敷松太郎代議員演説②**

土日の処方箋受付が増えており、近隣の薬局と協力し合ったり、一部の卸会社に営業時間を延長していただき助けていただいている。それでも大部分の処方箋に対応ができていない状態である。薬局の365日24時間営業は、医薬品の調達が問題になると考えている。今後も卸会社の協力が更に必要と思われ、改めて、卸会社へ要請が必要と考える。県薬から提案があればご教示いただきたい。また、県薬の備蓄ネットワークによる連携以外で、他に提案があればご教示いただきたい。

**江夏京子常務理事答弁**

昨今、土曜日開局の薬局が増加しているが、近隣の薬局で小分けができていく状況だと思う。日曜日に開局しているほとんどの店舗はOTC薬の販売が中心となっていると思われる。しかし、調剤も受け付けている薬局もあり、備蓄していない薬を処方された時に薬の供給に支障をきたしているのかと思われる。厚労省は2025年までに患者の服薬情報を一元管理できる「かかりつけ薬局」に再編する検討をしており、24時間調剤や在宅患者の服薬指導についても検討する事項としている。土日、休日の調剤体制が安心、安全に供給できるよう取り組んでいく必要がある。卸会社にはこれ以上の負担をかけたくはないが、県薬としては会員のために今の現況を踏まえたうえで卸協会にこれまで以上の協力を要請していく。現時点においても卸会社には大変なご協力をいただいている状況である。

**伊敷松太郎代議員演説③**

薬局の24時間営業について、現況のままではさらに問題化する事項が多くなると思う。南部地区には会営薬局が3軒もあり、他地区よりは会営薬局を利用した輪番制による24時間開業もやり易い状態にあると思われる。近隣の地区と協力し合うことができれば会員の負担も軽くなると考える。会長のお考えをお聞きしたい。

**神村武之会長答弁**

そのような状況になれば、一つの案としては良いと思う。しかし、厚生労働省が推進する「か

かりつけ薬局」「24時間体制」が出た時に、会営薬局があるからということで南部地区の会員薬局はやらなくていいという事ではない。患者の利便性を考慮して地区毎に輪番制にしている他県での例もある。会営薬局以外の個人薬局では対応しないということなのか、他地区の取り組み方法もあると思われ、もっとよく考慮していく必要がある。

### 北部地区薬剤師会

#### 成川賢一代議員演説①

今後の沖縄県薬剤師会の具体的な方向性、ビジョンを会長候補者へ伺いたい。

#### 亀谷浩昌常務理事（会長候補者）答弁

医薬分業における薬剤師バッシングを跳ね返すために、薬剤師職能を更に高めることを模索していく。現在行っている「健康とおくすり相談会」を発展させ、他にも会外部に発信する事業を企画して社会貢献を拡大し、顔の見える薬剤師を志向する。薬に関する講演会は薬剤師が率先して講師になるようにしていく。開局、病院両薬剤師の人的資源を活用して会員の生涯学習を効率的に支援できるようにしたい。IT環境を充実させ、ITを利用した業務の効率化を図る。薬剤師職能の拡充のための政治力を増強させる。会組織の各部門において、若手、女性、その他多くの薬剤師職種を起用し、知恵を集め、より会員の利益・要望に応えられる組織を目指す。オープンな薬剤師会を目指し、より身近な組織にしたい。その上で入会にも繋がる施策を模索し、組織強化を図っていきたい。難しいことではあるが、将来的には薬剤師の派遣ができるよう検討する。会営薬局の移転に備えた活動を推進・強化する。

#### 成川賢一代議員演説②

地区薬剤師会代表質問及び一般関連質問について、後日、地区薬剤師会宛てにQ&A形式で議事概要をいただきたい。

#### 田場英治専務理事答弁

8月初旬発行予定の「おきなわ薬剤師会報7・8月号」に本総会の報告記事を掲載するので、当該質問と回答も同時に掲載される。ちなみに、昨年も同誌7・8月号にQ&A形式で詳細に掲載した。

#### 成川賢一代議員演説③

各種委員会の委員の選出方法について教えていただきたい。

#### 吉田洋史副会長答弁

現在、各種委員会の委員の選出方法についての規定は特に無い。地区・部会からの意見を必要とする委員会については、各地区・各部会推薦の委員枠を設けている。また、委員会の職務内容に適材適所で有能と思われる会員を委員長が指名、選出することもある。職務内容に則した企画、運営ができる会員であることが条件であり、やりたいからやらせるのではなく、人選は慎重をお願いしたい。

### 宮古地区薬剤師会

#### 古謝真己代議員演説①

現在、宮古地区に設置されているテレビ会議システムは個人の薬局（シモジ薬局）に設置しているが、同システムを使用する際、毎回、管理を個人に負わせている状態であり負担がかかっている。また、参加者の駐車スペースが不足であるため、多数参加の講習会等には支障をきたす。以上の理由から、テレビ会議システムを沖縄県立宮古病院の会議室等へ移設できればと希望する。しかし、県薬の資材である同システムを他へ設置する事は可能か、ご教示いただきたい。

**神村武之会長答弁**

実際に宮古地区会場（シモジ薬局）で受講したが、古謝代議員の言われた通りの状況であった。沖縄県立宮古病院にて同システムの設置が可能なら会員にとって良いのだが、沖縄県の施設なので、沖縄県の所轄部署に交渉してみる。

**古謝真己代議員演説②**

テレビ会議システムの画面モニターをより大型へ変えられないか。現在の画面では会場後部席から見え難いとの苦情がある。

**神村武之会長答弁**

私もそのように実感した。大型モニターの購入を検討する。

**古謝真己代議員演説③**

県薬で開催された講習会を録画してデータ化し、DVD配布もしくは県薬ホームページから閲覧できるようにしていただけないか。離島という条件下、開催日時や遠距離による金銭的な問題等もあり、希望の講習会に参加できない事が多い。

**松山朝雄副会長答弁**

提案の件については必要性等も含めて検討させていただきたい。研修会、講習会、講演会等の何をどこまでデータ化するかは新執行部で整理、検討していく（メディア、記録方法、提供基準など）。録音・録画等をおこなう場合、講師・演者の許可を要するので、全てを記録できるとは限らない。一般的に許可されない限り「撮影や録画・録音は全て禁止」が普通であり、学会でも同様である。同条件において許可が出た物に限り、データ化し保存、提供ということになる。例えば、記録の管理と運用において、沖縄県医師会の「文書映像データ管理システム」が参考になる。

**古謝真己代議員演説④**

宮古地区で薬剤師職能をPRする場合は、現在、「健康とおくすり相談会」のみである。これ以外に地域住民にPRする手段として、本島で行われている「市民公開講座」を開催することを考慮している。「市民公開講座」の開催や資金を県薬は援助することが可能か。

**吉田洋史副会長答弁**

講師や会場等について、事前に計画を立て、県薬としっかり連絡を取り合ったうえで予算が確保できれば可能である。

**古謝真己代議員演説⑤**

近年、薬剤師にセルフメディケーションの支援者としての役割が期待されている。その一つに昨年より「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」が進められており、店頭において血圧測定、体脂肪測定などの簡易検査機を設置して取り組まれているが、その事業の中に「血糖測定」を入れる事はできないのか。

**笠原大吾理事答弁**

「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」は、昨年度、沖縄県では、“残薬整理事業（お薬バッグ事業）”ならびに“体脂肪率ならびに血圧測定に基づいた受診勧奨事業”の2事業を実施した。昨年度は、国での予算使用の決定ならびに県より県薬剤師会への再委託が遅かったこともあり、実質2～3か月の期間しかデータ収集ができなかった。本年度は、この事業に「自己採血による糖化ヘモグロビン（HbA1c）の測定に基づく受診勧奨、検査の重要性の啓発等事業（仮題）」を計画中である。HbA1cの測定は、随時血糖値測定と比較して信頼性があり、昨年度の「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」において、全国でも多くの都道府県が取り組んでいること、日薬から今年5月に「薬局・薬剤師のための検体測定室の適正な運用の手引き」

も出ており、取り組むには絶好の機会ではないかと思う。本年度の「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」には、その実現を見据えて計画を進めていく予定である。

### 中部地区薬剤師会

#### 新川祥平代議員演説①

現在、沖縄市と宮古島市において、県のモデル事業として地域ケア会議が行われているが、そこへアドバイザーとして薬剤師が派遣されている。3年後の2018年からは、全ての地域包括ケアセンターにアドバイザーとして薬剤師が派遣されると聞いているが、これについて、どのような人材を派遣するのか、アドバイザー養成のための勉強会などを開催する予定はあるのか。沖縄市だけでも7ヵ所のケアセンターがあり、最低でも7人の薬剤師が必要になると思われる。県薬としてはどう考えているのか伺いたい。

#### 笠原大吾理事答弁

地域包括ケアにおける地域ケア会議の位置づけは、今後、地域で療養する多くの患者・利用者にとって大変重要であると考えている。沖縄県では、地域ケア会議における“専門職アドバイザー”として、リハビリ三士（PT、OT、ST）、（管理）栄養士、歯科衛生士などと並び、薬剤師が関わっている市町村が多いと伺っている（那覇市、浦添市、沖縄市、うるま市、宮古島市など）。このことは、患者・利用者の自立支援に向け、薬がADL等に与える影響のアセスメントを通して貢献ができるものであり、他県と比較しても、薬剤師が地域医療で大いに期待されているという点で大いに評価し得ることだと思う。しかし一方で、これに資する薬剤師の数が少ない現状がある。一番の理由は、地域ケア会議が平日の日中に開催されることで、薬局で勤務している薬剤師は、業務を代ってもらえなければ参加することが難しいということである。人材確保のためには、地域ケア会議に参加できる薬剤師を数多く養成することが急務と考える。幸い、平成27年度に、県の予算で人材育成事業（地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議に参加する助言者としての薬剤師の人材の育成）に予算が付いた。これを活用して人材育成を全県的に取り組む予定である。本趣旨をご理解のうえ、企画する講習会・勉強会に参加いただき、一人でも多く専門職アドバイザーとして地域ケア会議に参加できるようご協力願いたい。

#### 新川祥平代議員演説②

学校薬剤師として活動している方は多くおられる。小、中、高等学校ごとで活動内容に違いがあるとは思われるが、学校薬剤師各個人でも活動内容に大きな差があると感じられる。活動内容等を分かり易くするためにも、学校薬剤師の年間活動計画を立てることはできないか？また、学校薬剤師同士の関係も希薄と思われるため、情報収集にも苦慮している。もっと情報共有の場を増やしたり、横の繋がりを強化することはできないか。現在の組織体系もどうなっているのかご教示いただきたい。また、検査報告書も決まりが無く各々で作成しているが、ひな形を作成することを考えてほしい。試験検査センターの各学校における水質検査の入札状況もお聞きかせ願いたい。

#### 前濱朋子理事答弁

平成26年度から、活動の目安となるように月毎に実施する検査項目をホームページに一覧で掲載している。検査項目については学校環境衛生基準に定められており、測定時期は各学校の状況を把握し、学校の要望も聞きながら設定するのがベストと考える。組織体制について、学校薬剤師部会は沖縄県薬剤師会の部会の一つとして活動している。部会は6つの支部に分けている。貴地区のように市町村数が多い支部では、足並みが揃わない事もある。市町村毎に責任者を一人設

置き組織強化を図ることを検討している。部会主催の講習会として、6月の総会時、9月～10月に研修会、ほか必要に応じて（騒音測定、くすり教育など）各地区へ出前講習会の開催を行っているので、情報収集の場として活用いただきたい。検査報告書のひな形については、報告書作成の事例を県薬ホームページに掲載することで対応したい。検査用紙の統一は昨年から取り組んでおり、一部、県薬ホームページよりダウンロードできるようにしている。検査用紙には考察欄もあるので利用していただきたい。試験検査センターの水質検査の入札について、平成25年度は入札2件（那覇市は他業者が落札）で随意29件、平成26年度は入札1件で随意31件、平成27年度は入札1件で随意27件となっている。

### 新川祥平代議員演説③

会営薬局とよみへの応援薬剤師の件について、管理薬剤師が兼務できるように県と交渉を続けていくということだったが、現在どのようになっているのか伺いたい。沖縄県立中部病院の門前薬局についても会営薬局同様、管理薬剤師が兼務をできるように陳情していただきたい。

### 吉田洋史副会長答弁

保健所や県と協議を何回も重ねた結果、去る6月11日に県から「薬局等の管理者の兼務について」の通知が届き、休日又は夜間に薬剤師会等の輪番で調剤に従事することが出来ると記されていた。同条件において管理薬剤師の兼務が可能となった。薬剤師会等となっているが、これは県薬や地区薬での会営薬局を想定しているもので、公益事業と認定される必要がある。法人や個人の薬局では公益事業として認められないので兼務の許可は無理である。

## 那覇地区薬剤師会

### 具志堅興信代議員演説①

各都道府県薬剤師会の会費を調べてオープンにし、発表してもらいたい。

### 山里勇常務理事答弁

各都道府県薬剤師会の会費について、本会事務局で調査し、30ヵ所の薬剤師会の会費情報を得ることができた。会員数、保険薬局数、会費項目等、一概に比較はできないが、各県に比べ沖縄県薬の会費は決して高い方ではない。他県では主に、地区薬剤師会、支部薬剤師会が充実して活動が活発で、会費徴収も地区薬、支部薬が行い、県薬へまとめて支払っていることがほとんどである。要は、会費徴収に見合った事業運営がなされているかである。沖縄県薬では収益事業部込みで運営されていることをご理解いただきたい。

### 具志堅興信代議員演説②

生活保護を受けられない状況の患者の場合、薬剤師として調剤拒否はもちろん、道徳的な意味合いからも処方箋を受け入れて薬を交付するが、薬がかなり高額のため、薬局経営に大きく響く。県薬でできることはないか。

### 吉田洋史副会長答弁

県薬でできることは、未収金対策を各自で強化してもらいたいとしか言えない。当初から支払う意志のない悪質者が来局した場合は、薬局への立ち入りを禁止する等の対応をとっても良いかと思う。後日に払うということであれば、誓約書を書いてもらうなど、請求を口頭で催促するだけでなく、書面による請求をすること。実際に自宅へ訪問したこと等の記録を残していれば、金額が高額になった際、具体的には60万円以上になった時に保険者に請求することもできる。60万円以下は少額訴訟で資産を差し押さえることができる。民事調停、民事訴訟、行政執行などの法的措置もあるが困難である。社会福祉法に基づく「無料・低額診療事業」を行っている医療機関

への受診勧奨をしていく。ただし、院外処方箋は対象でないため院内処方になる。保険者への請求もできるが、医療機関側の回収努力が不十分であると判断されると対応してもらえず、また国保税を滞納していたり、そもそも資力を有していないこともある。

### 具志堅興信代議員演説③

在宅のマニュアルを作成すると言っていたが、その後どうなっているのか。

### 笠原大吾理事答弁

昨年度より、会員に広く活用してもらうための「在宅医療のためのマニュアル」作成に取り組んできた。しかし、平成27年4月に介護保険の改正があったため、せっかく作成したマニュアルが直ぐに改訂となってしまうことを避けるため、様子をみての作成をすることを本会定例理事会で承認いただいた。よって、本年度も継続して、完成に向けた取り組みをしていく。

## <一般質問>

### 吉富弓江副議長

一般質問は、本日の議題の報告、議案について、及び地区薬剤師会代表質問に関連した内容とする。

### 伊是名秀平那覇北支部代議員

平成26年度在宅事業についての報告で、県薬ホームページの在宅支援薬局として登録されている薬局は59件となっているが、沖縄県内の保険薬局数522件に対して12～13%程でしかなく、この数字は、全国でもワースト2位である。在宅支援薬局を増やして行く上で、各種届出や保険請求等の方法等についての研修会の開催をお願いしたい。

### 笠原大吾理事

在宅支援薬局数は、全国的には、未だ低い数字であるが、少しずつではあるが増えてきている。また、(実施薬局)数ではなく、(実施)内容であると思っている。

各種届出や保険請求等の研修会については、年1回は開催してきたが、今後は開催回数を増やすなどして、会員の皆様のご要望に応えていきたい。

### 神村武之会長

在宅支援は、これからの薬剤師に課された大きな仕事である。在宅支援薬局数が少ないのは、沖縄県は他府県と比較して介護施設や老健施設が多いこと。そして沖縄県では、在宅支援に取り組んでいる医師も限られており、その医師からは、一つの特定の薬局に集中的に在宅支援の依頼をしている状況であるため、それらのことが、在宅支援薬局数が伸びない理由として考えられる。今後、かかりつけ薬局として、その薬局に通っていた患者さんが在宅支援を望む際には、薬局から医師へ在宅支援を引き受ける旨を伝えて行くシステムの構築が必要である。

### 比嘉真三那覇東支部代議員

在宅支援を受けている患者の実態を把握されているでしょうか。実際、医師から処方されたお薬の量が増えても、介護士は、そのまま飲ませてしまうケースもある。そこに薬剤師がいれば、気がついて医師に確認することができる。薬剤師の活躍を期待する。

### 神村武之会長

在宅支援は、薬剤師が勝手に動くことが出来ない。医師の指示があって初めて動くことができることを理解していただきたい。各薬局は、積極的に研修会等に参加し、医師からの指示があればいつでも動けるよう備えてほしい。

## 神村武之会長

会営薬局うえはらに無菌調剤室を設置しているが、今後は会営薬局とよみにも設置したい。その会営薬局の施設が利用できない地区においては、地区薬と県薬と相談し、地区薬の拠点薬局に設置していけるよう検討していきたい。今後、全国展開の大手チェーン薬局が沖縄県に参入してくると、資金力により自ら無菌調剤室を設置し、根こそぎ在宅患者を受け付けることが危惧される。

## 我喜屋美香理事

昨年は、会営薬局とよみについてご心配をお掛けした。まだまだ厳しい薬剤師状況ではあるが、これまでの経過報告をしたい。その後2名の正職薬剤師を迎え入れ、非常勤薬剤師と協力薬剤師とまた近隣の薬局の積極的な協力により、効率良く業務をこなしてきた。また責任者については、現在交渉中である。

会営薬局は、実務実習生も受け入れて、在宅にも取り組んでいかななくてはならない。今後とも皆様のご理解とご協力賜りたい。

## 吉富弓江副議長

他に質問が無いようなのでこれで一般質問を終了とする。

## <採決>

議長より、議案第1号の平成26年決算承認の件について承認が求められ、賛成多数で承認された。

次に、議案第2号の一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件について、承認が求められ、荒井千春氏（在宅医療）、新垣秀幸氏（南部地区）、石川恵市氏（青年部会）、江夏京子氏（医薬分業）、我喜屋美香氏（実務実習、会営薬局）、笠原大吾氏（地域保健開局）、亀谷浩昌氏（会長候補者）、川満直紀氏（医療保険）、幸地良信氏（八重山地区）、佐藤雅美氏（中部地区）、下地仁氏（宮古地区）、成川賢一氏（北部地区）、姫野耕一氏（那覇地区）、外間惟夫氏（病院薬剤師部会）、前濱朋子氏（学校薬剤師部会）、宮城敦子氏（広報）、村田美智子氏（女性薬剤師部会）、山里勇氏（卸勤務薬剤師部会）、吉田洋史氏（災害対策）、吉富弓江氏（医療安全対策）が賛成多数で承認され、以上の者達は、理事就任を承諾した。（当日欠席した荒井千春氏と佐藤雅美氏については、就任承諾書の提出を求めた）



総会終了後、新理事による臨時理事会が開催された

## 会務ハイライト

### 第1回「薬剤師のための症例検討入門」研修会開催報告

日時：平成27年5月31日(日) 12:00～14:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



学術研修委員会  
潮平 英郎

平成27年5月31日、沖縄県薬剤師会館にて第1回薬剤師のための症例検討入門研修会が「臨床力をつけよう 入門編 高血圧」と題して開催されました。当日は、後半にドイツよりアッセンハイマー慶子先生をお迎えした来日記念講演会も開催されたこともあり、150名を超える先生方に参加頂き盛会となりました。

平成18年より薬学教育は6年制となり、これ以降の薬剤師免許取得者は6ヶ月間の実務実習を経て社会へ出てきます。同じ年には医療法が改正され、「調剤を実施する薬局は医療提供施設」と位置づけられました。また、平成24年度診療報酬改定においては、病棟薬剤業務実施加算が新設され、更には平成26年に薬剤師法第25条の2が改正され、「薬剤師は、調剤した薬剤の適正な使用のため、販売又は授与の目的で調剤したときは、患者又は現に

その看護に当たっている者に対し、必要な情報を提供し、及び必要な薬学的知見に基づく指導を行わなければならない。」と記載されました。これらの流れに一貫して言えることは、一つが医薬品販売や狭義の調剤（処方箋通りの薬剤交付）から医療従事者としての広義の調剤業務、即ち「薬物療法という概念を内包した調剤」への転換が推進されていること。もう一つが、個々の患者に対する必要な情報、必要な指導を通して薬物療法の提供が可能な臨床力を求められていることと考えられます。臨床力を高める手段としては、個々の患者についての薬物治療を考える症例検討が有用と考えられます。



多数の参加者があった



講師 大澤 友二 先生

<式次第>

○ あいさつ

◎ 講演「臨床力をつけよう 入門編 高血圧」

(福岡薬物治療研究会会長、九州大学薬学部非常勤臨床教授、元昭和薬科大学教授)

○ 症例経験と質疑応答

司会：学術研修委員会 佐久川 さつき

沖縄県薬剤師会 会長 神村 武之

講師：大澤 友二先生

座長：琉球大学医学部附属病院 潮平 英郎

とはいえ、実際に体系立った模範的な症例検討を学ぶ場というのは意外に少なく、薬剤師としてのスタンダード的な症例検討の方法論自体、なかなか見当たらないのが現状でもありました。その様なことを感じていたところ、2014年12月、とある講演会の懇親会（居酒屋）にて、前沖縄県薬剤師会専務理事の田場英治先生より、「症例検討をやる講演会をシリーズでやりたい、案を出してくれないか？」と一言頂いたことがきっかけで、この研修会シリーズが開催される運びとなりました。講師には、かつて筆者が大学院生時代に参加していた福岡薬物治療研究会にてご指導頂いた、九州大学薬学部非常勤臨床教授、福岡薬物治療研究会会長、前昭和薬科大学教授の大澤友二先生をお招きしました。大澤先生は「症例検討入門」という著書がある通り、長年の薬剤師・教員キャリアのなかで業務・研究・教育を実践しながらこの分野を切り開いてこられた第一人者であります。5月31日の研修会のテーマには、日常業務の中で出会ったことが無い薬剤師はいないであろう「高血圧」の薬物治療をテーマに講演頂きました。症例検討の基本的な流れは疾患別に異なる点が少ないため、メジャーなテーマを一通り経験すると応用が利かせ易く、高血圧というテーマは導入教材としてはうってつけであっ

たかと思えます。実は、この講演会は2部構成で企画されていて、本番は8月29日実施の第2回となります。この第2回研修会では、参加者にスモール・グループ・ディスカッションを行って頂き、実際に症例検討を実施して頂く予定です。知識の習得だけではなく、実際に症例検討を実践してみることが習得への近道と考えています。議論やプレゼンテーションは「チーム医療」において重要な技能となります。職種や知識・技能背景の異なる集団において、根拠となる情報を探して知識として整理する能力、相手に意志を伝え納得してもらおうプレゼンテーション能力やディスカッション力を高めることは臨床力を高める上では必須と考えられます。この臨床力は、他職種の集まる病院だけではなく、在宅医療へ活躍の幅が広がる保険薬局においても、今後重要視されると考えられます。第2回以後の研修会にも是非参加して頂き、症例検討のノウハウを習得し臨床力の向上に繋げて頂ければと思います。なお、第3、4回研修会は心不全をテーマに実施する予定です。

最期に、筆者が出した研修会案をそのまま受け入れて実施して下さいました、神村武之前会長、田場英治前専務理事、学術研修委員会はじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。



座長 潮平 英郎氏



司会 佐久川 さつき氏



研修会企画者で記念撮影

## 会務ハイライト

### アッセンハイマー 慶子氏 講演会 & 情報交換会 報告

会期：平成27年5月31日(日) 14:30～16:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

○ あいさつ

◎講演「ドイツの薬局に学ぶ地域に根ざした薬局づくり」

講師：アッセンハイマー 慶子 先生

(セントラルアポテーク開設者 日本コミュニティーファーマシー協会理事)

座長：沖縄県薬剤師会常務理事・広報委員会 前 濱 朋 子

○ 情報交換と質疑応答

司会：広報委員会 伊差川 サヤカ

沖縄県薬剤師会 会長 神 村 武 之

アッセンハイマー慶子先生は、沖縄に来られる前に東京でもご講演されていた。東京での講演にて、ドイツでは薬局が地域の住民の身近な存在となっており、患者さんにはそれぞれのかかりつけ薬局があることを聞いた。今回の沖縄での講演では、ドイツの薬局に関してさらに深く話を聞く貴重な機会を得た。国は違えども、地域の方の健康を、薬学の知識で守るそのプロフェッショナルな姿に、大きな刺激を受けた。

先生がドイツ南部のロッテンブルクで薬局を開いてからもうすぐ20年になる。

ドイツの薬局は、保険調剤薬局とドラッグストアの両機能を備えた混合型である。どの薬局でも保険調剤が可能なので、地域の患者さんは自分の好きな薬局へ処方箋を持って行く。処方箋は主に3種類存在し、電算処理が可能な形式になっている。橙色が麻薬、桃色が一般薬、緑色がOTCの処方箋と色で区別さ



広報委員会  
伊差川 サヤカ

れている。24時間営業の薬局が地域に必ず1つはあるので、患者さんはいつでも薬を受け取ることができる。薬局に置いていない薬剤でも、卸の配送が頻回あるので確実に薬を渡すことができる、薬局はインターネットより早いのだ。

処方箋業務は複雑だ。薬剤は、患者さんが入る保険会社によって提携している製薬会社が決められているので、同じ一般名の降圧薬でもA保険の場合はA製薬会社、B保険の場合はB製薬会社と指定されてくるので、調剤の前にまずどの製薬会社の薬剤を払い出すべきなのかを確認しなければならない。現在はコンピュータで保険会社からすぐに製薬会社を検索できるが、過去には手で分厚い資料をめ



「ドイツの薬局に学ぶ地域に根ざした薬局づくり」



講師 アッセンハイマー 慶子 先生

くっていたというのだから手間のかかる作業であったことが伺える。

一方、調剤方法は合理的でシンプルだ。基本的に薬は箱出しで、添付文書を付ける。日本なら抜いてから交付するかもしれないが、ドイツでは患者さんにも添付文書を読む義務がある。読んだ上で薬剤の飲み合わせなどが気になった場合には薬剤師へ相談する。散薬は存在しない。子供の薬など投与量が半端になる薬剤は、水剤やドライシロップ型の薬剤がある。ない場合は、錠剤を懸濁させて交付する。だからドイツの薬局には分包業務は無いのだ一なんて羨ましい。一包化業務もない。究極の個人主義国家のドイツ人は、自分の薬は自分で管理する努力をするからだ。もちろん、多種類の薬剤を飲まなければならない、内服のタイミングを忘れそうな患者さんに関してはご本人の希望があれば、薬局で服薬時点ごとに、自分のピルケースに薬剤を分けてもらうことはできる。大抵1週間分をお願いする。時間がかかる場合は、患者さんに薬局・地域で買い物などをしながら待っていただくように伝えれば問題ない—日本なら少し待たせるだけでも、冷や汗が出てくるはずだ。

今、日本の薬局は受難の時期を迎えているが、ドイツの薬局も医療改革により苦しい時期を経てきた。2004年の改革で、利益は減り、多くの薬局が店を閉めた。しかしピンチはチャンスとなり、OTCの価格自由化や支店が3支店（それまでは1支店だけ）まで持てることになり、薬局は競争力を高めている。日本と違い、テクニシャンを活用することが許されている為、ある時間は全て患者さんのため

に費やせるように工夫を凝らしている。薬局・薬剤師が地域の人にとって身近な存在になるようなイベントも欠かせない。毎年6月にある「薬局の日」。この日の一か月前から準備を怠らない。毎年決めたテーマに沿ってポスターを掲示し、薬局のウィンドウディスプレイも華やかに変える。当日は、血糖値測定など地域住民の健康チェックをする他、OTC薬の特売などを行っている。少し遊びも加えて、お祭りのように子供たちにバルーンを配ったり、サーカス団を呼んだり、手が込んでいます。勤勉な国民の薬剤師は努力により今も地域の人の信頼を保っているようだ。

ドイツの薬局は、ドイツの人にとって最も便利で居心地が良いように進化している。日本がドイツと横並びをしなくても、今でも十分日本人の国民性に合うようにサービスを充実させている。しかし世の中の薬剤師への目は厳しい。異なるのは何なのか。それはこれから私たちの世代の薬剤師が解明し、努力していく命題でもある。

アッセンハイマー先生は、日本の薬科大学を卒業し、薬剤師資格を取られてからドイツへ行かれた。—なぜ？ドイツ？—実は先生は、昔からウィーン少年合唱団が好きで、いつかヨーロッパで音楽三昧の日々を過ごしたいと思っていたそうだ。就業ビザを取得すればもっと長く楽しめるぞという大学時の恩師の助言によって、実際に薬剤師としてドイツで働くことになり今に至るといふ。一瞬のチャンスも逃さず、恐れず、挑んでみる。なんと情熱的で、チャーミング。この講演会を機に、私はすっかり先生のファンである。

<次ページに、アッセンハイマー慶子先生から講演会後の帰国したドイツより、メールでいただいたお言葉を掲載していますので、ご覧下さい。>



座長 前濱 朋子 常務理事



司会 伊差川 サヤカ氏



沖縄県薬剤師会館前で記念撮影



講演会前夜の会食にて  
同日開催となった症例検討入門研修会の講師である大澤友二先生らと楽しく過ごされました。

夏が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。昨日、6月3日にドイツへ戻って参りました。この度は、貴薬剤師会主催セミナーに演者としてお招き下さいましてどうも有難うございました。連日、心温かいおもてなしを受け、恐縮でした。神村会長をはじめ、諸先生方に大変お世話になり、親切にいただきました。去年に続き、このように早く、再び憧れの地、沖縄を訪れることができようとは思ってもみませんでした。母も同様で、それは喜んでおりました。沖縄で親孝行ができました。このようなチャンスを作っていただき、心から感謝致します。

ドイツ医薬分業の意味するところを正確に捉えて下さった日本の薬事関係組織を、私は、貴薬剤師会以外にこれまで存じ上げません。貴

薬剤師会館の二階へ上がる階段横に掛けられたフリードリヒ二世の絵画を視て本当にびっくりしました。この絵画と神殿から、沖縄県の薬剤師の方々が、どのような思いでお仕事をされているか察することができます。たまたまドイツで仕事をしているので、そちらでお話する機会がいただけたことを、なんと幸運なことかと思わずにはいられません。こちらより何かお役に立てる情報が送れるのであれば、いつでもご遠慮なくお知らせ願います。

貴薬剤師会の益々の御発展と沖縄県薬剤師の皆様の御活躍を願いつつ、再度、御礼を申し上げます。どうも有難うございました。神村会長も是非いつかドイツへいらっしゃって下さい。

アッセンハイマー 慶子

### \*\*\* 表紙に掲載の写真『世界の薬局』を大募集！\*\*\*

本会報誌おきなわ薬剤師会報の表紙は、本号より『世界の薬局』シリーズとなりました。第1弾は、アッセンハイマー慶子先生の来沖を記念してドイツにある先生の薬局“Central Apotheke”（セントラル アポテーケ）です。

会員の皆様、海外へ行かれた際は是非その地の薬局を撮影して、本誌へご投稿下さい。

実務実習

平成27年度 I 期薬学生実務実習報告

薬学生実務実習6年目の第1期が7月25日終了しました。7大学9名の学生は今回も元気に実習を終えてくれました。初めて受け入れをする大学は2大学（愛知学院大学、姫路独協大学）、初めての指導薬剤師は4名、皆様の協力の下、無事11週間の実習を終えることができました。

実習生は実習薬局のカリキュラムをこなしながら、薬剤師会として参加した県主催の「しごとミュージアム」（高校生を対象に薬剤師はどんな職業なのか、薬科大学はどんなところかを紹介します）、「地区おくすり相談会」、「『ダメ。ゼッタイ。』運動キャンペーン」な



薬学生実務委員会  
委員長 我喜屋 美香

どの地域活動にもしっかりと参加してくれました。2年後、楽しみです。

実習受け入れ薬局の先生、他スタッフの皆様。協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

以下に、9名の実習生の感想文と実習薬局、実習協力機関を掲載致します。

実習薬局（9薬局）

（以下、順不同・敬称略）

- さくら薬局ICHI      ○アシスト薬局      ○ふく薬局名護店      ○ぴいぷる薬局経塚店
- クララ薬局ウエルビー      ○がじまる薬局      ○保険薬局プラネット      ○すこやか薬局知花
- 病院前薬局

協力施設・委員会・団体

- ぼたん薬局      ○福寿薬局      ○がじまる薬局      ○こくら虹薬局      ○ひるぎ薬局
- ドラッグイレブン新都心店      ○ミドリ薬局美里店      ○会営薬局医療センター前
- すこやか薬局新川店      ○すこやか薬局具志川店      ○(株)薬正堂      ○屋嘉比薬局
- すこやか薬局野嵩店      ○すこやか薬局薬歴委員会      ○(株)ダイコー沖縄
- 北部地区薬剤師会      ○那覇市薬剤師会      ○学校薬剤師部会      ○学校薬剤師の先生方



平成27年度 I 期実務実習薬学生記念撮影

後列（指導者）左より 村上市子氏、糸数理恵氏、玉城尚洋氏、照屋林一郎氏、平良博文氏、仲宗根健太氏、仲真良重氏、我喜屋美香氏  
前列（薬学生）左より 大橋あゆみさん、盛根彩香さん、又吉辰磨さん、山本要さん、山里和代さん、大宜見真希さん、出口仁さん、嘉数達紀さん、仲宗根輝さん

## 実務実習薬学生 平成27年度Ⅰ期生からの体験記・感想

日本薬科大学5年 山里 和代

( 病院前薬局 実習 )  
( 指導薬剤師 浅沼 健一 )

今回、私はふるさと実習で名護市にある「病院前薬局」にて5月11日～7月24日の11週間実務実習を行い、薬局薬剤師の役割について学ぶことができました。実習が始まった当初は不安と緊張で過ごしていましたが、浅沼先生をはじめ薬局スタッフ一同の温かいご指導もあり、徐々に慣れていくと楽しく充実した実習期間を過ごすことができました。

最も印象に残っているのは服薬指導を行った高血圧薬を処方されている70歳代男性です。はじめは緊張から患者さんに体調の確認が出来ず、薬歴から前回と同じ薬が処方されていたのに薬の説明をすることもできませんでした。再度来局した時には、体調の確認は出来ましたが、薬歴から前回よりも薬の用量が増量されていたのに病院での血圧の値を聞くことができませんでした。3回目は、薬歴から前回よりも薬の用量が減量されていたので、体調の確認と血圧の値を聞くことができました。同じ患者さんの服薬指導を複数回行ったことで、緊張もとれてようやく自分の中で服薬指導ができた実感できました。患者さんが、かかりつけ薬局を持つことで薬剤師との距離が近くなり、薬剤師が患者さんの体調変化により気づきやすくなるようになる、これが薬剤師の役割であることを学びました。

実習が始まるまでお薬手帳はさほど重要だと思っていませんでしたが、実習を通して服用薬の有無や相互作用や重複投与などを確認するのに重要になるので、現在服用している医療用医薬品名や一般用医薬品名をお薬手帳に貼る、又は記入する重要性に気づくことができました。

薬局実習で学び得たことをこれからの勉強や実践に役に立てたいと思います。

姫路獨協大学5年 出口 仁

( 保険薬局プラネット 実習 )  
( 指導薬剤師 仲宗根 健太 )

この2ヶ月半は本当にあつという間でした。この実習で多くのことを教えていただき刺激を受けました。一包化や粉碎もさせていただいて、貴重な経験となりました。また、発注業務や検品などの調剤以外のこともさせていただき、多くの方々の連携により業務が行えるのだと学びました。そしてどんな時にも感謝の気持ちを忘れてはならないと考えるきっかけにもなりました。

初めての服薬指導は鮮明に覚えています。服薬指導は毎回緊張しました。何を確認すべきか、どう問いかけたら話してくれるのか。教科書的な説明ではなく、患者さんに分かりやすい言葉に変えることで自分自身も勉強になりました。先生方と何度か練習を重ねましたが、いざ患者さんを目の前にすると上手くいかないことばかりでした。自分の知識の無さ、コミュニケーション不足を改めて感じました。最後まで思うような服薬指導は行えませんでした。この経験を活かしてこの先も精進して参ります。

外部実習では学校薬剤師業務の見学や在宅訪問などにも参加させていただき、薬局以外での業務を体験できて貴重なものとなりました。

指導薬剤師の仲宗根先生をはじめ、薬局の先生方や事務の方々にはたくさんの事を教えていただき心より感謝申し上げます。多くのことを教わり経験し、これからの人生において大きな糧となるものをたくさん得ることが出来ました。

本当にありがとうございました。

徳島文理大学5年 嘉数 達紀

( ぴいふる薬局 経塚店 実習 )  
指導薬剤師 中尾 滋久

私が薬剤師になろうと思った理由は家族や友人がもし病気になった時に、もしお薬について悩んでいたら少しでも相談相手になりたいと思ったからです。私は2.5ヶ月という薬局実習期間でいろいろな経験をする事ができました。大学では教科書で勉強したことが薬局では目で見て、手に触れて体験できたことが一番の習得だと思いました。また薬局外実習ではドラッグストア、学校薬剤師、在宅医療、薬局製剤、卸売販売業、おくすり相談会などで保険薬局以外の薬剤師の仕事を体験することができました。

実習期間中には他の場所で実習している実習生と話ができて、他の薬局と自分が実習している薬局との違いを聞くことができました。実習中では患者さんに相談されたことがきちんと答えられなかったけれど、勉強して将来は患者さんに相談されることがなんでも答えられる薬剤師になりたいです。薬局実習で学んだ事をいかして次の病院実習にのぞみたいと思います。

第一薬科大学5年生 又吉 辰磨

( ふく薬局 名護店 実習 )  
指導薬剤師 玉城 尚洋

自分は約2ヶ月半、薬局の実習を行う中で、座学で学んだ事がどのように活かせるかや、患者さんによってコミュニケーションの仕方が違い、高齢の方などには若い人に喋るようにするのはなく喋るスピードもゆっくりしてあげたりし、しっかり理解してもらえるように工夫したり、足の良くない患者さんに投薬する場合は患者さんを投薬台に呼ぶのではなく自分から患者さんのもとに行き投薬してあげるなど、患者さんによって対応の仕方が変わってくる所などの患者さんの事を第一に考えてあげる事や薬局でしか味わえない患者との距離感など座学では学ぶのが難しい部分の勉強にもなりました。

他には、実際にピッキングや散剤や液剤、軟膏などの調剤をさせてもらったり、患者さんが処方せんをもってきてピッキング、調剤、監査までの一連の流れなどを実際に行うことができたので良い経験になりました。

この経験を今後の勉強や大学を卒業し薬剤師になった時に活かしていきたいと思います。

愛知学院大学5年 大宜見 真希

(クララ薬局 ウェルビー 実習) 指導薬剤師 平良 博文)

私は今回クララ薬局で2ヶ月半実習させていただき、調剤薬局の薬剤師の仕事について学ぶことができました。実習を行う前までは、調剤薬局の薬剤師の仕事は調剤業務くらいしか理解していなかったのですが、調剤にも予製りや一包化など様々な工夫があつて、実際に実習してみて初めて気づくことがたくさんありました。

実習当初、素早く正確に調剤を行うことに苦戦しました。薬の名前や置き場所もわからず、また計算も遅くて調剤を行うのにかなりの時間がかかりました。ですが、調剤業務を行っていくうちに徐々に慣れていき、実習後

半は実習当初に比べて素早く調剤を行うことが出来るようになりました。

また、薬剤師の仕事は薬局業務以外にもあり、学校薬剤師や漢方実習、お薬相談会、しごとミュージアムなどの外部実習を通して学ぶことが出来ました。薬剤師はいろんな方面で活躍していることに驚いたと同時に、この仕事はとてもやりがいのある仕事だと思いました。

2ヶ月半という短い間でしたが、実習する前よりももっと薬剤師の仕事に興味を持つことが出来ました。薬局実習で学んだことを活かして2期の病院実習も頑張りたいと思います。

徳島文理大学5年 仲宗根 輝

(すこやか薬局 知花店 実習 指導薬剤師 比嘉 浩一)

実習が始まる前は不安でいっぱいでしたが、薬局の皆さんが温かく迎え入れてくださり、いつも笑顔だったので、いつの間にか不安もなくなり、11週間の実習もあっという間に感じました。

最初はピッキングさえままならない状態でしたが、先生方に指導して頂き、最後には服薬指導まで経験出来ました。実際に患者さんとお話しする事は初めてでとても緊張しましたが、患者さんとお話しする楽しさや、コミュ

ニケーション能力の大切さを感じる事が出来ました。薬の知識はまだ乏しく、知識不足ですが、今回実習で学んだ事を活かしてこれから勉強に励みたいです。

大学では学ぶ事の出来ないリアルな現場を感じる事が出来、とても良い実習になりました。色々迷惑をかけた事もありましたが、みなさんの優しさに本当に感謝しています。また、県内の他の実習生との新しい出会いもあり、楽しく、充実した11週間でした。

第一薬科大学5年 盛根 彩香

(アシスト薬局 実習  
指導薬剤師 糸数 理恵)

二カ月半、アシスト薬局での実務実習を終えました。学校での実習と現場での実習は大きく違い、最初は大きく戸惑いましたが、分からないことや疑問に思ったことは丁寧に教えていただき、実習後の知識量はとても増えたと思います。

実習で特に印象に残ったのは服薬指導の大切さです。話を聞いてからわかることも多く、患者さんにちゃんと伝わっているのかどうか判断するのは特に難しかったです。命を扱う職業なので、患者さんと接する時にはきちんとコミュニケーションを取りながら信頼してもらえるようにすることも大切だと思いました。

外部実習では、学校薬剤師や在宅訪問など経験することができ、薬局外での薬剤師の仕事内容も詳しく知ることができてとても充実していました。また、多くの勉強会にも参加させていただき、薬学に関する時事的な内容を知ることもできたので良かったです。今回の実習で学んだことを二期の病院実習や今後の勉強に役立たせていきたいです。

アシスト薬局のみなさん、本当にありがとうございました。

九州保健福祉大学5年 大橋 あゆみ

(さくら薬局ICHI 実習  
指導薬剤師 村上 市子)

5月11日から11週間、名護市のさくら薬局ICHIで実務実習をさせていただきました。村上先生をはじめ、さくら薬局ICHIの皆様、北部地区薬剤師会の先生方、そして県薬剤師会の先生方、同じ薬局実習生の皆様、何より多くの患者さんのご協力や優しさに支えられたおかげで無事、薬局実習を終える事ができました。本当にありがとうございました。

局内、局外実習を通して私が一番学んだ事は、薬剤師の最も重要な使命は患者さんに寄り添うという事です。処方薬の事だけではなく、患者様の、そして地域の方々の健康を守る、その為に薬剤師の技能を発揮する事がこれからの薬剤師には求められているのだとわかりました。

里帰り実習を体験して、今の沖縄県の薬剤師の現状や医療の現場を学生として肌で感じ、学ぶ事ができたこの経験は、私の将来の糧になると考えています。この経験をもとに残りの大学生活を精進していく所存です。11週間ご協力いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。



## 研修会

# 平成27年度新任・新人薬剤師研修会報告

会期：平成27年7月5日(日)

会場：(施設見学) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局

(研修会) 沖縄県薬剤師会館 ホール

共催：沖縄県薬剤師会・沖縄県病院薬剤師会

### プログラム

<施設見学>	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局(自由参加)	12:00 ~ 12:45
<研修会>	司会：学術研修委員会 潮平 英郎	13:00 ~
1. あいさつ	沖縄県薬剤師会副会長・沖縄県病院薬剤師会会長 外間 惟夫	
2. 薬事情報について	沖縄県立中部病院 赤嶺 一姫	13:05 ~ 14:05
3. 薬歴の書き方について	(株)薬正堂 すこやか薬局グループ 坂本 政文	14:05 ~ 15:05
	*** 休憩 15:05 ~ 15:20 (15分) ***	
4. フィジカルアセスメントについて	沖縄県立中部病院 蒔 由衣	15:20 ~ 16:20
5. 学校薬剤師について	学校薬剤師部会 知名 博樹	16:20 ~ 16:30
6. 青年薬剤師部会紹介	青年部会 上原 卓朗	16:30 ~ 16:45
7. 閉会のあいさつ	学術研修委員会・女性薬剤師部会 部長 村田美智子	16:45

去る7月5日(日)、学術研修委員会による平成27年度新任・新人薬剤師研修会が沖縄県薬剤師会館で開催された。参加者は薬局15名、病薬41名、薬学生14名、その他1名の総勢71名という、昨年にも増して多数の参加があった。

例年通り、講義に先立っては自由参加で沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局の施設見学が行われ、同病院薬局の長田茂薬局長と照喜名重裕副薬局長にご協力いただいた。参加者は沖縄県立病院薬局の現状を知ること、今後自分が入職するであろう施設の整備、運営に大いに役立つ情報が得られたのではないだろうか。

学術研修委員会  
女性薬剤師部会 部長  
村田 美智子



講義は潮平英郎学術研修委員の司会進行で、外間惟夫沖縄県薬剤師会副会長・沖縄県病院薬剤師会会長に開会の挨拶をいただいた後、沖縄県立中部病院の赤嶺一姫氏による「薬事情報について」から開始された。医薬品情報とは医薬品の適正使用になくてはならないものであり、その入手方法としては紙ベースと電子ベースの二通りがあり、スマホを使っ

### <施設見学>



人気の施設見学。長田茂薬局長(中央左)と照喜名重裕副薬局長(中央右)の2グループに分かれて見学をした

<講師陣>



赤嶺 一姫 氏



坂本 政文 氏



蒔 由衣 氏



知名 博樹 氏



上原 卓朗 氏

てPMDAを検索するなど、それぞれについて具体的な媒体の説明があった。大事なこととして、職場の特性（病院か薬局か、総合病院か単科病院か、近隣病院の専門性等）や地域性も踏まえたうえで、よく使われる（質問の多い）情報が掲載されている媒体に精通する必要性を強調された。ジェネリックの多い昨今、処方提案においては同種同効薬に関する書籍が欠かせないとのことでもあった。

「薬歴の書き方について」は、すこやか薬局グループの坂本政文氏の担当であった。薬歴の目的、薬局における薬歴の算定要件、記録システムPOS、SOAP形式での薬歴の記載方法等の説明があり、実際、例題を掲げSOAPの記録練習等も行われた。薬剤服用歴記録は記載最終日から起算して3年間の保存となっているようだ。

「フィジカルアセスメントについて」は、沖縄県立中部病院の蒔由衣氏が担当した。フィジカルとは何を指すのか、薬剤師にとってフィジカルの目的は何か、実際ペアーで脈をとり、それとなく呼吸数を数えるなど、測定のコツなども伝えながらの説明であった。具体的な医薬品をあげ、何に着眼してフィジカルとどう結び付けるか、会場を巻き込んでの説明であったが、質問された参加者も堂々と答え、頼もしいかぎりであった。

講義のあとは、薬剤師会の組織説明の一環ということで、「学校薬剤師について」を学校薬剤師部会の知名博樹氏が紹介し、一人でも多くの学校薬剤師が誕生してほしいと協力を呼びかけた。「青年薬剤師部会紹介」は、



主催者あいさつ  
外間 惟夫 氏



閉会のあいさつ  
村田 美智子 氏



司 会  
潮平 英郎 氏

青年部会の上原卓郎氏が、青年薬剤師の頑張りは薬剤師の職能を守る薬剤師会の発展にはなくてはならないものであり、是非結集してほしいと訴えた。

最後の閉めということで、図らずも私にマイクが回ってきたため、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会の組織の違いを説明した。そして、沖縄県における両者の協力関係等を説明し、病薬会員が県薬に入会しやすい環境づくり（会費の問題等）を検討中であると伝えた。せつかくの機会であったため、女性薬部会の説明も行い閉会とした。

中堅薬剤師による本年の新任・新人薬剤師会研修会も、会場参加型の充実したもので、講師陣のメリハリのある明確な講義が素晴らしかった。新人研修会が講師陣のレベルアップにも繋がっていると感じた。また、新人薬剤師が、年齢のあまり変わらない先輩の素晴らしい講義を聴いて触発されていることが、質問に対する答え方からも見てとれた。新任・新人薬剤師研修会が、これからも沖縄の薬剤師の資質向上に確実に貢献していくことが確信できた日であった。

## その他会務報告

# 沖縄県医師会・沖縄県薬剤師会 おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携に関する協定調印式

日時：平成27年6月15日(月) 19:00～19:30

会場：沖縄県医師会館 2階 会議室4



沖縄県医師会・沖縄県薬剤師会「おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携に関する協定」の調印が執り行われた

現在、市町村国保・協会けんぽで実施している特定健診データが5年分蓄積されており、おきなわ津梁ネットワークへ参加している病院・診療所で閲覧できます。また、脳卒中、糖尿病、急性心筋梗塞の地域医療連携パスにも利用されています。おきなわ津梁ネットワークは今後さらに発展していきます。急増する高齢者に対応すべく、在宅医療における医療・介護情報の共有基板とする地域医療連携システムへと構築が進められています。

多職種と連携していく中で、最初に薬局との連携をする事になりました。そのために今回、沖縄県医師会と沖縄県薬剤師会の調印式が執り行われたのです。今までも沖縄県医師会や他団体と様々な事業で連携してまいりましたが、県民へPRをするためマスコミを呼んでの調印式は初めてではないでしょうか。沖縄県医師会と沖縄県薬剤師会の連携における

＜次第＞ 司会：沖縄県医師会理事 比嘉 靖

1. 開式
2. 出席者紹介
3. 経過報告
4. 挨拶 沖縄県医師会会長 宮城 信雄  
沖縄県薬剤師会会長 神村 武之
5. 協定締結（協定書調印）
6. 記念撮影
7. 閉式



理事 吉田 洋史

大きな節目になっていくことと思います。

おきなわ津梁ネットワークに参加すると、参加している病院・診療所での病名や処置、検査などの情報が参照できるようになります。またDrへの報告書などの文書を添付することもできます。今は数軒の薬局で実証実験をしていますが、今年中には参加の呼びかけが出来る予定です。その際には、ぜひ積極的に参加していただきますようお願い致します。今後は、在宅希望患者が増えていくことが予想されます。より多職種で地域連携していく必要があります。多くの薬局でおきなわ津梁ネットワークを活用し、より良いシステムへと育てていきましょう。



協定締結（協定書調印）司会の合図とともに署名と調印が両会長より行われた



おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携に関する協定書

## その他会務報告

### 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

平成27年6月23日(月) 慰霊の日〔ひめゆりの塔構内〕



(前列) 左より、神村武之前会長、亀谷浩昌会長、長田紀昭氏、長田紀与志氏  
(後列) 左より、村田常務理事の娘さん、村田美智子常務理事、宮城敦子常務理事、吉田洋史理事  
吉田久子薬連幹事長、長田紀与志氏の奥様

沖縄戦殉職医療人之碑は、昭和26年10月に沖縄医療団により建立され、去る平成21年の慰霊の日には、ひめゆり平和記念資料館が開館20周年を迎えたことにより、その記念事業の一環として、ひめゆりの塔および周辺の環境整備が取り込まれ、ひめゆりの塔に隣接の沖縄戦殉職医療人之碑の周囲においても植栽、新しい敷石が整備されています。

参拝当日の沖縄戦殉職医療人之碑には、毎年、本会と沖縄県医師会の供花、そして今年から沖縄県歯科医師会の供花も添えられました。

本会名誉会員の久場トヨ先生、長田紀昭先生におかれましては、御尊父の長田紀助氏(当会第2代会長)が合祀されていることから毎年ご参拝されており、今年もご子息である長田紀与志先生とご参拝されました。先生方と共に、亀谷浩昌会長、神村武之前会長、村田美智子常務理事と娘様、宮城敦子常務理事、吉田洋史理事、吉田久子先生が沖縄県薬剤師会としてご参拝、慰霊されたことをご報告致します。

機会がございましたら、沖縄戦殉職医療人への慰霊、追悼に是非ご参拝下さい。

(報告：事務局 大城喜仁)

#### <沖縄戦殉職医療人之碑>

昭和26年10月に沖縄医療団により建立。沖縄戦の戦死者として合祀されている。

薬剤師は、県内・県外あわせて10人近くになると思われる。その内の1人、県薬第2代会長の長田紀助氏(久場トヨ先生、長田紀昭先生の御尊父)は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村(現南城市)字糸数付近で戦没された。喜瀬乘垣氏(キセ薬局・喜瀬乗惟先生の御令兄)は中国大陸の山野で没された。

## 戦後70年 沖縄全戦没者追悼式に参列

日時：平成27年6月23日(火)「慰霊の日」11:50～12:40  
会場：平和祈念公園（糸満市摩文仁）



会長 亀谷 浩昌

太平洋戦争における沖縄戦の組織的抵抗が終わった6月23日を、沖縄県は「慰霊の日」に制定している。糸満市摩文仁の平和祈念公園で行われるこの「慰霊の日」が今年もやってきた。薬剤師会館から出発する時間を少し早めて、先にひめゆりの塔のすぐ横にある沖縄戦で亡くなった医療関係者を祀る沖縄戦殉職医療人之碑に参拝をしてから追悼式に参列するため摩文仁に向かった。同行者は薬剤師連盟の吉田久子幹事長、宮城敦子常務理事、事務局から大城喜仁君、そして私を加えた4人である。

普天間基地の辺野古移転問題で揺れる県内情勢に加え、今国会では安保法制の審議が行われていることもあって、会場はいつもと違った雰囲気になっていた。翁長雄志沖縄県知事が登壇すると割れんばかりの歓声と拍手がわき起こり、対照的に安倍晋三首相の登壇時には怒号が飛び交った。

### <式次第>

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 1. 開式の辞     | 沖縄県副知事                |
| 2. 式辞       | 沖縄県議会議長               |
| 3. 黙とう      |                       |
| 4. 追悼のことば   |                       |
| 5. 献花       |                       |
| 6. 平和宣言     | 沖縄県知事                 |
| 7. 「平和の詩」朗読 |                       |
| 8. 来賓あいさつ   | 内閣総理大臣<br>衆議院議長、参議院議長 |
| 9. 閉式の辞     | 沖縄県副知事                |

真っ青に晴れ上がった空の下、緑の芝生さえも太陽の熱と光を反射しており、会場を更に蒸し暑くしていた。

熱中症になりそうな暑さの中で参列者達は、戦没者の御霊を弔い、戦後70年目の節目に恒久平和実現への誓いを新たにしました。

## 啓蒙・普及活動

### 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26ヤング街頭キャンペーン

日時：平成27年6月27日(土) 16:00～17:00 場所：パレットくもじ前広場 ほか



6月26日は「国際麻薬乱用撲滅デー」です。1987年6月26日にオーストリアのウィーンで国連主催による関係閣僚会議の終了日を記念して、この日を麻薬乱用撲滅デーとその年の国連総会で制定され、1988年から全世界でキャンペーンが実施されています。

## 啓蒙・普及活動

## 薬剤師職能の啓蒙活動について



## 「しごとミュージアム」「グッジョブ・サマースクール」

本会薬剤師無料職業紹介所では、随時80件余りの求人者（殆どが調剤薬局と病院）が登録されておりますが、なかなか求職者がいないのが現状です。インターネットや誌面をとおして募集広告等の広報をしておりますが、状況は改善されておられません。そこで、前述の活動も続けながら、広報委員会ならびに青年部会と協働して、『薬剤師職能の啓蒙活動』を展開しています。

去る7月8日（水）に開催された主に高校生を対象に仕事紹介をする全国専修学校各種学校総連合会主催の「しごとミュージアム」での薬剤師ブース出展も同啓蒙活動の一環としており、今回で4回目の参加となりました。開催期日が薬学生実務実習期間中ということもあり、実務実習担当理事の我喜屋美香理事の協力を得て、前々回から薬学生も同ブースにて啓蒙活動をしていただいております。大いに活躍してもらっています。主催者側からの情報では、しごとミュージアムに今年は高校生だけでも約3,700人の参加があったとのことです。薬剤師ブースには150余名が訪れ、148名から「薬剤師のイメージについてのアンケート」を得ることができました。

更に同活動を展開すべく、沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部がグッジョブ運動の一環として開催している「グッジョブ・サマースクール」にも参加しました。「グッジョブ・サマースクール」は、小学生を対象とし、「薬剤師になろう」というテーマで薬剤師の仕事の紹介を行ってきました。参加の小学生には白衣を着てもらい、保護者も一緒に参加させる方法を取り大好評でした。

7月4日（土）に午後1時30分開始と午後2時30分開始の2コマの授業で、小学1年生から6年生まで各45名が参加してくれました。

最初は、前濱朋子副会長による紙芝居での薬剤師の仕事紹介。学校薬剤師で手慣れたレクチャーはさすがで、小学生の好奇心は一気に高まった様子でした。小学生は4つのグルー

プに分け、1グループずつ、教室の角に設置した4つの体験コーナーを時計回りにまわっていくという流れにしました。

体験コーナーは次のとおり。

- ① 液剤の色の変化  
鉄剤シロップとお茶を混ぜ、色が変わると驚きと共に歓声が上がっていました。
- ② カプセル  
カプセルが少量の水で指にくっつくことを初めて知った様子でした。
- ③ 粉薬の混合  
実際にはフレーバーを使用。乳鉢・乳棒で混合する姿はいっぱしの薬剤師気取り。計量器で秤量するのも貴重な体験だったと思います。
- ④ 薬の種類と薬の効き方  
薬が体の中を旅するルートを説明。薬のサンプルを実際に手に取ってみたり、吸入器を利用しての吸入体験が楽しそうでした。

薬剤師になりたいと目を輝かせる子供たちに接した協力薬剤師は、張り切って饒舌になり、軽く時間をオーバーするほどでした。前回の啓蒙薬剤師が一人も参加できなかったため、啓蒙薬剤師探しと準備等でバタバタと手探り状態でしたが、なんとか成功裡に終えたと思っています。

これら“他団体等主催の事業へ参加しての薬剤師職能の啓蒙活動”が、有意義なものとして展開できているのは、広報委員会と青年部会、そして我喜屋実務実習担当理事の徹底した企画・運営によるものです。ご指導、ご協力ありがとうございました。

今後の“薬剤師職能の啓蒙活動”に会員の先生方からの良きアドバイスが頂けると幸いです。また、このような活動を地道にされている会員の先生がおられましたら、是非ご紹介下さい。  
(事務局:大城 喜仁)

## <グッジョブ・サマースクール>

開講日：平成27年7月4日（土）

会 場：なは市民活動支援センター 5F

地域の住民・企業人等が講師や運営スタッフとなって、地域の子供達に「様々な仕事」や「働くことの大切さ」「生き方のヒント」などを伝える地域主体のキャリア教育学校。

若年者に置かれた厳しい雇用環境を改善するため、地域の企業、学校、保護者等、全ての人々が連携し、子供達に「夢」と「希望」を与え、「職業観」や「チャレンジ精神」を育むための「場」づくり、「気運づくり」を目的としている。

本会は2回目の参加。各種講座は100講座にもおよぶ。本会としては、“薬剤師になろう”というテーマで開講した。



最初は紙芝居で薬剤師の仕事紹介（担当：前濱朋子）  
その後は4つの体験コーナーを実施



終始、講話を見守って下さった亀谷会長と記念撮影

### ◆ “薬剤師になろう講座” 啓発活動員

- 前濱 朋子      ○神谷 朝斗志      ○勝連 貴子
- 上里 美矢子   ○大城 なつき      ○翁長 里緒

### 〔4つの体験コーナー〕



液剤の色変化体験コーナー  
(担当：大城なつき、翁長里緒)



カプセル体験コーナー（担当：上里美矢子）



粉薬の混合体験コーナー（担当：神谷朝斗志）



薬の種類と効き方体験コーナー  
(担当：勝連貴子)

## 〈しごとミュージアム〉

会期：平成27年7月8日（水）

会場：沖縄コンベンションセンター展示棟

県内の高校生および若年者を対象に、コンピュータ・情報、美容・理容・ファッション、語学・旅行、ホテル・ブライダル、公務員・法律、保育・幼児教育、建築・土木・インテリア、自動車・航空・機械整備、調理・栄養、医療・福祉・介護など200以上の様々なジャンルの仕事を紹介するイベント。

全国専修学校各種学校総連合会は7月11日を“職業教育の日”と制定しており、沖縄県専修学校各種学校協会は、仕事に就くために必要な専門的技術や技能・知識を教授する職業教育機関として同フェスタを主催。沖縄県が全国ワーストの失業率や新規高卒者の無業者数（率）が全国平均の約3倍で就職内定率も全国ワーストとなっていることから、若年者の就業意識の啓発と各分野の職業を体験学習する機会として開催している。



今年も薬剤師ブースに来訪された名城政一郎氏(中央)



薬剤師職能体験コーナーに興味を示す高校生



多くの高校生が訪れ常に薬剤師ブースは混んでいた



亀谷会長が見守る中、薬学生が大活躍！

### ◆ “薬剤師ブース” 啓発活動員

○宮城 敦子 ○前濱 朋子

○平成27年度 I 期実務実習薬学生（4名）



ブースを訪れた高校生から多くの「薬剤師のイメージ」アンケートを得た

部会だより

平成27年度(第43回)沖縄県学校薬剤師部会総会・講演会報告

日時：平成27年6月14日(日) 13:00～16:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



学校薬剤師部会代表理事 前濱 朋子

沖縄県薬剤師会研修室において県薬剤師会学校薬剤師部会総会が行われた。

事業報告、会計報告の後、平成27年度の活動計画について報告された。保健体育の授業の中で「くすり教育」が実施されていることから、学校現場で必要な資材(タール瓶、錠剤模型、カプセル模型)の購入、各支部の強化策等の報告がされた。

また、今年度は役員改正が行われた。日本薬剤師会学校薬剤師部会が次世代のリーダー育成に力を入れていることから、委員会委員の若返りを図った人事となっている。新役員、委員会委員は下記の通り。

総会終了後は、「薬物乱用について」の演題で、かいクリニックの稲田隆司院長からご講演頂いた。講演の報告は、二人の若手学校薬剤師から頂いているので、ご覧下さい。

<式次第>		司会	新垣 紀子
開会の辞			渡嘉敷 見
会長挨拶			神村 武之
部会長挨拶			前濱 朋子
議事			
平成26年度事業報告		笠原 大吾	
平成26年度会計報告		村上 市子	
平成26年度会計監査報告		浜元 朝孝	
平成27年度事業計画案		笠原 大吾	
平成27年度歳入歳出予算案		村上 市子	
会則改正について		村田 成夫	
役員改正について		大城 恭子	
会費について		村上 市子	
閉会の辞		吉田 久子	
講演会	座長	大城 恭子	
演題	「薬物乱用について」		
講師	かいクリニック	稲田 隆司	院長
事務連絡		笠原 大吾	

<平成27年度 新役員>

I 学校薬剤師部会役員

- 部会長 村田成夫
- 副部会長 大城恭子・笠原大吾
- 会計 村上市子・前濱朋子
- 監事 浜元長孝・瑞慶山純子
- 顧問 吉田久子・渡嘉敷見池間正
- 相談役 喜納方利

II 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会関係

- 代表理事 前濱朋子
- 試験検査センター委員会 村田成夫・大城恭子
- 知名博樹
- 学術委員会 上原卓朗



### ＜沖縄県学校薬剤師部会総会講演会報告 1＞

薬物依存の体験者である琉球G A I Aの方から話を聞かせてもらった。

薬のきっかけは友達と仲良くなりたいたい、一緒に時間を過ごしたい、どう断っていいかわからない等で、それがだんだん薬の回数が増えていき自分でコントロールができなくなった。最初の頃、薬は自分の生活を楽しくさせるものだったのが、自分の事を苦しめる、生活を蝕んでいく、弊害をもたらすようになった。しかしそこまでいくと、自分ではどうしようもなくなる、友達付き合いが苦しくなる、1人になる事が増えてますます薬の使用量が増えていく。

薬を止める事は自分自身を責めるようで苦しく感じたが、それをリハビリ施設では依存症は病気であり、自分のせいではないと言われて安心した。病気なら治せると。それから施設に通うようになり、仲間がいることで薬を止めることが出来た。薬物依存から抜けたのは自助グループメンバーがいたこと、治療プログラムのおかげ。自分の体験が未だ苦しんでいる人の助けになれば、止めたい人の行動を促すものになればという気持ちで施設メンバーとして働いている。

かいクリニック院長の稲田隆司先生によると、琉球G A I Aの方のような方たちが回復者カウンセラーとして活動していて、回復者カウンセラーが増える事で、さらに回復者が増えている。また先生は、薬物依存者を支え

る家族も勉強しなくては行けない、支える人（家族）が本人を潰していく事も多いと話された。

このようなことを踏まえ、現在は本人が病院に行く前に患者家族に家族会で依存者を支える心構えについて教えているとの事。家族が続けて参加していくと、最終的に本人も通うようになる。（気になってしかたがなくなり受診してしまう）

薬物依存の最大の怖さは依存形成にあつて、タバコ、酒を入り口にガス、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどを乱用し、身体、心、神経がやられていく。ストレスに耐えられなくなる、性格も依存的になり子供っぽく、自己中心的になる。また犯罪、事故に巻き込まれやすくなる。実際、薬物依存から回復できる人は少なく、多くの人が苦しんでいる。しつこいぐらいに啓発活動しなくては行けないが、まだまだ市民に届いていない現状がある。「関連業界あげて行動を起こさなければ、最後は国を滅ぼしてしまう」と話された。

今回の講話から、学校薬剤師としては、児童生徒に薬学的立場から依存性薬物の持つ人体に対する薬理作用や健康への害などに関する情報を提供していくことは重要である。また、経験者からの体験を聞くことで、依存性薬物を使用するきっかけを除いたり誘因を避ける、または拒絶することができるように伝えていく事も合わせて重要だと感じた。



学校薬剤師  
新垣 慶朗

## ＜沖縄県学校薬剤師部会総会講演会報告2＞

去る6月14日の学校薬剤師部会総会に参加し、その中で事業・会計・予算報告などの事務報告のあと、薬物依存者支援を行っている琉球G A I Aの方の話と、「薬物乱用について」の演題で医師である稲田先生の講演がありました。その内容について報告します。

琉球G A I Aの方は自ら依存症だった実体験を通じて、その経験を生かせればと薬物依存者である人たちの支援をされていて、その活動内容と実体験を話してくれました。自ら依存になった経緯をその時の心境を交えながら話をされた。入り口となったのは先輩からの勧めで、その人たちとの関係維持のためとのこと。それがいつの間にかに増えていき、自分の力では止められないところまで行ってしまい、その時には止め方も分からなかったとのこと。それが悪いとも気づけなかったことなどを話してくれました。最後は施設に入って依存を克服したそうですが、印象に残っている言葉は、「失敗してもいい、完璧じゃなくてもいいと思えて心が楽になった。壁にぶつかって砕けてもいいと思えた」と言っていたことでした。今振り返ってみて問題だったと思うことは、壁にぶつかるとその対処方法が分からずに逃げて、薬物に頼ったことだと言っていました。

稲田先生は医師として依存者として向き合っていて、持論をこれまでの経験を通して話して下さいました。依存者と向き合う時に必要なことは、「承認」「所属」「達成」を満たすように周りが働きかけることで、自ずと解



学校薬剤師  
川満 裕次郎

決に向かう、決して一人で解決しようとせず、周りと一緒に解決していくこと。集団でサポートしていく環境づくりが大事であることも話されていて、依存者に対する対処方法なども教えていただきました。集団の力でその人を支えて解決に向かう方法が印象的でした。学校薬剤師としての活動で、たばこ・お酒が小児にもたらされる影響についてもしっかりと指導してほしいとも話されていて、そこが入り口になり、薬物まで手を出してしまう話もされていました。

薬物依存者はコミュニケーションの取り方が不器用なのだろうと感じました。もちろん、その方法を教えているのは親であり、周りの大人であり、本人だけの問題ではない気がします。だからこそ、周りの人たちが、本人の味方になって支えることが大事なのだろうと感じられる講演でした。その方法を学べる良い機会になったと思います。

学校薬剤師の活動で生かせそうなことは、たばこ・お酒についての講義をする時にそれが入り口になり、薬物へつながっていくこと、それに依存したために失ってしまうものの大きさやリスクを、さらにそれ以外でコミュニケーションの取り方・考え方などを分かり易い形で伝えていけたらと思いました。

今回の講演を通して、これからの活動に生かせるようにしていきたいと感じられる講演でした。

### 学校薬剤師&学校薬剤師を希望の会員の皆様へ

学校薬剤師部会では、学校薬剤師の配置等の再確認を行っています。新たに学校薬剤師を希望する会員の方、現在の担当校について（変更等の）、ご相談を考慮しておられる学校薬剤師の先生は、学校薬剤師部会まで連絡下さい。

（連絡先）学校薬剤師部会 前濱 朋子 TEL 098-963-8930

部会だより

第44回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告

日時：平成27年6月6日(土) 17:00～18:30

会場：沖縄都ホテル 虹雲の間



病院薬剤師部会代表理事 外間 惟夫

第44回沖縄県病院薬剤師会通常総会は、平成27年6月6日（土）午後5時より、沖縄都ホテルにおいて開催され、盛会のうちに終了しましたので報告します。

＜式次第＞	司 会	翁 長 真一郎
1. 開会の辞	副会長	橋 本 孝 夫
2. 会長挨拶	会 長	外 間 惟 夫
3. 議長選出		
4. 議 事		
(1) 報告事項		
第一号 平成26年度会務・事業報告	副会長	姫 野 耕 一
第二号 〃 決算報告		事 務 局
第三号 〃 監査報告	監 事	比 嘉 佳穂子
第四号 分科会活動報告		各分科会責任者
第五号 第50回日病薬臨時総会報告	代議員	川 平 浩 子
(2) 議案事項		
第一号 平成27年度事業計画（案）	副会長	姫 野 耕 一
第二号 平成27年一般会計予算（案）		事 務 局
第三号 会則の一部改定	会 長	外 間 惟 夫
第四号 役員改選の件		役員選考実行委員長
第五号 その他		
5. 閉会の辞	理 事 長	濱 照 美

○平成27年度事業計画案

- I. 組織と役員会の強化拡大
- II. 学術・教育研修活動の推進
- III. 認定・専門薬剤師育成
- IV. 薬薬連携の強化・拡大
- V. 学会、学術大会に対する協力
- VI. 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- VII. 新規事業への取り組み

## I. 組織と役員会の強化拡大

### 1. 沖縄県病院薬剤師会の会員数について

6年制薬剤師が既に県内各施設で活躍しており、さらに病棟薬剤師業務実施加算、ふるさと実習の拡大などを受け、今後も積極的に病院薬剤師会の会員増大に努め、正会員450名を目標とする。

<会員数の年度別推移>

	22年度	23年度	24年4月	25年4月	26年3月	27年5月現在
正会員	362	377	383	391	404	407
特別会員	10	10	6	6	10	8
賛助会員	42	40	48	41	37	42
名誉会長	2	2	2	2	2	1
計	416	429	439	440	453	458

1) 年会費 10,000円

内 訳 日本病院薬剤師会費 8,000円  
 沖縄県病院薬剤師会会費 2,000円

\*任意加入として

日本病院薬剤師連盟会費 3,000円

2) 会員のメリット

- ① 日本病院薬剤師会雑誌（J J S H P）が毎月送付
- ② 病院薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 病院薬剤師会主催の研修会への参加、日本病院薬剤師会の生涯教育認定取得が申請できる。
- ④ 日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師が取得可能
- ⑤ 日本病院薬剤師会認定・専門薬剤師が取得可能
- ⑥ 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師が取得可能

### 2. 沖縄県薬剤師会への入会促進 病院診療部会

1) 年会費

- ① A会員（薬局等の開設者及び管理薬剤師）  
54,000円 但し、一括納入の場合 49,500円
- ② B会員（上記以外の勤務薬剤師、病院薬剤師）  
39,600円 但し、一括納入の場合 36,300円

2) 会員のメリット

- ① 日本薬剤師会雑誌（J J P A）が毎月送付
- ② 薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 薬剤師会主催の研修会への参加
- ④ 薬剤師年金に加入できる
- ⑤ 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の申請のサポート
- ⑥ 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師が取得可能

### 3. 日本病院薬剤師連盟への入会促進（年会費：3,000円）

薬剤師の社会的（制度的）地位向上を促進するために、日本病院薬剤師連盟への入会を促進し体制を強化する。

#### 4. 役員会活動の活性化

病院薬剤師会活動の強化拡大を図るため、役員15名体制で取り組んでいる。今後も会員数の増加に伴い、県病薬活動への若手薬剤師の積極的登用や理事枠の増員など、役員会の体制強化と活性化に努めたい。

### II. 学術・教育研修活動の推進

#### 1. 学術講演会活動の推進

昨年度は、病薬あるいは分科会主催、各種専門認定、さらに病薬が後援し日病薬生涯研修認定単位が発行された学術講演会・研修会を多数開催した。平成27年度も引き続き教育研修推進のために学術講演会等を積極的に開催したい。

#### 2. 新任薬剤師研修会の開催（県薬と共催）

病院勤務3年未満の薬剤師を対象に、薬剤師としての倫理・役割、病院薬局業務についての基礎的知識・技術の修得を目的として年1回程度開催する。

#### 3. その他

次の委員会の県内担当者がいるので、関連活動については会員全員で協力する。

名 称	責任者	責任者所在施設名	連 絡 先
広報委員会	喜屋武 典	琉大附属病院	098-895-3331
中小病院担当者	姫野 耕一	大浜第一病院	098-866-5171
精神病院担当者	比嘉 佳穂子	新垣病院	098-933-2756
介護保険対策担当者	入月 健	沖縄協同病院	098-853-1200
プレアボイド担当者	与那覇 房子	琉大附属病院	098-895-3331
療養病床担当者	勢理客 成史	おもろまちMC	098-877-7320

### III. 認定・専門薬剤師育成に努める

#### 1. 認定・専門薬剤師講演会の開催（県薬と共催）

#### 2. 分科会等活動の促進

以下の分科会を設置し、認定・専門薬剤師の育成を目的として活動する。また各分科会は学会発表や論文投稿を目標として、研修会、研究発表会の開催を目指す。

委員会・分科会名	責任者	責任者所在施設名	連 絡 先
がん化学療法分科会	鈴木 毅	琉球大学附属病院	098-895-3331
感染制御分科会	川平 浩子	県立中部病院	098-973-4111
緩和ケア分科会	大関 秀和	ハートライフ病院	098-895-3255
糖尿病分科会	砂川 智子	琉球大学附属病院	098-895-3331
妊婦・授乳婦分科会	橋本 孝夫	豊見城中央病院	098-850-3811
N S T分科会	橋田 律	琉球大学附属病院	098-895-3331
精神科分科会	比嘉 佳穂子	新垣病院	098-933-2756
H I V分科会	諸見 牧子	琉球大学附属病院	098-895-3331

#### IV. 薬薬連携の強化・拡大

薬剤師相互の交流を図り、医療安全に貢献することを目的として薬薬連携の強化・拡大に努める。具体的には、新人薬剤師研修会や学術大会、フィジカルアセスメントWGなどの協同事業の継続、さらに無菌製剤処理加算委員会への協力や、在宅関連の無菌製剤、TPNなどの研修施設としての連携を強化したい。

#### V. 学会、学術大会に対する協力

九州山口薬学大会、日本薬学会年会、日本医療薬学会年会、その他薬学関連学会への発表を促進し、県薬剤師会と協力しながら学術活動に力を入れていく。

#### VI. 会誌の発行、ホームページの充実と活用

広報委員会が中心となって病薬会誌「おきなわ」を発行する。また県病薬ホームページの充実に関しては、活動の広報強化の一環として、以下を実施した。①病薬会誌を2010年よりPDF掲載した。②分科会活動を充実させるべく、8分科会の活動報告を年度別に掲載した。

さらに今後は認定・専門取得薬剤師の掲示など、県病薬の活動をアピールできるよう会誌やホームページのさらなる充実を図りたい。

#### VII. 新規事業への取り組み予定

##### 1. フィジカルアセスメントWG

県病薬会員のフィジカルアセスメントのスキル向上と普及を図るため、ワーキンググループ(WG)を結成し、平成24年から活動を開始している。平成27年度も引き続き各病院施設から1～2名の若手薬剤師に開局薬剤師も加えてWGメンバーを募集する。研修施設は琉球大学クリニカルシミュレーションセンターで、講師各インストラクターが担当し特別講義を含む合計10回以上のWGを実施する予定である。

##### 2. 実務実習合同発表会

平成24年から「実務実習生交流会」を開催しているが、これは薬学生や受け入れ施設の情報交換や懇親の場として企画したものである。昨年度から「実務実習合同発表会」と名称を改め、今年度も各施設の実習生の発表を中心に年2回程度開催する予定である。また今後も「ふるさと実習」を推進し、保険調剤薬局薬剤師との連携をはかりつつ、長期実務実習の充実に努めたい。

##### 3. 病棟薬剤師業務実施加算WGの結成

診療報酬改定で病棟薬剤師業務実施加算が新設されたことを受け、病棟薬剤師業務実施ワーキンググループ(WG)を結成し、昨年1年間を通して積極的に活動した。今年度もWGでの情報をまとめて、本加算における問題点の抽出や効率的な実施方法など情報の共有化を図り、病棟薬剤師業務実施加算の積極的展開を目指していきたい。

##### 4. 新規事業の検討、その他

県外開催の学会における既発表演題を集めて「沖縄県臨床薬学研究報告会(仮称)」などの新規事業の計画、さらに各専門・認定講演会において当該分科会が会員発表等を行うなど検討していきたい。

## VIII. その他

生涯教育を促進する。主な認定制度は以下の通りである。

- ① 日本医療薬学会 認定薬剤師、指導薬剤師
- ② 日本臨床薬理学会 認定薬剤師
- ③ 日本病院薬剤師会 生涯研修認定（単年度）、生涯研修履修認定（5年連続）
- ④ 日本病院薬剤師会 認定・専門薬剤師\*  
がん、感染制御、精神科、妊婦・授乳婦、H I V感染症  
\*糖尿病療養指導士、N S Tも含む
- ⑤ 日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師
- ⑥ 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師
- ⑦ 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師

### <平成27年度沖縄県病院薬剤師会役員>

会 長	外 間 惟 夫（琉球大学附属病院）
副会長	橋 本 孝 夫（豊見城中央病院）・姫 野 耕 一（大浜第一病院）
理 事	長 浜 照 美（中頭病院） ・川 平 浩 子（県立中部病院） 渡真利 国 浩（県立宮古病院） ・石 井 岳 夫（琉球大学附属病院） 翁 長 真一郎（浦添総合病院） ・喜 多 洋 嗣（中部徳洲会病院） 金 城 雄 一（那覇市立病院） ・徳 嶺 恵 子（県立北部病院） 長 田 茂（県立南部・こども医療センター） 勢理客 成 史（おもろまちメディカルセンター）
監 事	比 嘉 佳穂子（新垣病院） ・入 月 健（沖縄協同病院）
日病薬代議員	川 平 浩 子（県立中部病院）
日病薬予備代議員	姫 野 耕 一（大浜第一病院）

#### お知らせ

### 地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！

年々、地区（支部）、部会の活動が活発化しております。

是非“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

## 部会だより

### 平成27年度日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部会報告

日時：平成27年年 6月12日(金) 15:00～18:20

会場：(株)琉薬 第1会議室



日本医薬品卸勤務薬剤師会  
沖縄県支部 事務局 森下 彰久

この度、平成27年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部の理事会・総会・研修会・懇親会を開催しましたので、ご報告致します。

6月12日に開催しました支部総会の次第は下記の通りです。

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
  - 1) 報告事項
    - ① 平成26年度支部活動状況報告
    - ② 平成26年度支部収支報告
    - ③ 平成27年度理事会報告
    - ④ 支部会員の入会・退会報告
    - ⑤ 薬学生卸見学実習等の受入報告
  - 2) 協議事項
    - ① 平成27年度支部活動計画について
      - ・ 沖縄県支部研修会について
      - ・ 各学会参加派遣及び助成について
      - ・ その他支部活動について
    - ② 平成27年度支部予算について
      - ・ 支部会費請求書の送付先について  
(確認)
4. 閉会

理事会・総会とも滞りなく終了しました。今年度も引き続き、県内外の学会、研修会への積極的な参加を行っていきます。

#### 【研修会】C型慢性肝炎について

中外製薬(株) 吉武氏

新薬の登場で注目度の高いC型慢性肝炎に関する基本的な病態、原因、分類方法、検査方法、治療方法等の幅広い内容の説明を行って頂きました。

- ・ C型慢性肝炎の診断の流れ：問診→血液検査→画像検査（エコー、CT、MRI）→腹腔鏡検査／肝生検（必要に応じて実施）→診断
- ・ C型肝炎ウイルス（HCV）に関する検査：①HCV抗体（過去及び現在の感染の有無）、②HCV-RNA（現在の感染と感染既往との鑑別、C型慢性肝炎の早期診断、IFN治療前の効果予測、治療中のモニタリング、IFN治療の効果判定）、③HCVコアタンパク（IFN治療前の効果予測、IFN治療中のモニタリング）、④HCVサブタイプ [ジェノタイプ・セログループ]（治療方針の決定、IFN治療前の効果予測)
- ・ HCVのジェノタイプ別特徴：①セログループ1 / ジェノタイプ1A→IFNへは抵抗性で、欧米型、②セログループ1 / ジェノタイプ1b→IFNへは抵抗性で、日本で最も多い（約70%）、③セログループ2 / ジェノタイプ2A→IFNへは感受性があり、日本で2番目に多い（約20%）、④セログループ2 / ジェノタイプ2b→IFNへは感受性があり、日本で3番目に多い（約10%）
- ・ C型慢性肝炎・C型代償性肝硬変の治療目標は、①ウイルス排除（原因であるC型肝炎ウイルスを完全に排除すること）と②肝

癌進展抑制（ウイルスの排除が困難な患者に対しては、肝細胞の炎症と繊維化を抑え、肝癌への進展を抑制する）である。

- ・ C型慢性肝炎の治療薬：①ウイルス排除→PEG-IFN+リバビリン、PEG-IFN、IFN+リバビリン、IFN、PEG-IFN+リバビリン+テラプレビル、PEG-IFN+リバビリン+シメプレビル、②肝癌進展抑制→PEG-IFN、IFN、グリチルチリン製剤、ウルソデオキシコール酸、小柴胡湯、瀉血
- ・ C型代償性肝硬変の治療薬：①ウイルス

排除→PEG-IFN、IFN、②肝癌進展抑制→IFN、グリチルチリン製剤、ウルソデオキシコール酸、分岐鎖アミノ酸製剤

沖縄県ではC型肝炎の患者が他府県に比べて少ないとのことでしたが、早期発見・早期治療の重要性を改めて感じました。

**【懇親会】**

卸の勤務薬剤師間で様々な内容の情報共有をはかり、いつでも相談がしやすい状況をつくっています。

**部会だより**

**青年部会 第10回通常総会報告**

日時：平成27年7月3日(金) 20:00～21:00  
会場：和民 那覇新都心店

青年部副部長  
小湾 喜彦



標記総会は、40歳以下の会員281名中、13名出席、68名の委任状により成立し（5分の1以上）、下記内容で開催致しました。

平成26年度に行われた在沖米国軍基地内新海軍病院見学ツアーの開催と、薬科大学への沖縄県出身在学生を中心としたUターン・Iターンの広報活動を継続して行いたいと考えております。また、全国で活躍されている同年代の先生をお招きして、講演会を開催していきたいと思っております。

総会後の懇親会では亀谷浩昌会長も加わり、今後の薬剤師像について語られました。

今回の総会では、薬局薬剤師の方だけでなく、病院薬剤師の方の参加も多くみられ、青年部会の一環とした目標「横のつながりを広げて強めていく」ということへの一歩になったかと思えます。今後も薬局薬剤師、病院薬剤師双方の意見交換の場として、多くの薬剤師の方にお集まりいただければ嬉しく思います。皆様のご参加お待ちしております。

<会次第>	司会	副部長	小湾 喜彦
1. 開会の辞		部長	石川 恵市
2. 議長登壇			
3. 議事録署名人の選出			
4. 議題			
	報告 第1号	平成26年度会務報告	
		部長	石川 恵市
	第2号	平成26年度決算報告	
		会計	鈴木 一徳
	議案 第1号	平成27年度事業計画の件	
		部長	石川 恵市
	第2号	平成27年度予算の件	
		会計	鈴木 一徳
5. 閉会の辞		副部長	新川 祥平



## 地区だより 一般社団法人那覇地区薬剤師会 第2回通常総会

日時：平成27年5月17日(日) 14:00～17:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール・研修室



<式次第> 司会 鈴木 一 徳

1. 出席人員確認・宣言

2. 開会の辞

副会長 姫野 耕 一

3. 会長挨拶

会 長 亀谷 浩 昌

4. 議長選出

5. 議事録署名人の選出

6. 議題 報告第1号 平成26年度会務・事業経過報告

第2号 平成26年度監査報告

議案第1号 平成26年度決算承認について

第2号 理事・監事選任について

報告第3号 平成27年度事業計画について

第4号 平成27年度予算について

7. 閉会の辞

副会長 伊是名 秀 平

監 事 具志堅 興 信

副会長 渡具知 一 枝

副会長 姫野 耕 一

副会長 川 満 直 紀

副会長 渡具知 一 枝

副会長 川 満 直 紀

平成27年5月17日(日)、沖縄県薬剤師会館において、第2回通常総会が開催されました。

姫野耕一副会長の開会宣言で始まり、続いて亀谷浩昌会長より「FAX送信件数の長期低落傾向で会の状況は依然として厳しいものがあり、なかなか解決策は見出せないが、経費節減に努め業務を進めてきた。行政からの呼びかけには積極的に対応し、広域病院との連携交流も深めてきた。明るい話題としては、先日、県立南部医療センターこども医療センターのFAXコーナーを条件の良い所に設置することができ、FAX送信枚数が増える可能性が出てきた。私は今期で那覇地区会長を退きますが、今後は県薬の会長として地区薬と協力しながら県下薬剤師の地位及び職能の向上に努めていくつもりです。新しい執行部に会員の皆様のご理解とご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」と述べられました。

議事は、西川裕理事を議長として進行され、まず報告第1・2号の報告がなされ、報告第2号では、具志堅興信監事が「支部会への参加人数が少ないことに組織の衰退の危機を感じている。新執行部にはぜひ工夫、対策を講じていただき、斬新なアイデアを前面に打ち出

して、運営にあたっていただきたい」と会へ期待を込めて所見を述べられました。次に、議案第1・2号、報告第3・4号と審議が進められました。すべての報告及び議案が滞りなく承認され、川満副会長の挨拶で閉会いたしました。最後に、今回の総会をもって退任される亀谷会長と伊是名秀平副会長へこれまでのご尽力に感謝し、花束贈呈が行われました。亀谷会長から1期2年間を振り返り、退任のお言葉をいただき、会場からの盛大な拍手をもって第2回通常総会が終了いたしました。

総会終了後には、沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア部会委員の伊藤昌徳先生による在宅医療について特別講演会が開催され、症例や体験談を交えながらご講演くださいました。

講演会終了後には懇親会が行なわれました。来賓代表として、那覇市特定健診課の嘉手納一彦様、県立南部医療センター・こども医療センター薬局長の長田茂様よりご挨拶をいただき、当会の屋宜信秀監事の乾杯の音頭で開会しました。終始和やかな雰囲気の中で意見交換や歓談がなされ、無事に全日程が終了いたしました。

(報告・写真提供 那覇地区薬剤師会事務局)

### 【特別講演会】

演題：「在宅医療において工夫できること」

～緩和医療、栄養サポート、感染対策から考えられること～

講師：沖縄県がん診療連携協議会

緩和ケア部会 委員 伊藤 昌徳 先生



地区だより

第13回 北部地区薬剤師会定時総会報告



〔式次第〕

- |              |    |     |                   |
|--------------|----|-----|-------------------|
| 1. 出席人数確認・宣言 | 報告 | 第1号 | 平成26年度会務並びに事業経過報告 |
| 2. 開会の辞      |    | 第2号 | 平成26年度会計監査報告      |
| 3. 会長あいさつ    | 議案 | 第1号 | 平成26年度決算承認の件      |
| 4. 議長選出      |    | 第2号 | 平成27年度事業計画案の件     |
| 5. 議題        |    | 第3号 | FAX送信手数料値下げの件     |
| 6. 閉会の辞      |    | 第4号 | 応能会費課金方法変更の件      |
|              |    | 第5号 | 平成27年度予算案の件       |
|              |    | 第6号 | 役員選任の件            |
|              |    | 第7号 | 顧問承認の件            |
|              |    | 第8号 | 平成27年度借入金最高限度額の件  |



神山えり子会長

平成27年6月20日、19時よりホテルゆがふいんおきなわに於いて、第13回北部地区薬剤師会定時総会が行われ、平成26年度の事業経過報告・決算報告、平成27年度事業計画・予算案等の報告議案が審議されました。

冒頭では神山えり子会長より、これまでの感想とともに今後も地域で安心して働いていけるように各先生方をサポートしていく会でありたい、そのためには一人でも多くの会員の声が必要であり、総会や研修会の際に執行部と顔を合わせ、意見を交わし、全ての先生方が北部地区薬剤師会の事業運営に関わってほしいと願っていると挨拶されました。

平成26年度事業経過報告では、従来継続して行ってきた備蓄センター事業・学術研修会のみならず『廃棄医薬品の回収事業』及び

『不動産ネットワーク事業』の再開、新たに会員支援及び環境保全を目的とした『処方箋等の古紙回収事業』を行ったとの報告がされました。

平成27年度事業計画では、今年度も会員支援事業を継続しつつ、新たな会員薬局の支援につながる事業を計画していくことと致しました。決議事項につきましては、審議の結果、議案の全て満場異議無しで承認され、議案第6号役員選任の件につきましても、浅沼健一新会長と新執行部案が承認されました。

総会終了後には懇親会が行われ、多くの会員の先生方が参加しました。また、御来賓として沖縄県薬剤師会神村武之会長に御出席いただきました。当該会長を10年務め、薬剤師の発展の為に尽力された神村会長の労をね

ぎらいながら、北部地区会員の先生方とより一層交流を深めることができました。更に今回、北部地区薬剤師会の新執行部が若手主体となる事もあり、神村会長より10年間の経験

を活かした叱咤激励のお言葉も頂戴し、和やかな雰囲気ですべてを終了致しました。

(報告・写真提供 北部地区薬剤師会事務局)

### <懇親会>



仲村 英和氏



神山 えり子氏



神村 武之氏

## 地区だより

### 平成26年度 中部地区薬剤師会総会報告

日時：平成27年 5月24日(日) 15:00～16:30

会場：沖縄市産業交流センター



中部地区代表理事  
佐藤 雅美

平成27年5月24日(日)、沖縄市産業支援センターにおいて、平成26年度中部地区薬剤師会総会が開催されましたので報告致します。

当日は梅雨の真只中で足場の悪い中の開催だったこともあり、参加人数は23名と少人数ではありましたが、総会から特別講演会まで質問も多く、活気ある会となりました。

開会の挨拶に続き、前原信照中部地区薬剤師会会長挨拶、来賓の神村武之沖縄県薬剤師会会長の代理として田場英治沖縄県薬剤師会専務理事による代読挨拶を頂きました。

議長が選出された後、平成26年度の活動経過報告・会計報告・会計監査報告が行なわれ、参加者に承認されました。

次に、新理事選出が行われ、中部地区薬剤師会会長が前原信照会長から伊佐常隆新会長へ引き継がれた他、副会長2名、新理事8名、監査役2名が選出・承認されました。また、前

原信照前会長が顧問という立場に残って頂き、引き続き会の運営にアドバイス頂けることになりました。

最後に新役員により、平成27年度事業計画と予算計画の発表があり、満場一致で承認されました。

総会終了後の特別講演では、訪問看護ステーション「青空」の下地節子先生による「在宅にて使用する医療材料の取扱い方」という演題でお話し頂きました。実際は、講演会というより研修会に近い形式で5グループに分かれ、東邦薬品提供の医療材料を手に取りながら進められました。

下地先生は長年、県立病院の看護師として活躍された後、訪問看護ステーションを立ち上げられたそうです。具体的かつ専門性の高いお話に、学びと気づきが多くあった研修会でした。



中部地区薬剤師会新役員



新会長の  
伊佐 常隆氏



顧問になった  
前原 信照氏

研修会終了後の親睦会では、玉城武範先生（保健福祉担当新理事）が積極的に下地先生と交流している姿が印象的で、今後益々中部地区で薬剤師による在宅が推進していくことを予感させる会になりました。

私事ではありますが、今回、沖縄県薬剤師会の中部地区代表理事を拝命しました。今後、諸先輩のご指導を頂きながら沖縄県薬剤師会と中部地区薬剤師会の良きパイプ役として努めることを約束し、平成26年度中部地区薬剤師会総会報告とさせていただきます。

＜中部地区薬剤師会新役員＞

- 伊佐 常隆（会長）
- 仲座 方利（副会長・医薬分業担当理事）
- 普久原 隆（副会長・学術担当理事）
- 新川 重一（開局担当理事）
- 玉城 武範（保健福祉担当理事）
- 筋 初子（学校薬剤師担当理事）
- 福地 健治（薬薬連携担当理事）
- 平田 明子（庶務・会計担当理事）
- 新城 光枝（監査役）
- 石垣 満子（監査役）
- 佐藤 雅美（地区代表理事）
- 前原 信照（顧問）

＜式次第＞

	司会 福地 健治
1. 開会	
2. 会長あいさつ	前原 信照
3. 来賓あいさつ	神村 武之
4. 議長選出	
5. 議題	
第1号 平成26年度活動経過報告	仲座 方利
第2号 平成26年度会計報告	一般会計・特別会計
	筋 初子
	会計監査報告
	新城 光枝
第3号 新理事選出	
第4号 平成27年度事業計画（案）	普久原 隆
第5号 平成27年度予算（案）	一般会計・特別会計
	平田 明子
6. 閉会	
○特別講演	
	「在宅にて使用する医療材料の取扱い方」
	講師：下地 節子先生
	（訪問看護ステーション「青空」）

## 月例相談会

# 第122回健康とおくすり相談会報告



日時：平成27年6月28日（日）  
場所：サンエー那覇メインプレイス  
担当：那覇地区薬剤師会



ハーブ薬局 やふそ店  
鈴木 一徳

平成27年6月28日（日）にサンエー那覇メインプレイスの3階にて、健康とおくすり相談会が行われました。私自身、8年ぶりの相談会の参加でした。

まず、In Body（体組成計）と血圧計をセッティングし使用方法を確認。In Bodyでは体成分分析や骨格筋量や脂肪量が測定でき、総合評価が出てきます。当日、相談に来られた方は約30名で女性が多く、相談内容は運動や健康について、また飲んでいるお薬についてと様々でした。また健康診断は定期的を受けてない方が多い印象でした。相談内容のいくつかを下記に示します。

○70代 女性 服薬なし

毎日ウォーキング50分

今年インフルエンザにかかってから蕁麻疹がでる。どうしたらよいか？

→ 体力や免疫力が低下している可能性あり。体力が回復するまでは60%くらいの感覚で運動しましょうと指導。

○70代 女性 血圧の薬を服薬

血圧の上が130mmHg台で薬を飲まなくても同じくらい。先生に内緒で1か月薬を飲まなかったことがある。飲んでも飲まなくても血圧は変わらないのに薬を飲んだ方がよいのか？

→ 先生の考えがあって薬を継続していると思われるので、先生とよく相談するように。

### ◆ 健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 川満 直紀    ○鈴木 一徳    ○渡具知 一枝
- 山道 峻也    ○与儀 和子    ○姫野 さやか
- 姫野 耕一

○70代 女性 服薬なし

健康には気を付けている。

→ 体脂肪がやや高めなので、筋肉量アップするために筋トレやストレッチを心がけましょうと指導。

○40代 女性 服薬なし

那覇マラソンを目指している。2か月前に糖質制限ダイエットで20kg落としたが10kg増えた。

→ 無理な糖質制限はやめて、少しずつ体重を落とすように指導。

また、70代男性の方でお薬の相談をしていたら、下肢に何らかの疾患の疑いがあり受診勧告をしたケースもありました。

普段は薬局の中で処方箋をもとにお薬ありきで患者さまと会話するのがほとんどですが、薬局の外で処方箋無しにお薬や健康の相談を受けてアドバイスや指導をするというのは難しいですが、とても良い刺激になり、勉強になりました。相談に来られた方の中には、「毎週日曜日にここでやってるの？」と尋ねる方もいました。薬局の外でも皆様の役に立つ、いつも皆様の周りには薬剤師がいて気軽に相談に乗ってくれますよ、と職能をアピールできる良い機会だと感じました。

（写真提供：那覇地区薬剤師会事務局）



## 薬業連合会

平成27年 第60回沖縄県薬業連合会  
理事会・総会及び懇親会報告

日時：平成27年6月24日(水) 18:00～20:30

会場：沖縄都ホテル 虹雲の間

沖縄県薬業連合会  
事務局 稲福 文隆

沖縄県薬業連合会とは、沖縄県薬剤師会、沖縄県医薬品卸業協会、沖縄県医薬品登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会の4団体で組織し、薬業界の健全な発展、安定を計り、併せて県民の保健衛生の向上を目的としている。

沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会が平成27年6月24日(水)に開催された。

沖縄県薬剤師会専務理事・薬業連合会理事の田場英治氏が司会進行を行った。

はじめに薬業連合会会長神村武之氏のあいさつ後、引き続き議長として議事を進行した。

司会の田場理事より、報告第1号の事業経過の報告がされた。報告第2号の会計監査報告を沖縄県医薬品登録販売者協会監査役・沖縄県薬業連合会監事の久保田輝雄氏が報告をされた。

議案「第1号平成25年度決算承認」、「第2号平成26年度事業計画案」、「第3号平成26年度年会費」、「第4号平成26年度予算案」「第5号規約の一部改正」が審議され滞りなく進行され承認を得た。

「第6号の平成27年度役員・幹事団体の件について」沖縄県医薬品卸業協会、沖縄県薬剤師会から、選出役員が変更になったとの報告があり承認された。輪番制(2年間)である幹事団体については、当時に各団体から業務上、厳しいとの意見があり、各団体の要望で、

神村会長の就任期間に限り薬剤師会が幹事を引き受けた経緯がある。今回の神村会長退任にあたり、輪番制を再度取り入れるか、継続で薬剤師会が幹事団体とするか新執行部で検討することとなった。

神村議長より、毎年1月に開催される薬事功労受賞者合同祝賀会に各団体内で表彰された方は積極的に報告いただきたいと提案された。

最後に沖縄県医薬品登録販売者協会会長・薬業連合会理事の米村一成氏の閉会の辞で総会(兼理事会)は終了した。

懇親会に移り、沖縄県医薬品登録販売者協会・薬業連合会理事の親泊康行氏が司会進行を行い、沖縄県医薬品卸業協会会長・株式会社ダイコー沖縄代表取締役社長・薬業連合会副会長平野和之氏の開会の辞で始まり、神村武之会長のあいさつ、次に沖縄県薬業連合会監事の我喜屋宏氏が乾杯を行い懇談となった。

新役員も紹介された。各団体との情報交換の場となり有意義な懇親会となった。

最後に沖縄県医薬品配置協議会会長・薬業連合会理事の長浜眞球氏より閉会の辞で締めとなった。



寄稿

## 医療通訳ボランティア養成講座の 医療講義にご協力いただいて



(公財) 沖縄県国際交流・  
人材育成財団  
葛 孝行

沖縄県には、現在約1万1千人の在住外国人がおり、在住外国人との多文化共生に向けた環境整備の一環として、公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、医療機関等を受診する際のコミュニケーションに不安を抱える在住外国人のために、英語・中国語・スペイン語・韓国語による医療通訳ボランティア養成及び派遣事業を実施しています。今年度で5期目となる医療通訳ボランティア養成講座は、全7回で構成されます。1回の講座は4時間からなり、前半の2時間は各医療分野から現役の医師や看護師、そして薬剤師を招き医療現場を取り巻く現状などについての講義を行い、残りの2時間は各言語に分かれ、実際の医療現場を想定したロールプレイを行います。今年度は、30名の定員に対し110名の応募があり、多くの県民が当該事業へ関心を寄せて下さっていることに驚きました。

今回7月11日（土）に実施した第4回養成講座において、沖縄県薬剤師会よりご推薦をいただきました、あにも調剤薬局の阪本崇彰様に「薬剤医療の現場から」というテーマで講義を頂きました。講義では、薬局の種類、お薬が処方されるまでのプロセスや医薬分業のメリット・デメリット、また意外にも処方箋

には有効期限があることなど普段患者が疑問に思ったり、「なるほど!」と思うこと等に関して丁寧に講義していただきました。また講義としては貴重にも、実際に薬を用いて、薬の飲み合わせが悪いとどうなるかなど実験形式も取り入れて下さいました。阪本様の講義は、受講生からも大変好評でした。ここで阪本様の講義を受講しました受講生からの感想をいくつかご紹介します。

○丁寧でわかりやすい説明と構成で、とても勉強になりました。かかりつけの薬局を持つことも大事だと言うことに気づきました。1番身近にある薬局とドラッグストアの事を聞けて良かったです。今まで通常処方薬とジェネリック医薬品の違いがあまりわからなかったのですが、講義を受けてクリアに理解することができましたし、通訳の現場においても正確に伝えることができそうです。また家族や友人にも情報を共有したいと思います。

○(講義を受講して) 通訳のポイントとしては、保険証を忘れた場合に、いつまでに提出したら良いかや処方箋に期限があることを伝えたり、外用薬等をもらうときには、具体的にしっかり聞く必要性を学びました。



医療講義の様子



講師の阪本崇彰氏

○薬は日常生活の中での関わりも多いので、いろいろ個人的にも役に立つ情報を得られました。先生の実体験に基づくお話や裏話も聞けて、とてもおもしろかったです。また、国によってお薬の処方の違いがあり、処方の仕方の違いを学ぶことができました。当該事業は、平成27年7月25日（土）を持ちまして無事終了することができ、本年度の修了認定された方は37名でした。認定を受けたボランティアの方々は今後も継続的な勉強

会に参加し、通訳技術の向上を図るとともに、県内各医療機関等で医療通訳に関するボランティアとして活躍が見込まれます。

今回、ご協力をいただきました沖縄県薬剤師会の皆様、また阪本様へ深くお礼を申し上げます。また、今後とも沖縄県の多文化共生社会推進のために、ぜひ薬剤医療の分野に関する知識を受講生にご講義いただければと考えております。

投稿

広げよう「ブルーサークル」  
11月14日：世界糖尿病デー



沖縄県中部地区糖尿病標準治療推進委員会  
すこやか薬局 北谷店 田崎 仁

11月14日<sup>\*</sup>は「世界糖尿病デー」。糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、世界規模で糖尿病に対する注意を喚起しようと、国際糖尿病連合（IDF）と世界保健機関（WHO）によって1991年に開始され、2007年には国連の公式の日となりました。そのシンボルマーク「ブルーサークル」は国連や空を表す「青（ブルー）」と団結を表す「輪（サークル）」を意味しています。当日は世界各地で糖尿病の予防・対策を啓発するイベントが開催され、建築物などがブルーにライトアップされます<sup>1),2)</sup>。

しかし、2013年に東京都が行った意識調査での認知率はブルーサークル：2.9%、ブルーライトアップ（東京都庁など）：10.7%と低いことが示され<sup>3)</sup>、沖縄県でも同様と考えられます。

2009年より、毎年11月14日に沖縄県中部地

区糖尿病標準治療委員会は独自の取り組みで北谷町美浜の観覧車を青一色に点灯させています。その他、沖縄県医師会館、種々の医療機関等がブルーライトアップを行っています。このことを広め、「世界糖尿病デー」の認知度を向上させるために、気軽に行えることからやってみませんか？例えば、1)世界糖尿病デーを意識する、2)ブルーサークルの意味を伝える、3)ブルーライトアップを見に行くor伝える、4)所属する施設にブルーサークルを掲示する、5)所属する施設をブルーライトアップする、他（世界中での取り組みがネットで公開されています<sup>1),2)</sup>。）

世界糖尿病デーに関わっていくことが、多くの方々へ糖尿病を考える1日を提供し、健康長寿おきなわに繋がると思います。みんなですべて「世界糖尿病デー」を盛り上げましょう！



world diabetes day  
14 November

- ※11月14日：インスリンの発見者  
フレデリック・バンティング氏の誕生日
- 1) World Diabetes Day Committee in Japan  
<http://www.wddj.jp/>
  - 2) 糖尿病ネットワーク <http://www.dm-net.co.jp/>
  - 3) 平成25年度第1回インターネット  
都政モニターアンケート結果

啓発ポスター

# 子どもによる医薬品の 誤飲事故 に注意!



近年、子どもによる医薬品の誤飲が多く発生しています。

子どもの行動の特徴をふまえ、子どもが誤飲すると入院等の重い中毒症状を呈するリスクが高い医薬品（向精神薬、気管支拡張薬、血圧降下剤及び血糖降下剤など）の家庭における保管については十分注意しましょう。

医薬品を保管する際には以下の点に注意してください。

- 子どもの手の届かない、見えない所に保管しましょう。
- 服用後はそのまま放置せず、元の安全な場所に片付けましょう。
- シロップ剤を冷蔵庫に保管する際には、ドア棚などにジュースと一緒に並べて保管するのはやめましょう。



## 子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関

小児救急電話相談(19~23時) 電話: #8000 (通話料は相談者負担)

中毒110番・電話サービス(通話料は相談者負担)

大阪中毒110番(365日24時間対応) 電話: 072-727-2499

つくば中毒110番(365日9~21時対応) 電話: 029-852-9999

## 沖縄県薬剤師会

沖縄県医師会 沖縄県歯科医師会 沖縄県看護協会 沖縄県保健医療部

※本会作成の同ポスターを必要とされる方は、沖縄県薬剤師会事務局までご一報下さい!

## 第29回沖縄県薬剤師会学術大会の演題の募集について

会 員  
部 会 長 各 位  
地区支部長

沖 縄 県 薬 剤 師 会  
学術大会実行委員会

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の学術大会を来る平成27年11月1日（日）沖縄県薬剤師会館に於いて開催することになりました。

つきましては、下記により演題を募集致しますので、多数の申込を頂きますようお願い申し上げます。  
但し、原則として1施設1演題とします。

### 記

- 演題募集部門名：①保険薬局部門 ②学校薬剤師部会 ③女性薬剤師部会 ④公衆衛生部門  
⑤行政薬剤師部会 ⑥病院診療所部会 ⑦卸勤務薬剤師部会 ⑧青年薬剤師部会  
⑨開局部門 ⑩医薬品情報部門 ⑪試験検査部門
- 発 表 時 間：一題 10分（発表8分、質疑応答2分）  
①発表は口演（パワーポイント）発表を主とします。  
②演題の応募状況によっては、発表時間を調整させていただくことがあります。
- 演題申込締切：平成27年9月4日（金）
- 講 演 要 旨：A4版縦用紙1枚程度（1200字以内）にまとめ郵送またはメールで送付下さい。  
（作成要領は裏面をご参照下さい。）
- 要 旨 締 切：平成27年10月2日（金）
- 申 込 先：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 沖縄県薬剤師会館内  
第29回沖縄県薬剤師会学術大会準備委員会  
TEL (098)963-8930 FAX (098)963-8932  
E-mail: kouhou@okiyaku.or.jp  
\*大会プログラム及び大会参加申込書は、後日お知らせ致します。

平成27年 月 日

### 第29回沖縄県薬剤師会学術大会 演題申込書

発表施設名 or 地区・支部委員会名・部会

演 題

所 属

電話番号

発表者（フリガナ）

（連名のとき演者に○印を）

所要器具（必要なものに○印を）

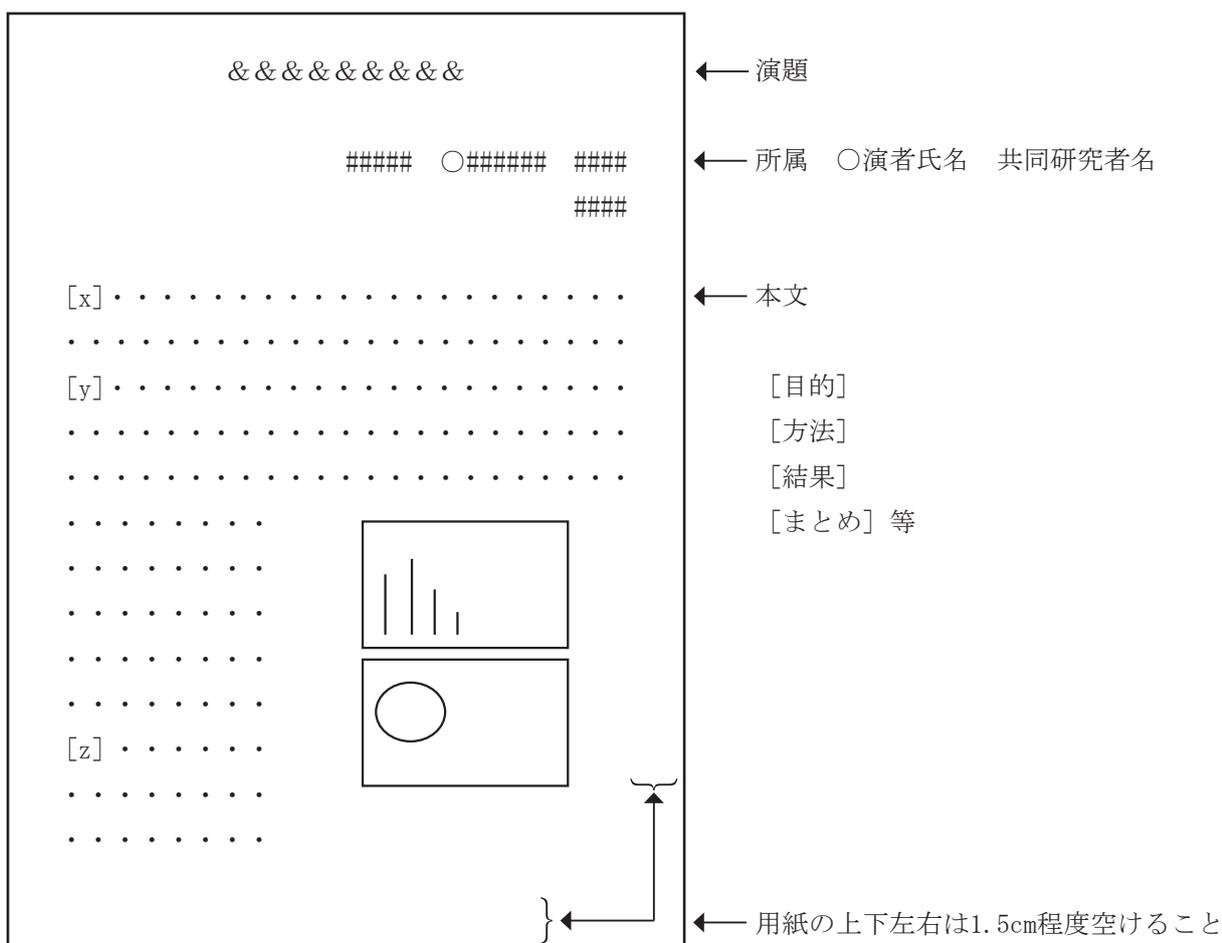
- Power Point（パソコンプロジェクターは1台用意）
- その他

※講演要旨作成要領は裏面に記載されています。

## 講演要旨作成要領

沖縄県薬剤師会学術大会実行委員会

1. 原稿をそのままオフセット印刷にかけて学術大会要旨集を作成しますので、次の要領で原稿を作成して下さい。
2. 講演要旨はA4版用紙を使用し、ワードで作成して下さい。(A4用紙1枚にまとめて下さい。)
3. 演題、所属、氏名は下記の「作成見本」を参照して下さい。
4. 演題、所属、発表者氏名の欄は写植印刷致します。最上部の行から記入して下さい。演者の氏名には、先頭に○印を付けて下さい。
5. 作成見本



平成27年8月8日

会 員 各 位

第29回沖縄県薬剤師会学術大会会長 亀谷浩昌  
第29回沖縄県薬剤師会学術大会実行委員長 外間惟夫  
(公印省略)

## 第29回沖縄県薬剤師会学術大会の開催について（ご案内）

日本薬剤師研修センター認定研修・日本病院薬剤師会生涯教育認定講座・JPALS 47-2015-0081-101

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業の運営に対し、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第29回沖縄県薬剤師会学術大会を下記のとおり開催いたしますので、多くの会員の皆様  
がご参加いただき、研鑽を積まれますようご案内申し上げます。

なお、学会終了後には懇親会を開催致します。懇親会の席で、演題発表認定証ならびに奨励賞  
の授与および薬剤師功労沖縄県薬剤師会長賞表彰式を執り行ないますので是非ご参加下さい。

\* 下記の参加申込票にご記入の上、県薬事務局まで FAX又は、郵送にてお申し込み下さい。

記

日 時：平成27年11月1日（日）

受 付：午前9時30分～ 開 会：午前10時（予定）

（時間については正式に決まりしだい後日お知らせ致します。）

会 場：沖縄県薬剤師会館

参 加 資 格：沖縄県薬剤師会会員・沖縄県病院薬剤師会会員

大会参加費：県薬会員 1,000円 県病薬会員 2,000円

(懇親会費を含む) 当日受付にてお支払い下さい。

(県薬・県病薬のどちらにも所属していない方は、参加費10,000円。但し、学会当日ま  
でに入会した場合は、その限りではない。また、実務実習中の薬学生は参加費無料！)

○会員発表 18題予定

プログラム・演題等については後日お知らせ致します。

○ランチョンセミナー 12:00～13:00 【お弁当を準備しております(無料)。但し予約者のみ】

○特別講演 16:00～17:00

○懇 親 会 17:30～（会場：沖縄県薬剤師会館 研修室）

### 第29回沖縄県薬剤師会学術大会 参加申込票

・氏名： \_\_\_\_\_ ・勤務先： \_\_\_\_\_

※（ 1.ランチョンセミナー 2.学会 3.懇親会 ）参加する項目に○印をして下さい。

※ランチョンセミナーのお弁当は本参加申込票にて参加予約した方のみとなります。

※途中参加者も参加費は同額となります。

※遅れての参加は、単位取得ができないことがあります。

返送先：沖縄県薬剤師会 〒901-1105 南風原町字新川218-10

FAX番号 098-963-8932 （平成27年10月9日(金) 必着）

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ  
薬達ちゃーより

## あまくま薬<sup>やくた</sup>立つ情報

### ➔ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

### ➔ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

### ➔ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電 話 098-963-8934

e-mail [siken@okiyaku.or.jp](mailto:siken@okiyaku.or.jp)

### ➔ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの「かかりつけ薬局」をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ  
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

## 薬事情報おきなわ No.234

2015年7・8月号 : Vol. 30 No. 4  
薬事情報センター TEL:098-963-8931  
おくすり相談室 TEL:098-963-8935

## Medical News

## ●牛肉アレルギー：抗がん剤副作用 製薬会社、注意喚起へ（毎日新聞 6月9日）

牛肉アレルギーを持つ人は、抗がん剤「セツキシマブ」（商品名アービタックス）投与でアレルギー反応を起こしやすいことが、島根大の研究で分かった。牛肉とセツキシマブの双方に含まれる成分が原因で、投与された患者がショック症状で死亡した例もある。製造販売元のメルクセローノは、添付文書の改訂による注意喚起などを検討している。メルクセローノによると、発売後約1年半の全例調査（約2000人）で、急性アレルギー反応「アナフィラキシーショック」を含む重い過敏症状が29人に確認された。アレルギー反応は「α-gal」と呼ばれる物質が原因とされる。この物質は牛肉に豊富に含まれ、牛肉アレルギーを起こすが、症状が出ない人もいる。

## ●抗不安薬や睡眠薬で急性薬物中毒、4割が過剰処方（読売新聞 6月11日）

抗不安薬や睡眠薬を過剰服用して意識障害などが表れる急性薬物中毒を起こした患者の約4割が、添付文書で定められた規定量を超える処方をされていたとする調査結果を、医療経済研究機構がまとめた。研究グループは、健康保険組合の加入者172万人分の診療報酬明細書のデータを分析。2012年10月～13年11月の間に、自殺などを目的に多量の抗不安薬や睡眠薬を服用し、急性薬物中毒を起こした210人について、その3か月前までさかのぼって薬の処方状況を調べた。対象者は、精神疾患の患者が多数を占めた。規定量を超えていたのは82人で、39%に上った。処方した医師は、精神科医が89%を占めた。

## ●調剤技術料などが減少、門前薬局の適正化が影響（薬事日報 6月22日）

厚生労働省が公表した2014年「社会医療診療行為別調査」結果によると、薬局調剤の1件当たり点数は1094.6点と前年に比べて8.9点、0.8%減少。このうち、調剤技術料には、226.2点と前年より3点、1.3%の減少となった。この要因について厚労省は、昨年4月の診療報酬改定で、調剤基本料の特例に「2500回超・90%超」の要件を追加したことや、後発医薬品調剤体制加算の算定ハードルを引き上げたことなどが影響したと分析している。調査は、国のレセプト情報・特定健診データベースに蓄積されている昨年6月審査分のレセプトを対象に行った。

## ●テレビ電話で処方薬購入 戦略特区で規制緩和（6月30日 共同通信）

政府は29日、国家戦略特区諮問会議で、薬局に行かなくてもテレビ電話で処方薬が購入できるようにするなど特区での規制緩和を決めた。離島やへき地など医療機関

が少ない地域での遠隔診療を後押しする。今後、必要な法改正を進める。現在は、テレビ電話を通じて医師に診療してもらうことは可能だが、薬を受け取るには薬剤師と直接会って説明を聴く必要がある。処方箋を受け付ける薬局が遠方にしかない場合、重病の人や高齢者に負担となっていた。民間企業による医薬品の配達も拡大させる。

## ●情報提供不要の合意が有効—後発品促進で報告書（読売新聞 7月13日）

厚生労働省は、2014年度の後発品使用促進の取組事例と効果などに関する調査報告書をまとめた。医療機関では、剤形のみの変更調剤時の情報提供を不要とすることを、予め保険薬局と合意しておくことが医師と薬局側の負担を軽減する観点から有効と指摘。薬局では、地域や法人などの組織単位で選定基準を設けた上で、後発品の推奨品を選んでおくことが薬剤師が安心して使用できることにつながり、望ましいとした。

## ●沖縄特有の難病患者に助成へ 厚労省が見解（7月21日 沖縄タイムス）

筋力の低下、四肢や体幹の筋れん縮などを起こす沖縄県内特有とされる「沖縄型神経原性筋萎縮症」について、厚生労働省が難病に指定する「球形髄性筋萎縮症」「脊髄性筋萎縮症」「シャルコー・マリー・トゥース病」の三つの症状と重なる、との見解をまとめた。診断基準が明確になったことで、当事者がいずれかの症状に当てはまるとして申請すれば、医療費助成の対象となり得る。

## ●薬歴管理ガイドライン作成 信頼性回復のため行動要請（薬事日報 7月24日）

日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）は、「薬剤服用歴（薬歴）管理ガイドライン」を作成した。同ガイドラインは、今年4月に行った、不適切な薬歴管理の再発防止に向けたJACDSの宣言、および薬歴管理、服薬指導に関する国の方針を盛り込むと共に、[1]薬歴管理の目的 [2]薬歴の記載内容と記載要領 [3]薬歴の保管と個人情報の保護 [4]電子薬歴の留意事項 [5]店内および企業内での相互チェックの要領 [6]薬歴を使用した服薬指導 [7]薬歴管理研修の実施 [8]保険請求の留意事項——等といった内容で構成されている。

## ●19種類の薬処方の90代女性死亡、過剰摂取原因か～宮崎（朝日新聞 7月27日）

宮崎県は県内の有料老人ホームに入所中の90歳代の女性が6月、薬の過剰摂取が原因で死亡したと発表。女性は1年半ほど前から同施設に入所。認知症や高血圧、リウマチなどの持病があった。17種類の薬を服用していたが、6月3日に新たにリウマチの薬と、貧血の薬の2種類を処方された。同施設の職員が、薬の仕分けを担当する別の職員2人に薬の事を伝えず、服用方法や注意事項などを確認しなかったという。女性は6月13日に高熱などの症状が出て、25日に死亡した。

薬事情報センターに寄せられた質問から

## はい、薬事情報センターです。

薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

【質問】ミズホメディーのデジタルP-チェック(妊娠検査薬)は要指導医薬品ですか？

【回答】PチェックLHデジタルは要指導医薬品ではなく第2類医薬品に指定されている。

※要指導医薬品とは、新医薬品等で安全性に関する調査期間中の医薬品、毒薬及び劇薬のうち厚生労働大臣が指定する医薬品をいう。平成27年7月6日に、スイッチ直後等の15品目と劇薬5品目の計20品目が指定された。(表参照)

### 要指導医薬品一覧(平成27年7月27日現在)

	有効成分	販売名	製造販売業者	薬効分類
1	ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニンSパップ	リードケミカル株式会社	経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤
		ロキソニンSテープ		経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤
		ロキソニンSテーブル		経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤
		ロキソニンSゲル	第一三共ヘルスケア株式会社	経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤
2	フッ化ナトリウム	エフコート	サンスター株式会社	フッ化物洗口剤
		エフウォッシュ		フッ化物洗口剤
		パトラーエフウォッシュ		フッ化物洗口剤
3	アルミノプロフェン	ルミフェン	佐藤製薬株式会社	解熱鎮痛薬
		ミナルフェンS		解熱鎮痛薬
4	チェストベリー乾燥エキス	ブレフェミン	ゼリア新薬工業株式会社	月経前症候群治療薬
5	ペミロラステカリウム	ベミラストンAG点眼薬	アルフレッサファーマ株式会社	アレルギー用薬
		ノアールPガード点眼液	佐藤製薬株式会社	アレルギー用薬
6	エバステン	エバステルAL	興和株式会社	アレルギー用薬
7	トラニラスト	ロートアルガードプレテクト	ロート製薬株式会社	アレルギー用薬
		ロートアルフィットEX		アレルギー用薬
8	トリメブチンマレイン酸塩	セレキノンS	田辺三菱製薬株式会社	消化器官用薬
		セルレックスS		消化器官用薬
9	イコサペント酸エチル	エパデールT	持田製薬株式会社	中性脂肪異常改善薬
		エパアルテ		中性脂肪異常改善薬
10	セチリジン塩酸塩	ストナリニZ	佐藤製薬株式会社	アレルギー用薬
		コンタック鼻炎Z	グラクソ・スミスクライン株式会社	アレルギー用薬
		コンタック鼻炎24		アレルギー用薬
11	フェキソフェナジン塩酸塩	アレグラFX	サノフィ株式会社	アレルギー用薬
12	イブプロフェン	ナロンメディカル	大正製薬株式会社	解熱鎮痛薬
		ナロンホワイト		解熱鎮痛薬
		リングルアイビー錠α200	佐藤製薬株式会社	解熱鎮痛薬
13	ネチコナゾール塩酸塩	エスエスカンジダクリーム	エスエス製薬株式会社	腫瘍用薬
		フェミディアクリーム		腫瘍用薬
		カンジダカユミノクリーム		腫瘍用薬
14	アシタザノラスト水和物	アイフリーコーワAL	興和株式会社	アレルギー用薬
		アルギアイコーワ		アレルギー用薬
15	赤ブドウ葉乾燥エキス混合物	アンチスタックス	エスエス製薬株式会社	生薬主薬製剤(むくみ等改善薬)
16	(劇薬)ヨヒンビン塩酸塩	ガラナポーン	大東製薬工業株式会社	勃起障害等改善薬
17	(劇薬)塩酸ヨヒンビン・硝酸ストリキニーネ	ハンピロン	日本薬品株式会社	勃起障害等改善薬
18	(劇薬)塩酸ヨヒンビン	ストルピンMカプセル	松田薬品工業株式会社	勃起障害等改善薬
19	(劇薬)ヨヒンビン塩酸塩	マヤ金蛇精(カプセル)	摩耶堂製薬株式会社	勃起障害等改善薬
20	(劇薬)ホルマリン	エフゲン	阿蘇製薬株式会社	殺菌消毒薬

【質問】二硫化炭素を殺虫用に購入したいというが、個人に販売できますか？(薬局)

回答)二硫化炭素は劇物に指定されているため、「毒物及び劇物取締法」の規制の対象となる。個数、頻度、使用目的を確認し、問題なければ販売できる。販売時は取扱いや保管上の注意など情報提供しなければならない。

【質問】一般名処方で調剤薬局が調剤した場合、処方元の医療機関に情報提供するのは義務ですか？(医師)

【回答】処方した薬剤が先発医薬品であるか、後発医薬品であるかにかかわらず、一般名処方に係る処方薬について調剤を行ったときは、実際に調剤した薬剤の銘柄等について、当該調剤に係る処方せんを発行した保険医療機関に情報提供することになっている。ただし、当該保険医療機関との間で、調剤した薬剤の銘柄等に係る情報提供の要否、方法、頻度等に関してあらかじめ合意が得られている場合は、当該合意に基づいた方法等により情報提供を行うことで差し支えない。

参考:平成24年3月30日付 厚生労働省保険局医療課事務連絡:疑義解釈資料の送付について(その1)



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

## 「おくすり相談室」の受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

### ●医薬品一般●

【質問】トコンシロップは吐くお薬ですか？  
どの位で効果がでますか？

【回答】医薬品や誤飲した物を吐かせるお薬です。病院での胃洗浄では除去しにくいような比較的大きな固形物も除去できます。通常30分以内には効果がでるとされています。

【質問】ソラナックスを1日3回、ランドセンを1日2回、いつも間をあけて飲んでる。どの位あければいいですか？（女性）

【回答】朝夕の服用時間が重なっていますが、これらのお薬は同時に服用されても影響はありません。忘れずに服用する事が大切です。

### ●安全性情報●

【質問】母の介護をしている。4日前痛み止めのボルタレンを1週間飲ませた。それから1週間後おむつが赤くなっていた。痛み止めを飲む前に血圧の薬もプロプレスに変わり、長年サンリズムも服用中。副作用ですか。（女性）

【回答】ボルタレンに急性腎不全による血尿と横紋筋融解症の副作用報告があります。今回その副作用が、まず考えられますが、変更になったという血圧の薬、プロプレスにも横紋筋融解症の副作用があります。足の痛くなった症状が横紋筋融解症で、尿の症状も追って出てきた可能性も考えられます。別に、3種に共通で急性腎不全の副作用報告もある事から、処方医におむつが赤くなっていることを報告して、必要であれば検査を勧めます。

【質問】処方クラシエ桂枝加竜骨牡蛎湯だったのに、調剤薬局からもらったのはクラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯だった。朝夕の処方、1回飲んだ後から気分が悪かったが、治らないと思い飲み続けた。3回飲んだ後からものすごく気分が悪くなった。家族が説明書を見て間違っている事に気付いた。薬局には連絡したが、この症状は副作用なのか？どうなのか知りたい。（女性）

【回答】クラシエ桂枝加竜骨牡蛎湯とクラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯は、どちらも神経症等に使用されるお薬ですが、生薬の内容は異なります。間違えられた柴胡加竜骨牡蛎湯はサイコ、オウゴンが含まれており、発熱咳などの症状から始まる間質性肺炎等の副作用が現れる可能性があります。また、ダイオウには消化器症状の副作用が報告されています。気分が悪いとの事ですが、お薬は中止されているので徐々に症状は良くなって行くものと思われれます。今も不快な症状が治まらないようでしたら、受診を勧めます。

【質問】交通事故で、10ヶ月間黄緑色のラベルの抗生剤（セフトリアキソンナトリウム静注用「サワイ」）を使っていた。入院前にはなかった胆石

が7ヶ月目に見つかった。それも、7ヶ月目にお腹が痛くなって判明した。患者は信頼して薬を使っているのに、こんなことってあるのですか。病院は薬のせいではないと言っている。（女性）

【回答】このお薬を1週間服用したことにより胆石が発症したとの報告があります。通常、腹痛等の症状があらわれた場合には、投与を中止し、検査、適切な処置を行います。今回の症状が副作用によるものかはこちらでは判断できないため、病院側ときちんと話し合いの場をもった方がいいかと思えます。

### ●その他●

【質問】内地のテレビで500円で血糖値を測ってくれる薬局があるとやっていた。薬局でできるのですか？（女性）

【回答】東京都と徳島県内の薬局20カ所で、無料で血糖値を測定できる事が取り上げられていたようです。2014年4月から、臨床検査技師法の一部が改正され、薬局などで血液検査ができるようになりました。薬局が「検体測定室」の届け出をすれば薬局店頭でも血液検査を行えます。ちなみに、店頭で測定可能な項目は、特定健診の血液検査で確認できる「血糖値」や「HbA1c」「中性脂肪」「肝機能」など8項目になります。被検者が自分で指に細くて短い針を刺して採取した微量の血液があれば、数分で測定可能です。

【質問】爪の水虫の塗り薬を使っていたが、効かなかったのでクレナフィンという薬に変わった。塗り薬が効かなければテルビナフィンという飲み薬に変更すると言われた。それは月に1回血液検査をしなければならぬので不安だ。

【回答】抗真菌薬の飲み薬には肝機能障害等の副作用が報告されています。服用後、倦怠感、食欲不振、発熱、発疹、痒み、吐き気・おう吐、かゆみなどの症状が現れた場合には、服用を中止しなければなりません。副作用の早期発見のためにも血液検査が必要です。

【質問】調剤薬局で、熱を測ろうと体温計を借りたかったのだが、薬事法とかでないから置いていないと言われた。テング熱とかも流行っているから、測りたかった。（男性）

【回答】薬事法の構造設備基準では、常備するものに含まれておりませんが、要望があった事については、伝えたいと思えます。

【質問】病院と薬局は分業することになっているが、高齢者や障害者にとっては敷地内併設を心待ちにしている。いつからそうなるのか。

【回答】病院の敷地内に薬局を併設することを認める方針となった事は確かだが、いつから等具体的な事はまだ決まっていない。

## 今の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

### ○医薬ジャーナル 51巻6号

- \*特集：真菌感染症～この10年の進歩～
- ・原著 透析患者の高リン血症に対するクエン酸第二鉄水和物（リオナ錠250mg）の医療経済分析（p.128）
- ・注目論文を読み解く（39）（p.154）
  1. ラベプラゾール併用でメトホルミンの血漿中濃度がわずかに上昇
  2. クロピドグレルとACE阻害薬の併用で出血リスクが上昇する可能性
  3. 抗コリン薬の複数併用でせん妄または認知症による入院リスクが増加
  4. スルホニルウレア薬服用中の高齢者では抗菌薬併用で低血糖のリスクが上昇
  5. UGT1A1 poor metabolizerではニコチンの重篤毒性の発現リスクが高い可能性
  6. 抗結核薬による肝障害と遺伝子多型との関連

### ○医薬ジャーナル 51巻7号

- \*特集：スポーツ医学（医療）、スポーツ薬理学～スポーツにおける適切な薬物治療への支援～
- ・注目論文を読み解く（40）（p.152）
  1. クロザピンによる虚血性大腸炎
  2. レニン・アンジオテンシン系阻害薬とST合剤の併用で突然死リスクが上昇
  3. 胃酸分泌抑制薬併用で酸化マグネシウム緩下作用が減弱する可能性
  4. ロサルタンとナプロキセンの併用による血管浮腫
  5. アトルバスタチン併用でコルヒチンの血漿中濃度が上昇
  6. アルガトロバン併用でシクロスポチンの血中濃度が顕著に低下

### ○エキスパートナーズ 31巻7号

- \*特集：DVT予防対策の「本当に知りたいところ」
- \*特集：がん終末期ケアの「やってはいけない」

### ○エキスパートナーズ 31巻8号

- \*特集：モノで変わった！看護ケア
- \*特集：人工呼吸器離脱プロトコル

### ○きょうの健康 7月号

- \*特集：認知症の新常識
- \*特集2：大腸がん徹底解説

### ○きょうの健康 8月号

- \*特集：糖尿病
- \*特集2：肝臓を守る！

### ○月刊薬事 57巻6号

- \*特集：小児感染症
- ・小児領域における抗菌薬の使い方（p.67）
- ・適応拡大クローズアップ メトロニダゾールゲル（p.99）
- ・病態を正しく見抜く！臨床検査値ケースファイル 25ヶ月男児 主訴：発熱、発疹、黄疸（p.134）
- ・適応外使用の処方せんの読み方（60）レイノー現象（レイノー病・レイノー症候群）（p.149）

### ○月刊薬事 57巻7号

- \*特集：抗凝固療法 ブラッシュアップ
- ・抜歯、内視鏡、外科手術時の対応（p.79）
- ・病態を正しく見抜く！臨床検査値ケースファイル 75ヶ月女性 主訴：意識障害（p.116）
- ・適応外使用の処方せんの読み方（61）突発性難聴（p.147）

### ○産科と婦人科 82巻6号

- \*特集：遺伝性乳癌卵巣癌のマネージメント

### ○産科と婦人科 82巻7号

- \*特集：PIH既往女性の生活習慣病リスクとヘルスケア

### ○総合診療 25巻6号

- \*特集：高齢者救急の落とし穴—紹介する時、される時

### ○総合診療 25巻7号

- \*特集：ここを知りたい！頭部外傷初期対応・慢性期ケア

### ○総合診療 25巻8号

- \*特集：健診データで困ったら—こんな検査結果を持ってこられたら
- ・3週間以上の咳の治療戦略（p.452）

### ○調剤と情報 21巻6号

- \*特集：統合失調症患者の理解と支援
- ・処方監査や疑義照会で検査値を使いこなす（7）PHINRを把握しワルファリン適正使用につなげよう（p.67）
- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく（57）処方せんの2枚目が患者のカバンの中に！（p.97）
- ・新薬くろーずあっぷ：ルティナス腔錠（p.45）
- ・気になる薬のQ&A：メトホルミン（p.117）

### ○調剤と情報 21巻7号

- \*特集：抗凝固薬・抗血小板薬の処方意図
- ・処方監査や疑義照会で検査値を使いこなす（10）ネフローゼ症候群の薬剤適正使用に臨床検査値を活用しよう（p.75）

## Medical Magazines titles

## 今の特集・論文

- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく (58) まさかの半錠処方で「分2」を見落とし! (p.100)
- ・新薬くろーずあっぷ: グラナテック点眼液 (p.37)
- ・気になる薬のQ&A: アジスロマイシン (p.1119)

**○治療 97巻6号**

- \*特集: 生きると向き合う わたしたちの自殺対策

**○治療 97巻7号**

- \*特集: 海のむこうの総合診療

**○日経ドラッグインフォメーション 210号**

- \*特集: 降圧薬 その処方、どうして?
- ・処方箋を読む: リクシアナが減量された患者 (p.39)
- ・服薬指導: 喫煙者のピロリ菌除菌 (p. PE001)
- ・構造で薬を理解する~構造的類似性をもたらす薬物相互作用 (p. PE007)
- ・医師が語る処方箋の裏側~トリプタンが効かない頭痛にインドメタシンを処方した理由 (p. PE016)

**○日経ドラッグインフォメーション 212号**

- \*特集: 処方箋の裏側 2015
- ・服薬指導 喘息患者のNSAIDs使用可否の見分け方 (p.39)
- ・服薬指導 前立腺肥大症治療薬の発毛作用 (p. PE003)
- ・構造で薬を理解する プロドラッグ化で成功した抗インフルエンザウイルス薬 (p. PE007)
- ・医師が語る処方箋の裏側 あえて眠れそうな日に睡眠薬を服用させる理由 (p. PE016)

**○日経ドラッグインフォメーション 213号**

- \*特集: 検体測定室まる分かり
- ・服薬指導 ギンギガにステロイドを併用する理由 (p. PE001)
- ・服薬指導 抑肝散と利尿薬併用時の注意点 (p. PE005)
- ・医師が語る処方箋の裏側 入院は多剤併用解消の好機 1ヶ月で18剤から1剤に減薬 (p. PE007)

**○日経メディカル 571号**

- \*特集: 「良くない知らせ」の伝え方
- ・私の処方: 尿管結石の治療に $\alpha$ 1遮断薬

**○日本医事新報 4753号**

- \*特集: 消化管癌外科治療における化学療法
- ・質疑応答~産婦人科: 妊婦の無症候性細菌尿への対応 (p.60)
- ・質疑応答~小児科: 1歳未満児に対する麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜワクチンの適応 (p.65)
- ・質疑応答~薬理学: 認知症に対するインスリン鼻内吸入薬の効果 (p.67)

**○日本医事新報 4754号**

- \*特集: 安全に使いこなすSGL2阻害薬

**○日本医事新報 4755号**

- \*特集: 減塩から始める予防医療
- ・質疑応答~内科: 糖尿病性腎症に対する蛋白制限食の効果とエビデンス (p.56)
- ・質疑応答~婦人科: 女性への骨粗鬆症治療薬の選択 (p.59)
- ・質疑応答~内科: インフルエンザ皮下接種ワクチンと経鼻ワクチン併用の効果 (p.62)
- ・質疑応答~薬理学: イチョウ葉に含まれる成分の認知機能改善作用 (p.65)

**○日本医事新報 4757号**

- ・質疑応答~精神科: ベンゾジアゼピン系薬長期投与による副作用 (p.63)

**○日本医事新報 4758号**

- ・質疑応答~内科: 早朝高血圧患者への対応 (p.67)

**○日本医事新報 4760号**

- \*特集: ざっくりわかる、皮膚外用薬の選び方
- ・質疑応答~精神科: SSRI・SNRIとベンゾジアゼピン系抗不安薬併用の問題点 (p.62)
- ・質疑応答~内科: 血清クレアチニン値と尿蛋白検査の結果が異なる場合の解釈 (p.67)

**○日本医事新報 4761号**

- ・質疑応答~小児科: 小児に対するビスホスホネート製剤の投与 (p.59)
- ・質疑応答~小児科: 免疫不全患者に対して禁忌とされるワクチンの種類とステロイドがワクチン接種に与える影響 (p.64)
- ・質疑応答~皮膚科: 皮膚科以外の診療科における疥癬患者診療時の注意点 (p.66)

**○日本医事新報 4762号**

- ・質疑応答~内科: 新規糖尿病治療薬の作用機序と使用上の注意 (p.55)

**○薬局 66巻6号**

- \*特集: 徹底理解! SGLT2阻害薬
- \*特集2: 2型糖尿病におけるmultimorbidity

**○薬局 66巻7号**

- \*特集: 褥瘡で外用剤を使いこなす
- ・目指せ感染症マスター! 外来化学療法後の意識障害 (p.129)

**○The Medical Letter 31巻3号**

- ・C型肝炎に対する4剤配合剤 (Viekira Pak) (p.15)

**○The Medical Letter 31巻4号**

- ・減量のための食事療法、薬物療法、および外科的治療 (p.21)

## 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

### スポーツ栄養とサプリメント

医薬ジャーナル 7月号

近年、エルゴジェニックエイド（運動能力増強食品）やサプリメント（栄養補助食品）等の販売量が増加してきた。それに伴い定期的にサプリメントを利用する選手も多くなっており、その傾向は中・高校生にまで及んでいる。食品であるサプリメントには、含有成分が表示されない場合もあり、ドーピング禁止物質を含む可能性もある。輸入品の中には、セールスポイントの“効き目”を実感させる特別な成分を意図的に混入させている可能性も否定できない。わが国では2015年4月から健康食品の機能性表示規制が緩和された。多くのサプリメントや健康食品に機能性表示がされることになるため、今後ますます情報が錯綜するものと思われる。筆者らは、中学生～50歳代までの北海道上位クラスの選手775名を対象にドーピング及びサプリメントについて調査を行った。その結果、サプリメントのイメージを“薬品”とする割合は全体の38.3%、“食品”との認識はわずか25.6%であった。サプリメントに薬品のような即効的な身体能力改善効果を期待している様子が見えかけた。

北海道文教大学大学院健康栄養科  
佐美 靖

### 抜歯、内視鏡、外科手術時の対応

月刊薬事 7月号

2012年に発表された「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」では、観察のみの内視鏡検査では抗凝固薬や抗血小板薬は休薬なく施行してもよいとしている（ワルファリンはPT-INRが通常の治療域である事の確認が必要）。白内障手術では角膜や水晶体に血管がなく出血を伴いにくいことから、抗血栓療法継続下の白内障手術を推奨している。体表の小手術（ペースメーカー植込みを含む）で、術後出血への対応が容易な場合は、抗血栓療法継続下での白内障手術を推奨している。大手術等は出血リスクが高く、抗血栓薬を休薬せざるを得ない。抗凝固療法を中止すると約1%の頻度で血栓塞栓症が起り、その多くは重症であると報告されている。抗血栓薬服用患者に対して、観血的処置・治療の際には出血リスクと休薬に伴う血栓塞栓リスクを配慮しつつ対応しなければならない。各学会からガイドラインは示されているものの、そのエビデンスは必ずしも十分ではない。

藤田保健衛生大学医学部循環器内科  
市川 智英

### 小児に対するビスホスホネート製剤の投与

日本医事新報 4761号

小児においてステロイド性骨粗鬆症は重要な問題となっていますが、その予防と治療に今のところ確立した方法はない。しかし、成人にガイドラインが策定され、ビスホスホネート製剤が第一選択薬とされているように、小児においても有力な治療薬として期待され実際に使用されている。

(1) 小児における顎骨壊死のリスク：顎骨壊死のおよそ94%は骨悪性腫瘍に対する静注ビスホスホネート製剤によるものであり、現在の所小児での顎骨壊死の報告はない。必要な歯科的治療が行われていれば、それほど心配する必要はないと考える。

(2) 成人後に妊娠した場合の胎児に対する影響：現在の所明らかに影響があったとする報告はないと思われる。

(3) 妊娠予定のどれほど前に中止すれば胎児への影響は回避できるのか：ビスホスホネート製剤投与中に妊娠が明らかになった場合には、直ちに休薬する事が望ましい。また妊娠する可能性がある女性に投与する場合には、症例ごとに丁寧かつ十分な説明とインフォームドコンセントが必要とされている。

埼玉県立小児医療センター  
望月 弘

### 妊婦・授乳婦の頭痛に対する診断・治療ポイント

日本医事新報 4762号

妊娠や出産・授乳期は、催奇形性や、児への薬剤移行の可能性を考え、できるだけ非薬物療法を選択することが望ましいが、発作が重度で治療が必要な場合には、薬物療法を行う。急性期治療薬はアセトアミノフェンが勧められる。妊娠期間中のトリプタン使用の安全性は確立されていないが、妊娠初期の使用での胎児奇形発生率の増加は報告されていません。多くの片頭痛患者では妊娠中に片頭痛発作の回数が減少する。授乳婦がトリプタンを使用した場合には、スマトリプタンは使用後12時間、その他のトリプタンは24時間経過した後授乳する事が望ましいとされている。非薬物療法としては、リラクゼーション、バイオフィードバック、鍼治療、アロマセラピーなどがある。薬物療法を選択する場合、必要最小量が基本です。妊娠や出産・授乳期であっても、絶対に薬を飲んではならないわけではないことを患者さんに説明し、頭痛時の対処法について適切な助言を行い、頭痛時の不安を取り除く事が最も大切と考える。

独協医科大学神経内科  
渡邊 由佳

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

## 【日薬幹旋図書】保険薬事典Plus 平成27年8月版

【編著】薬業研究会 【発行】じほう 【発行日】2015年8月

【版型/頁】A5判/1,050頁【定価】4,968円(税込)【会員価格】4,470円(税込)

平成26年からの新しい算定制度に対応し、診療報酬上の後発品や先発・準先発品といった指定を分かりやすくマーク表記。低用量ピルなどの薬価基準未掲載の薬剤も掲載したほか、適応外使用にかかる告知申請が認められているものを適応に記載。

## 日本医薬品集 医療薬 2016

【監修】日本医薬品集フォーラム 【発行】じほう 【発行日】2015年8月

【版型/頁】B5判/3,600頁【定価】15,340円(税込)

医薬品情報の決定版!日本医薬品集 医療薬 2016年版は、【書籍購入者限定アプリ(タブレット推奨)】付き。

## 在宅医療Q&A 平成27年版

【監修】日本薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2015年8月

【版型/頁】A5判/264頁【定価】2,484円(税込)

在宅医療の実務のほか、フレイル、ロコモティブ症候群、サルコペニアといった最新の話、あるいは転倒スコアなどについても新たに解説を加えている。今版では、在宅訪問時に患者への虐待を発見した時にどうするか、といった訪問先で起こりうるテーマも掲載。

## 検体測定室ハンドブック

【編集】岡崎光洋、赤羽根秀宜、三浦雅一 【発行】じほう 【発行日】2015年8月

【版型/頁】B5判/310頁【定価】2,916円(税込)

2014年4月、「簡易な検査(測定)」が行える場所を「検体測定室」とし、「検体測定室に関するガイドライン」にて検体測定事業の実施に関する手続き、留意点等が示されました。薬局等による検体測定事業への参入が相次ぐなか、いまだガイドラインが遵守されていないとして自己点検の実施を求めた通知も発出されている。本書は、「検体測定室に関するガイドライン」を遵守し、検体測定事業を適切に運用できるよう、必要となる事前準備、行政手続きから、関係団体との連携や、検体測定室の衛生・安全管理、測定機器の保守管理・測定手順の整備、受検者の承諾書徴取・測定値報告などの測定業務の工程まで詳細に解説。

## Dr. 林&Ph. 堀の危ない症候を見分ける 臨床判断

【著者】林 寛之、堀 美智子【発行】じほう 【発行日】2015年6月

【版型/頁】A5判/120頁 【定価】2,160円(税込)

患者対応で良く遭遇するさまざまな問題を、NHKの「総合診療医ドクターG」にも出演し、救急の第一線で活躍するDr. 林が解説。百戦錬磨の医師・薬剤師ならではの掛け合いを読み進めるうちに、命にかかわる危険なサインの見分け方が身に付きます。オールカラーで、要点がひと目でわかるイラスト満載。

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

## 改訂 10 版 表解 注射薬の配合変化

【監修】井関 健 【発行】じほう 【発行日】2015年8月

【版型/頁】A5判/797頁【定価】10,800円(税込)

昭和54年の初版から改訂を重ね、注射薬配合変化の基本的な考え方・概念と、医療現場で汎用される注射薬の配合変化一覧とその可否を各種文献・資料を基に、表形式でまとめたロングセラー。今版では、新たに約80品目を加え約450品目の最新の知見を編集、主薬の構造式、分子式、pka、安定性などの資料もさらに充実。

## がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う

【編集】上村恵一、小川朝生、谷向仁、船橋英樹 【発行】じほう 【発行日】2015年7月

【版型/頁】A5判/423頁【定価】4,104円(税込)

①がん患者の多くにあらわれる精神症状を精神腫瘍医がどうアセスメントし、どう考えて処方しているかがわかる症状編、②向精神薬の特徴や注意点、副作用と効果のバランス解説した薬剤編③具体的なエピソードをもとに処方意図、エンドポイントを解説した実践的なケーススタディ編。④薬剤情報(個別の医薬品の特徴について解説)で構成。

## 外来化学療法室 がん薬物療法カンファレンス

【編集】安藤 雄一 【発行】南山堂 【発行日】2015年7月

【版型/頁】B5判/215頁【定価】3,780円(税込)

外来がん薬物療法では、医療者の高い専門性ととともに、多職種連携による治療の質と安全性の向上が求められる。抗がん薬の適正使用、特別な臨床背景、副作用のマネジメントなど、外来化学療法で遭遇する問題を取り上げ、多職種の視点をカンファレンス事例で示した。

## 小児薬の選び方・使い方 小児科専門医の手の内を公開!

【編集】横田俊平、田原卓浩、橋本剛太郎 【発行】南山堂 【発行日】2015年7月

【版型/頁】B5判/360頁【定価】5,832円(税込)

小児の日常診療で頻繁に遭遇する23症状・48疾患について、薬を選び使うまでのステップを経験豊かな小児科専門医がその手の内を公開。いつ何をどう使えばよいか使うべきでないか、わかりやすく解説。改訂4版は薬用量の表にジェネリックを盛り込むなど役立つ情報が充実。

## 処方せんをヒントに! がん患者サポーターケア

### 薬剤師がおこなう処方チェックと服薬指導のポイント

【監修】遠藤一司、川尻尚子 【発行】じほう 【発行日】2015年7月

【版型/頁】A5判/311頁 【定価】3,888円(税込)

①処方監査・服薬指導をするために必要な情報(処方薬情報・患者情報)の整理、②必要な情報を集めるために患者に何をどう聞けばよいのか、③外来治療を受ける患者によく見られる副作用(副作用症状、発現時期、発現しやすい抗がん薬など)と疼痛緩和について、④副作用の予防と対策・日常生活で注意すべき点、⑤患者に服薬指導、副作用ケアの伝え方で構成

# 話題のビタミン・サプリメント(47) 塩(ナトリウム)

Key Word: 熱中症・水分・塩分・経口補水液



熱中症は、急激な温度の上昇や湿度の高い環境に体温調節がうまくいかなくなり起こります。毎年、病院に運ばれる人が増えているようです。重症化すると命を落とす人もいます。熱中症対策に必要な塩を取り上げてみました！

塩はナトリウム(Na)と塩素(Cl)の化合物で、塩化ナトリウム(NaCl)と呼ばれている。ナトリウムは必須ミネラルのひとつで、塩化ナトリウム・重炭酸ナトリウム・リン酸ナトリウムとして体液中に存在する。直接エネルギー源にはならないが、人体に必要な無機質のひとつ。他の物質と置き換えることはできない。

### 【1日の食塩の摂取量】

健康成人: 男性⇒8.0g未満 女性⇒7.0g未満

### 【塩(ナトリウム)の働き】

- 体液の塩分濃度を調整**: 人間の体液は、約0.85%の塩分濃度(生理食塩水と同じ)に保たれており、ナトリウムとカリウムによって調節されている。
- 体液のpH値の調整**: 人間の体液は常にpH7.35～7.45の弱アルカリ性に保たれている。血液などの細胞外液に酸性物質が運ばれると、ナトリウムはこれを中和し、弱アルカリ性に保つ働きがある。
- 他の栄養素の消化・吸収のサポート**: 塩化ナトリウムの元である塩酸は胃液の主成分で、たんぱく質の分解を促す。また、ミネラルなどの栄養素の吸収を助ける。
- 筋肉の働きと神経伝達のサポート**: 脳から神経細胞を通過して筋肉細胞へ筋肉を弛緩・収縮させる信号が送られると、細胞内のカリウムと細胞内のナトリウムが入れ替わることで電気が発生し、これが刺激となって筋肉が弛緩・収縮する。神経組織伝達もカリウムとナトリウムの入れ替え作業によって成り立っている。

### 【体内でナトリウムが不足すると・・・】

- ①めまいやふらつき
- ②頭痛・吐き気
- ③筋肉異常
- ④意識障害・こん状態

### ◆ 熱中症対策の鍵は塩！ ◆

☆**熱中症とは・・・**体は汗をかいいたり、皮膚近くに血流を集めて冷まして体温上昇を防いでいる。ところが、暑い環境や激しい運動によって大量の汗をかくと、体内の水分や塩分の不足(脱水)が起こり、体温が上昇。内臓や脳をめぐる血流も減り、めまいや立ちくらみなど様々な身体症状を起こす。

### ☆水分と塩分の補給

大量に汗をかいた時には、その分塩分も排出されるため、体内の塩分濃度もさがらる。水分補給と塩分の補給も重要。

### ◇ 塩分補給について ◇

「大量に汗をかいた時」塩分が必要ですが、通常の緩やかな汗などでは、普段の食事からの塩分で十分。高血圧や心臓病・腎臓病など普段から塩分摂取の量を制限されている人が、熱中症予防のために塩分を摂るのは注意が必要です。

### 水分補給に！！

#### 経口補水液

水が小腸で吸収されやすいよう糖分も入っており、熱中症の症状が出た場合、一刻も早く飲むとよい。  
 <1日に飲む量> 成人:0.5～1リットル 幼児:0.3～0.6リットル程度  
 <経口補水液の簡単な作り方>  
 水1リットルに対し、塩3グラム、砂糖20～40グラムを混ぜる。レモン汁などを加えると、飲みやすくなります。

- .....参考文献.....
1. 朝日新聞:2015.7.15付
  2. 大塚製薬: <http://www.otsuka.co.jp/>

## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)医薬品 PL センター窓口業務 (7)ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室・ドーピング防止ホットラインの電話は098-963-8935になります。  
お気軽にご利用ください。

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の見学、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

\* \* 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) \* \*

●クロザピンが関連する体重増加の治療 (Eur. J. Clin. Pharmacol. 71(4)389- (2015.4) ): システマティックレビュー  
EMBASE および MEDLINE データベースを用い、2014年1月以前に報告された論文を検索し、採択基準に合致した17論文を抽出した。薬物治療においてはアリピラゾール、フルボキサミン、メオホルミン、トピラマートが有効と考えられたが、各々の薬剤についての研究は無作為化対照試験しかなかった。オルリスタットは男性のみで有効性が認められた。行動学および栄養学的インターベンションもまたクロザピンが関連する体重増加を抑制する上でわずかな効果が認められたが、これらに関する論文は少なかった。各薬剤の有害事象は、アリピラゾールでは不安、うつ病、洞性頻脈など、フルボキサミンでは鎮静、流涎過多、便秘など、メオホルミンでは悪心、嘔吐、下痢など、トピラマートでは悪心、嘔吐、錯感覚など、オルリスタットでは下痢がみられた。今後、より多くの研究を実施し、クロザピンが関連する体重増加に対する臨床的治療ガイドラインを策定する必要がある。

●健常成人被験者にミネラルサプリメントを投与した時のドルテグラビルの薬物動態 ( J. Clin. Pharmacol. 55(5)490-/(2015.5) )

健常被験者24例を2コホートのいずれかに無作為に割り付け、以下4種類の投与を行う非盲検クロスオーバー試験を行った。(1)ドルテグラビル単剤、絶食時、(2)ドルテグラビルと炭酸カルシウムまたはフマル酸第一鉄との併用、絶食時、(3)ドルテグラビルと炭酸カルシウムまたはフマル酸第一鉄との併用、中等度の脂肪を含む食事摂取時、(4)炭酸カルシウムまたはフマル酸第一鉄の2時間前にドルテグラビル投与、絶食時。その結果、血漿AUC<sub>0-∞</sub>、C<sub>max</sub>、C<sub>24</sub>は絶食時炭酸カルシウム併用でそれぞれ39%、37%、39%減少し、絶食時フマル酸第一鉄併用でそれぞれ54%、57%、56%減少した。カルシウムまたは鉄剤サプリメント投与2時間前のドルテグラビル投与(絶食時)は、食事摂取時の投与と同様に影響を減弱させた。ドルテグラビルとカルシウムまたは鉄剤サプリメントは、食事と一緒に投与すれば併用可能である。絶食状態においては、ドルテグラビルはカルシウムまたは鉄剤サプリメントの投与2時間前または投与6時間後に投与すべきである。

●パレニクリンに関連した神経精神系有害事象のリスク (BMJ (8001)13/(2015.3.28) )

公表済みプラセボ対照無作為化試験におけるパレニクリンの神経精神系有害事象および死亡のリスクについて評価するため、システマティックレビューとメタアナリシスを行った。コンピューターデータベースおよびオンライン臨床試験登録 (Medline、Embase など) をデータ源とし、2014年5月9日までの期間を検索対象とした。選択試験の適格基準は、神経精神系有害事象(うつ病、自殺念慮、自殺企図、自殺、不眠、睡眠障害、異常な夢、傾眠、疲労、不安)および死亡の結果報告についてプラセボ群と比較した無作為化試験とした。その結果、有害事象が評価可能であったのは10998例(パレニクリン群5931例、プラセボ群5067例)であった。プラセボと比較して、パレニクリン使用者の自殺 自殺企図(オッズ比1.67)、自殺念慮(0.58)、うつ病(0.96)、易刺激性(0.98)、攻撃的行為(0.91)または死亡(1.05)のリスク増加を示す証拠はなかった。パレニクリンは、睡眠障害(1.63)、不眠(1.56)、異常な夢(2.38)および疲労(1.28)のリスク増加に関連したが、不安(0.75)のリスクを減少させた。リスク差を用いた分析でも同様の知見が認められた。うつ病および自殺念慮には、年齢、性別、民族、喫煙状態、精神病の有無または試験投資者(すなわち、製薬会社またはその他)によるばらつきを示す証拠はなかった。

転載記事

平成27年7月4日(土) 琉球新報

### 医師会と薬剤師会 津梁ネットで連携

適切指導で協定締結

健診結果や受診状況を医療機関が共有する「おきなわ津梁ネットワーク」を活用した医薬連携に取り組もうと、県医師会（宮城信雄会長）と県薬剤師会（神村武之会長＝当時）は6月15日、南風原町の県医師会館で医療提携に関する協定を締結した一写真。協定締結で今後、おきなわ津梁ネットワークに調剤



薬局が参加することになる。協定書の調印式で、宮城会長は「高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、効果的かつ効率的な医療介護サービスの提供が求められている。ネットワークを活用した連

携協力により効率的な服薬指導が可能となり、健康増進を図ることが期待される」とあいさつ。続いて神村会長は「ネットワークに参加することで、医療機関は調剤情報や他病院から出されている薬の情報を確認できる。薬局側は病院の診断内容を確認し、安全な薬を適切に調剤することができる」と効果に期待した。

県薬剤師会は今後、会員に向けて、同ネットワークへの参加を呼び掛ける。

平成27年6月16日(火) 沖縄タイムス

## 医療ネットに薬局も

### 県内調剤情報一元化図る

医療情報を共有化するシステム「おきなわ津梁ネットワーク」を運用する県医師会（宮城信雄会長）は15日、県薬剤師会（神村武之会長）と調剤情報の連携に関する協定を南風原町内で結んだ。

ネットワークに保険薬局が加わることで、調剤情報の一元化が図られ、重複処方や副作用による被害の防止が可能になるといふ。患者の健康寿命の延伸を目指している。

県薬剤師会には保険薬局541件が登録している。

このうちネットワークに加わった保険薬局を登録患者が利用すれば、薬局は健診や検査結果を基にした服薬指導が可能になる。また、医療者側のメリットとしては調剤情報を把握することで重複処方を防ぐことなどが挙げられる。

今後、薬局を加えたネットワークを試験運用した上で、問題がなければ近く本格運用される。

転載記事

平成27年6月29日(月) 琉球新報

# 南風 7月1日から新執筆陣 多彩な話題を提供

さまざまな分野で活躍する執筆者が書き継ぐコラム「南風」の顔ぶれが7月1日から変わります。12月までの半年間、それぞれの立場からの多彩なテーマ、独自の視点で、話題を提供します。オビニオン面で月曜から土曜の掲載で。ご期待ください。  
(左上から下へ曜日ごと)



**金城 幸隆** (株式会社オキネシア代表取締役社長) きんじょう・ゆきたか 1959年那覇市生まれ。那覇高校卒。専門は地域資源を生かしたPB(プライベートブランド)商品の企画開発。特技ウィンドサーフィン・スキー。釣り、散策好き。



**仲松 健雄** (東京沖縄県人会会長) なかまつ・たけお 1952年那覇市生まれ。那覇高校、慶應義塾大学商学部卒業。(株)メディア・ワン代表取締役社長、(株)松栄代表取締役、(株)ブロードリンク沖縄代表取締役社長。一般社団法人関東沖縄経営者協会会長も務める。



**仲村 颯悟** (映画監督) なかむら・りゅうご 1996年沖縄市生まれ。沖縄東中、球陽高校卒業。慶應義塾大学在学中。13歳の時に監督を務めた映画「やぎの冒険」で全国デビューし、現在は最新作「人魚に会える日。」の公開へ向けて奮闘中。



**吉田 洋史** (沖縄県薬剤師会理事) よしだ・ひろふみ 1973年生まれ。大阪府堺市出身。大阪薬科大学卒。縁もゆかりもない宮古島で病院に就職、3年後に独立、開局。現在、那覇市在住。うちな一婿で3児の父親。吉田薬局はんたかわ店管理薬剤師。



**名嘉村 裕子** (株式会社りゅうせきビジネスサービス代表取締役社長) なかむら・ゆうこ CDA。1970年那覇市生まれ。琉球大学卒業。「ワーク・ライフ・ハーモニー」が人生のテーマ。「多くの働く女性が元気になるようなコラムにしたいです」。



**中曽根直子** (風土コーディネーター) なかそね・なおこ 1968年北九州市生まれ。2009年移住。11年、島野菜とオーガニックワインのレストラン浮島ガーデン開店。在来作物の復活栽培、行事料理の継承、南西諸島の雑穀料理教室などに日々奔走。



**武藤 杜夫** (法務省沖縄少年院法務教官) むとう・もりお 1977年東京都生まれ。中学生時代に非行が始まり「おちこぼれ」の道へ。その後、全国を放浪し浮浪児同然の生活を送るが、教育者としての使命に目覚め一転、独学による猛勉強を開始、現職に。



**大城 逸朗** (おきなわ石の会会長) おおしろ・いづろう 1942年台湾花蓮港生まれ。金沢大学大学院修了(理学博士)。専門は地質・古生物学。洞穴探検。自然や石の不思議さについて紹介する。時に「見てきたようなウソをいい」と言われるのが残念。



**安村 光滋** (県ラグビーフットボール協会理事長) やすむら・みつしげ 1966年沖縄市出身。筑波大学体育専門学群卒。高校教師を経、自営業、専門学校講師。趣味は読書、クロスフィット。2015年タッチラグビーW杯日本代表。



**大城 勝太** (エフエム沖縄アナウンサー) おおしろ・しょうた 1980年糸満市生まれ。向陽高校、琉球大学教育学部卒業。朝の情報番組「FINE!」担当。「気づき」と「学び」でなりたい自分になれるがモットー。目指す人間像は謙虚・慎み・温和。



**関谷 綾子** (グリーンワークおきなわ元代表) せきや・あやこ 1958年那覇市生まれ。那覇高校、中京大学、三育学院卒業。産業カウンセラー、認定心理士。「ホスピス入門」(共著)。ライフワークはグリーン(死別悲嘆)ケアの啓発。



**名幸 啓子** (非営利活動法人障がい児サポートハウス ohana 代表理事) なこう・けいこ 1962年嘉手納町生まれ。近畿大学九州短期大学卒業。医療・福祉・教育を受ける側の立場から福祉事業へ乗り出す。ママたちの支援者として活動中。

※本会理事の吉田洋史氏が連載執筆していきます。お楽しみ下さい。



転載記事

論壇



伊ソ 狩保

琉球大学が県内の植物資源の情報をまとめ、インターネット上で公開するという、本紙の記事を読み、思わずほくそ笑んだ。和名や方言、生物分類、性状、薬用部位、成分、薬理機能性などの情報を記載、現時点で667種類の植物の登録があるとい

う。国内唯一の亜熱帯地域の沖縄において、亜熱帯に存する生物資源を、食品・保養・医療などに多角的な利用を促し、沖縄型総合健康産業の拠点の形成を目指す大型プロジェクトの始動である。

草・薬草は畑や屋敷の周りに自生し、一年を通じて利用される。沖縄のお年寄りには「これは滋養になるよ」とか「クンチ（根気・元気）がつくよ」と効用を説きながら食べ物をすすめる。また食べ物について「ウニジー（補い・補益）」「クスイムン（薬に

ウチナー薬草再認識へ

効用伝える薬剤師会の取り組み

復活の一つの道でもある。県薬剤師会の女性薬剤師部会では、ウチナー薬草の再認識のため、二つの活動に取り組んでいる。一つはミニ薬草園である。薬草にじかに触れ、身近に感じることで、さらに次世代に引き継ぐため、アスファルト敷きの那覇近郊にこそ薬草園が必要だと、常々話し合っていた。県薬剤師会長からの提案で、手始めに薬剤師会館の敷地にミニ薬草園を作ることにした。石ころだらけの小さな斜面地に、慣れぬ手でスコップを抱え、持ち寄りの薬

草を植えた。雑草と戦い、台風に負け、試行錯誤を繰り返して、今ではやっとなクナ、アロエ、ハママーチ、クワンソウ、フーチバー、ウコンなどが根付いている。二つ目は薬草の効果の勉強である。1種ずつ薬草を調べて「おきなわ薬剤師会報」（隔月発行）に連載中である。やっとな20種の薬草と知り合った。こんなほぼそとした私どもの勉強が、全く意味をなさないほどの、琉大の大容量の確たる情報！ あわよくばバクッて、会報への執筆が簡単にできるのでは、とデータベースの公開を待ち望むところである。さらに那覇近郊にウチナー薬草園ができて、県民の憩いの場所になることを期待するものである。

（浦添市、薬剤師、63歳）

2015・8・1 沖縄タイムス

狩保伊ソ氏（女性薬剤師部会副部長）

転載記事

平成27年7月1日(水) 琉球新報

## 「コンビニ受診」抑制に効果 開設5年 7割が救急回避

### 県小児救急相談「#8000」

夜、子どもが熱を出し、救急外来に行くべきか迷った時に相談できる、県小児救急電話相談事業（#8000）が7月で開設5年を迎える。県から受託する県医師会はこのほど、過去5年の相談内容をまとめた。事業が始まった2010年度は1日当たりの相談が16件だったが、その後21〜23件で推移。相談者から5件を抽出して、翌日9時以降に受診したかを調査し、14年度で「受診しなかった」と「翌日9時以降に受診した」を合わせて7割を超え、救急性が低いにもかかわらず救急受診する「コンビニ受診」の抑制に一定の効果を見せている。

「#8000」は毎日午後7時〜11時受け付け。看護師が対応し、判断が難しい場合は医師が支援する。14年度の相談内容では、病気で発熱が最も多く3015件あった。続いて嘔吐885件、咳739件、皮膚の問題687件だった。また事故では打撲が627件で最も多かった。ほかにも薬についての相談が25.4%だった。すぐに救急受診するよう助言する割合は33.5%だった。

も座薬396件、経口薬245件あった。このため、県医師会はことし3月から、県薬剤師会と協力し、薬に関する相談に薬剤師が支援する体制を取っている。助言内容については、症状が悪化した時に受診するよう勧めることが最も多く全体33.5%、翌日かかりつけ医の受診を勧めることが25.4%だった。すぐに救急受診するよう助言する割合は26.4%だった。翌朝9時までに受診した割合は34.1%だった。翌朝9時以降に受診した割合は39.5%だった。受診していない割合は39.5%だった。

ことも7.7%あった。少数だが救急車を呼ぶよう伝えることも3件あった。救急外来をしている医療機関の割合は0.7%だった。相談者から5件を抽出して、その後の対応を尋ねる調査は1810件を対象に実施。連絡が取れたのは1165件で、「受診しなかった」が39.5%、「翌朝9時以降に受診した」が34.1%だった。「翌朝9時までに受診」は26.4%だった。

小児救急相談件数の推移

年度	年間件数	1日平均件数
2010年度	4,389	16
11	7,865	22
12	7,472	21
13	8,218	23
14	7,795	22

助言内容 (複数回答)

内容	割合
症状悪化時受診を	33.5%
翌日かかりつけへ	25.4%
すぐに救急	26.4%
その他	4.7%
医療機関の照会	0.7%
応急処置の助言	25.0%
心配なら救急	3.0%

相談後、どう対応したか?

対応	割合
翌朝9時以降に受診	39.5%
翌朝9時までに受診	34.1%
受診していない	26.4%

平成27年7月7日(火) 琉球新報

## 県薬剤師会会長に 病院出身・亀谷氏 「新しい風を」

県薬剤師会の第19代会長に、亀谷浩昌氏(65)＝写真＝が就任した。亀谷氏は琉球大学付属病院、沖縄療育園で勤務してきた。薬局勤務の薬剤師が多い同会で、病院出身の会長就任は初めて。亀谷氏は「新しい風を吹き込みたい。分からないことは、知っている人の力を借りていきたい」と話した。

6月21日に開催された総会で就任した。同会は会員1100人。亀谷氏は「薬局が中心となり、地域住民が自ら健康増進を図っていくようなセルフメディケーションを支援する役割を築いていきたい」と話した。

那覇市出身。金沢大学薬学部を卒業後、琉球大学付属病院に勤務。2010年に定年退職後は、沖縄療育園に勤める。ことし6月、会長就任に合わせて退職した。13年から那覇地区薬剤師会会長を務めていた。



亀谷浩昌さん

## 薬剤師会長は亀谷氏 技能向上へ研修強化

「上へ寄与したい」と抱負を語った。5期10年間務めた神村武之前会長を引き継ぎ19代目。歴代会長は全員が開局薬剤師だったが、亀谷会長は琉球大学医学部付属病院の薬剤部を定年まで勤めた経歴があり、初の病院薬剤師出身となった。亀谷会長は「専門である薬の話については医師が薬剤師の意見を聴く風景を日常にするのが夢」と述べ、任期中は研修や意識改革、広報に力を入れる。

那覇市安謝出身。2013年に那覇地区薬剤師会長となり、協会では常任理事を務めていた。

県医師会の田名毅理事「「つながりにくい」という（首里城下町クリニック第一院長）は「救急外来の混乱を防ぐ予防策になっていないのでは」と話す。と話し、何度かかけ直すことなどを求めている。

平成27年7月2日(木) 沖縄タイムス

## 第21回 暮らしの中の薬草学

### 身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

#### ハママーチ：リュウキュウヨモギ

学名	Artemisia campestris L.
科名	キク科
属名	ヨモギ属
使用部位	葉、果穂
有効成分	シオネール・クロロフィル クロモン誘導体



#### ハママーチ：リュウキュウヨモギの特徴

アジア地域の川岸・海岸に自生する多年草。沖縄本島周辺の久米島や慶良間などの海岸の砂地に生える。茎は木質化してよく分枝し、地上をほうのように伸びる。高さ20～70cm。葉は2～5cmの根生葉で2回羽状に細かく裂け、裂片は細長い糸状。裏面には白色の絹毛を密生する。春先に出た葉はヨモギに似ていて、羽状に細かく裂ける。薬効はヨモギとは異なる。秋には茎先に花穂を出し、頭花は30～60cmの疎らな円錐花序となり、径1～2mmの黄緑色の花を密生させる。総苞片は3～4列、内片は楕円形。香りは爽やかで、味はメント風で少し苦味があり、シャキシャキとした食感をもつ。Artemisiaはギリシャ神話の女神アルテミスArtemisからきている。この属の植物が婦人病に効くということから名づけられた。種小名のcampestrisは「原野に生える」という意味である。別名を新高蓬ニイタカヨモギという。胆汁分泌促進作用があり、黄疸、肝炎、胆石症や、むくみなどに効くとされてきた。沖縄では見た目が松の葉に似ていることからハママーチ

と呼ぶ。またインチンとも呼ばれる。漢方薬に使われる、茵陳蒿カワラヨモギとは同族植物で、外部形態が類似しているため識別が難しい。しかし、種類も薬効も異なる。現在では、薬緑体DNAのPS-ID領域の塩基配列によって、カワラヨモギとリュウキュウヨモギの区別が可能である。

参考：花図鑑・ウチナー通信中部大学応用生物学 南基奏

#### リュウキュウヨモギの抗酸化能の評価

リュウキュウヨモギには6種のフェノール性物質が含まれていることが明らかにされた。抗酸化成分について、スーパーオキシドアニオン、ヒドロキシラジカルなどのラジカル消去活性の比較を行い、各成分の構造とラジカル消去活性の関連性を明らかにした。リュウキュウヨモギのクロモン誘導体は、ラジカル消去活性が強くスーパーオキシドの50%阻害濃度は0.33μMであった。

参考：琉球大学安仁屋洋子他・放送大学中谷延二

沖縄県工業技術センター・大阪市立大学菊崎奏枝

#### リュウキュウヨモギのマルターゼ阻害活性・スクラーゼ阻害活性・リパーゼ阻害活性・ACE阻害活性・抗酸化活性

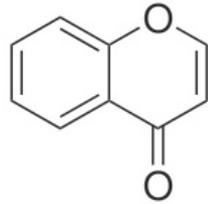
土壌・時期・日照などについて比較検討した結果、マルターゼおよびスクラーゼ阻害活性に関しては、夏季収穫かつ自然日照条件の場合に、リパーゼ阻害活性に関しては冬季収穫の場合に、ACE阻害活性および抗酸化活性では、夏季収穫かつ自然日照かつジャーガル土壌栽培の場合に、高活性の収穫物が得られることが認められた。また、リュウキュウヨモギは抗糖尿病型の薬草であると考えられた。

クラスター分析を行った結果、各ピークの保持時間およびUVスペクトルより、ネオクロロゲン酸、クロロゲン酸、イソクロロゲン酸であると推定された。また、カフェ酸誘導体である可能性も示唆された。これら成分が、機能性に関与する主要な成分であることが認められた。

参考：沖縄県工業技術センター研究報告書

## クロモン誘導体

クロモンは、ベンゾピランの誘導体で、ピラン環にケト基が置換している。クマリンの異性体である。クロモンの誘導体は総称してクロモン類として知られる。全てではないが、ほとんどのクロモン類化合物はフェニルプロパノイドでもある。黄色植物色素の基体であるフラボンやフラボノールなどはクロモン誘導体である。



クロモン(Chromone)

参考：世界大百科事典・Wikipedia

## 骨形成促進作用を有するクロモン誘導体

クロモン誘導体の化合物又はその薬理上許容される塩は、毒性が低く、骨形成を促進させる作用を有しており、骨吸収能に比して骨形成能が低下したことに伴う代謝性骨疾患の予防若しくは治療に有用である。このような代謝性骨疾患としては、骨粗鬆症、線維性骨炎（副甲状腺機能亢進症）、骨軟化症、更に全身性の骨代謝パラメーターに影響を与えるページェット病が挙げられる。特に、骨形成能が低下した老人性骨粗鬆症に有用である。また、整形外科領域の骨折、骨欠損及び変形性関節症などの骨疾患の治療促進、及び歯科領域における歯周病治療や人工歯根の安定等にも応用が期待できる。

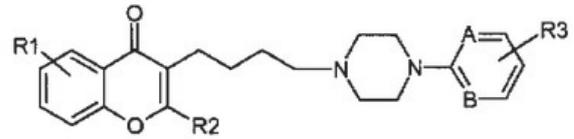
参考：特許検索・第一三共株式会社 川上勝浩他

## クロモン誘導体による神経細胞死抑制作用

ある種のクロモン誘導体及びその薬学的に許容される塩は、神経細胞死抑制効果を有する。神経栄養因子を受け取れなくなった（又は神経栄養因子が不足した）場合に誘起される神経細胞の死を成因とされている疾患、例えば、アルツハイマー病、ダウン症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症等の治療に有効である。この化合物の経口投与での急性毒性試験をICR系マウスを用いて行ったところ、実施例で得た化合物は1g/kgの経口投与で死亡例はなかった。極めて毒性が低く安全性の高いものである。また、糖尿病ラットの神経伝導速度を改善することが確認され、糖尿病患者に合併する末梢神経障害に有効であることが示された。

参考：jtokkyo 株式会社ツムラ平木祐輔 他

## クロモン誘導体の調製方法及び治療応用



強力なドーパミンD3作動性受容体リガンドを有するクロモン誘導体含有の薬剤組成物を用いて、様々な神経学的及び精神医学的状態の治療のためのドーパミン受容体DRD3 (DRD3) のアゴニスト、部分的アゴニスト又はアンタゴニストとしてのその治療応用に関する研究が行われた。結果統合失調症及びアルツハイマー病のような神経変性病態と関係している認知症状を改善できると考えられた。DRD3の機能の向上は、DRD3のアゴニスト又は部分的アゴニストの使用によって達成できることから、鬱病にとっての有効な治療となり得る。パーキンソン病の治療薬とも見なされる。さらに、DRD3アゴニストはラットにおいて神経組織発生を増加させると実証されていることから、この疾患の進行を遅らせる薬物にもなり得る。加えて、本態性振戦の効果的な治療薬になり得る。

情動及び認知過程に関与している辺縁系の受容体DRD3によって行われるドーパミン伝達の選択的な調節を考えると、クロモン誘導体の化合物は、様々な治療応用に適し且つ錐体外路、下垂体前葉又は植物性機能系（例えば、最後野）のドーパミン作動性伝達を妨げることがない。従って、クロモン誘導体の化合物を、DRD3受容体が関わる精神病状態などの神経学的又は精神医学的な疾患、状態又は障害の治療のための医薬組成物及び薬物の調製に使用することができる。

参考：ekouhou.net P・F・メディカマン

## クロモン誘導体のメラノサイト増殖抑制効果

シミ抑制技術として、クロモン類に着目し研究した。クロモン誘導体がシミの原因物質であるメラニン色素の発生を抑制することが確認できた。SCF（幹細胞増殖因子）の情報伝達をブロックして、メラノサイト（メラニンを作る細胞）の増殖を抑制する作用をもつ、クロモン誘導体「AMクロモン」を開発した。高いシミ生成抑制効果を臨床試験で確認した。

参考：Kao・Yasake・樋口和彦、宮内勇貴 論文

# Spot Light

## 上原 繁猛 先生

偶然の出会いをチャンスに変えていく  
信念の男！



うへはら しげたけ  
昭和23年生まれ 那覇市出身 昭和薬科大卒

沖縄市から県道329号線をひたすら真っ直ぐ走った先に、「ありました！」黒い建物「沖縄そば専門店、与那原家」が。今日はきっと美味しい沖縄そばが食べられるに違いないと期待に胸を膨らませて・・・

昭和23年上原家の長男として生まれ、幼少時代はヤマグー（きかん坊）だった。幼稚園時代に国頭村辺土名に移り住んで、すっかり「ぱびぷべぼの山原方言」にはまってしまう。上原氏の口から思わず飛び出した『ぱびぷべぼの山原方言』「ポーぬさちから ピーぬとうんじてい」→「棒の先から火が飛び出して」。どこか昔聞いた宮古方言の響きにも似たコミカルで暖みのある方言に一同思わず笑い転げてしまった。しかしその後、那覇に戻った時に学校で方言を笑われたので、ぴたっと方言をやめ標準語をしゃべるようになった。

小学校2年の時、ペリー市場（那覇市のゆいレール奥武山公園駅北西側にある「山下町」あたり）の真ん前に家を新築した時に薬局に

店舗を貸したのが最初の偶然であろう。その後、借り主の薬局経営者が店を閉めたのを機に、薬剤師免許証を借りて実家そのまま薬局経営を続けたので、上原氏は「偶然の縁」で薬剤師への道を進んだのである。

昭和薬科大学を卒業後、すぐに沖縄に戻り実家の薬局を継いだ。その頃の薬業界は、すぐそこまで「乱売」の波が押し寄せてきているのを知ってか知らずか「定価販売」「安売り・チラシ禁止」「定休日を守る」などという同業者同士の規則に縛られていて、旧態依然の古い体質のままであった。上原氏は、古い殻をうち破り「安売り・チラシ販売・年中無休」と次々と手を打ち、薬局は順調に売り上げを伸ばしていった。



(中央が上原氏)



昭和薬科学生時代吹奏楽部に所属。吹奏楽部のメンバーとの思い出の写真 (左から3人目が上原氏)

29歳の時、常々薬局内でこもりっきりの薬局経営は性に合わないと思っていた上原氏は、借金催促という大義名分を持ち（内心は東京進出の夢を持ち）単身上京した。そこで偶然出会ったのが「回転寿司」であった。借金の相手が回転寿司店を経営していたのだ。すっかり回転寿司の虜になった上原氏は自分でも経営したいと思うようになった。その当時の沖縄では「にぎり寿司」は全く一般人には馴染みがなく、周囲からは反対意見ばかりであった。「七転び八起、何があっても最後は必ず立つ」との信念のもと、昭和53年、東京上京からわずか1年、30歳で「だるま寿司普天間店」をオープンさせた。

職人達の離反などがあってなかなか一筋縄ではいかない「寿司店経営」であったが、「七転び八起！」の精神そのままに困難を乗り越えていった。「寿司店経営」を陰で支えたのが同時に経営していた「薬局」で、「順調な薬局経営」があったから思い切ったことが出来た、と振り返る。困難を乗り越えた後は「だるま寿司」は順調に売り上げを伸ばし、店舗を増やしていった。

昭和59年、再び偶然の出会いが上原氏を新しい船出へと駆り立てるのである。

友人から紹介された青森県の製麺工場の社長S氏の「会社に体力がある間に次の手を打つ」との経営方針に感銘し、「次の手」として脳裏に浮かんだのが「沖縄そば」であった。幼い頃の思い出とダブる大好きな沖縄そば、常に身近にある沖縄そば店を次の一手とする

ことに決めた。

上原氏は、まず肝心要のスープ作りに取りかかった。試行錯誤を重ねた末、かつおだしのきいた透明なスープと、豚骨をじっくり煮込んで白濁したスープの2つを完成させた。昭和60年、S氏と出会ってからわずか1年で、長い間空き家であった元倉庫を改装し「沖縄そば専門店 与那原家」をオープンさせた。

スープは一つに決めることが出来ず、そのまま「選べるスープ あっさり味 こってり味」でスタートし、これがまた評判になったのである。

与那原家をオープンさせてから30年の年月が流れたが、その間に、2003年（平成13年）モノレール開業に伴う土地買収により薬局は閉店、80年代後半のバブル期に入ると人々は高級寿司店を訪れるようになり、回転寿司離れが進んでいったので早々にだるま寿司も閉店。すでに次の一手を打っていた上原氏に迷いはなかった。昔からそば処として有名だった与那原町で、「沖縄一のそば屋にする」と宣言し、「もっと良いものを！」「もっと改善を！」と日々努力を重ねている。薬剤師として培った知識も「食育」という場面で大いに役立っているという。

「常にお客のニーズがどこにあるのかを見極め、そのニーズに応える努力を惜しまない。現状維持は退化である。」未だに進化を続ける上原氏の言葉は、味わい深く胸にしみいる言葉であった。

（聞き手：広報委員会 池間 記世）



勉強会の打ち上げにて  
40才の頃の上原氏(中央)



上原氏が営む与那原家の前で記念撮影  
右から2人目が上原氏



## 趣味遍歴



たまき薬局  
玉城 純

前号のリレー随筆担当、潜り仲間の吉富弓江先生からのご指名でしたのでペンを取ることに。

ダイビング繋がりということで、まずはこの話題から。潜り始めたのは高校2年の夏休みでした。その頃はまだ、色とりどりの魚やサンゴなど、いわゆるダイビングの王道を楽しむ普通のダイバーでした。某R大学の海洋学科に所属した頃からやや傾向が変わっていきます。研究室では海洋天然物化学専攻で、海綿、ウミウシ、ホヤがメインの研究対象でした。必然的に海底や、岩場の壁面を集中的に観察することになり、徐々に魚やサンゴへの興味がなくなっていきます。

誰も潜ったことのない場所にこそ、誰も調査したことがない海綿やウミウシがいるはずという理由で潜った場所もいくつかあります。その中でも印象的な場所が平安座島石油基地のシーバースや糸満大度海岸沖です。

シーバースは、タンカーが泊まる沖合船着き場のような所で海中から何十本もの巨大な柱がそそり立ち、海上の構造物を支えています。その柱に付着した海綿やホヤを採取するのですが、水深35メートル前後の薄暗く視界もあまり良くない海中で沢山の柱が上下にそびえ立つ中っていると、自分が海底に向かっていているのか、海面に向かっていているのかの感覚が一瞬なくなり、気が付けば予定外の深さに落ちていることもありました。

糸満大度海岸のリーフ外は、20メートル近くまで急激に深くなりダイナミックな地形が広がる場所で大好きな場所ですが、やはり場所が場所だけに足を引っぱられそうである前は少し勇気がいります。リーフの狭い切れ目から凄い勢いの引き潮に乗って、両側に広がるサンゴの間をすり抜け、サーモクラインのゆらゆらを感じながら外海に行くあの感覚は今でも忘れられません。リーフ下はいわゆるガレ場になっていて切り立った根やその下がトンネルになっていたり洞穴になっていたり、地形派ダイバーにはかなりお勧めの

ポイント。しかし、潮の時間を間違えて引き潮に阻まれて戻れなくなったあげく、エア切れになったことがトラウマになり、それ以来一度もそこには潜っていません。

就職してからも数年はダイビング生活を続けていましたが、2004年にロードバイクと出会い、その魅力に取りつかれてからはダイビングと決別、その後いつの間にかトライアスロンにどっぷりとはまっていました。今では「TEAMちんすこう」というトライアスロンチームに所属。もちろん、主宰は本当のちんすこう屋さん、「新垣カミ菓子店」の若社長。メンバーは北海道からもちろん沖縄まで、全国津々浦々に200人近いメンバーがいて、県内外や国外のトライアスロン、マラソン、自転車レースなどに参加しています。私が住む北部地区にもたくさんメンバーがいて、毎週練習会を開催しています。週に一度の数時間ですが、仲間と泳いだり走ったりすることがストレス解消の素晴らしい時間になっています。「TEAMちんすこう」のFacebookページやホームページもありますので、興味がある方は一度のぞいてみて下さい。

日々の多忙の中でなかなか十分な練習時間は取れませんが、それなりに充実したトライアスロンライフを送っています。いつまで続けられるか分かりませんが、体がついていく限り、生涯スポーツとして続けて行けたらいいなと思っています。



**次号には、玉村澄恵 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！**

## 卒煙物語 その53

### 19.9%という数字

文：卒煙へようこそ担当

えんこ

時代はどんどん進んでいます。  
どうしてこんな時代になったのか、  
それなりの理由があります。  
「卒煙」を知らないではすみません。  
さあ、一緒に取り組みましょう！



子どもたちの多くの質問に、「タバコはどこでつくられているのですか」「なぜ作られ続けているのですか」があります。タバコ栽培の主要生産国として、たばこアトラスという日本公衆衛生協会が発行された本を参考にしてみると、中国、インド、ブラジル、アメリカ、トルコと続いて、世界のタバコの2/3がこの5か国で生産されていると書かれています。続いて、これらの国の成人男性喫煙率をみてみますと中国が60%以上、インドが20-29%、ブラジルは30-39%、アメリカは20-29%、トルコは60%以上となっています。生産量が多いけど喫煙率が低い国はどこで消費させているのでしょうか。この書では、「教育のある男性は、はじめにたばこをやめている。その結果、喫煙は、より教育程度の低い、より貧しい男性の習慣となってきている」とも書いています。同じ参考書で、減少傾向にある先進国のアメリカでは、1999年で26%までに減少し、日本の比較できる年度の2000年では、54%という数値を紹介しています。

日本たばこ産業（JT）が、平成27年度「全国たばこ喫煙者率調査」を発表しました。男女合わせた喫煙率が19.9%とのこと。最

近の喫煙率は、過去三年間をしてみると、平成24年に21.1%、平成25年に20.9%、平成26年に19.7%と減少傾向でした。今年は19.9%となり、20年ぶりに増加したとの発表です。ただこの数字は、統計上の誤差の範囲で、減少傾向はこれまで通りと分析が発表されています。近年アメリカの数値をネットで検索してみると、成人全体は19.0%という数値が出てきました。諸外国に比べ喫煙率の高い日本と言われてきましたが、現在喫煙率は、アメリカと肩を並べるほどの数値になっているようです。

私が担当している沖縄本島の学校の子どもたちの家族の喫煙率は、いわゆる都市部なので数値が低く、都市から離れた地方では高い傾向にあります。この差を世界的な傾向から見ると、地方の教育が都市に比べ行き渡っていないと単純な答えが当てはまるのでしょうか。喫煙率に教育が、間違いなく関与することから、平等で行われる義務教育のうちにたばこ問題をしっかり盛り込まれなければ、長寿県沖縄の復活は望めないと言っても過言でないと思われます。現状をしっかりと受け入れて、改善の余地があればしっかりやる必要があります。

卒煙者の経験談を募集しています。皆様の声が大きな励みとなることでしょう。下記までお寄せ下さい。

e-mail [kouhou@okiyaku.or.jp](mailto:kouhou@okiyaku.or.jp)

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10

TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932

薬事情報センター内 卒煙へようこそ担当 えんこ 行き

**平成27年6月**

- 1月○九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 神村会長、吉田副会長
- 2火○「薬と健康の週間」打ち合わせ会議 那覇市保健所 田場専務理事、稲福・大城両係長
- 平成27年度第1回広報委員会
- 3水○沖縄県薬業連合会代表者会議 沖縄都ホテル
- 平成27年度第3回定例幹事会 県薬研修室
  - 社会保険診療支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏
- 4木○個別指導（2薬局） 那覇第一地方合同庁舎 吉田副会長
- 平成27年度試験検査センター連絡協議会（5日迄） ホテルメトロポリタン高崎（群馬県） 田場専務理事
  - 平成27年度「健康づくり支援事業」第1回推進委員会 沖縄県総合福祉センター 大城恭子氏
- 5金○八重山地区学術講演会 ホテル日航八重山
- 学術講演会～バソプレシン受容体拮抗薬の可能性を考える～ 沖縄県立八重山病院
  - おきなわ津梁ネットワークに関する意見交換会 沖縄県医師会館 吉田副会長、笠原理事
- 6土○平成27年度沖縄県小児保健学会 沖縄小児保健センター
- 7日○南部地区薬剤師会総会 県薬研修室
- BLS（Basic Life Support；一次救命処置）講習会（アドバンス） おきなわクリニカル シミュレーションセンター
- 8月○医療保険委員会 県薬会議室
- 9火○会計監査 県薬会議室 事務局前原
- 10水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会 社会保険診療支払基金沖縄支部 神村会長
- 11木○平成27年度第1回健康長寿おきなわ復活県民会議 沖縄県庁舎 吉田副会長
- 会報取材 Spot Light 武内尚子氏 eclat女性専用トレーニングジム 宮城常務理事、池間記世委員（広報委員会）、大城係長
  - 個別指導（2薬局） 沖縄県庁舎 吉田副会長
  - 中部地区医療連携講演会 ラグナガーデンホテル 共催：バイエル薬品(株)
- 12金○医療介護総合確保促進法に基づく都道府県計画に対する地域の関係者の意見聴取 沖縄県庁舎 江夏常務理事
- 会計監査 県薬会議室 事務局金城
  - 「第6回世界のウチナーンチュ大会」第1回実行委員会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 稲福係長
  - 会報取材 Spot Light 上原繁猛氏 与那原家 宮城・亀谷各常務理事、池間記世委員（広報委員会）、大城係長
  - 薬学部設置要望について浦崎副知事と面会 沖縄県庁舎 神村会長、田場専務理事、山城課長
  - Tolvaptan Heart Forum in Okinawa2015 ラグナガーデンホテル 共催：大塚製薬(株)
- 13土○平成27年度第3回定例理事会 県薬研修室
- 14日○第43回学校薬剤師部会総会・講演会 県薬研修室

- 15月○ **沖縄県医師会・沖縄県薬剤師会 おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携に関する協定調印式** 沖縄県医師会館 神村会長、吉田副会長、笠原理事
- 16火○ **臨床薬剤師育成研修会** (株)ダイコー沖縄
- 17水○ **なごみ会主催県民健康フェア・第5回実行委員会** 沖縄県医師会館 笠原理事、稲福係長  
○ **平成27年度第4回臨時幹事会** 県薬会議室
- 18木○ **平成27年度沖縄県薬物乱用防止協会総会・表彰式** 県薬ホール 前濱常務理事  
○ **第71回那覇地区薬剤師会臨床講座** 県薬研修室
- 19金○ **平成27年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議** 日本薬剤師会 我喜屋理事、佐藤雅美 (薬学生実務実習受入委員会)  
○ **学術講演会～バソプレシン受容体拮抗薬の可能性を考える～** 沖縄県立八重山病院
- 20土○ **北部地区薬剤師会定時総会・懇親会** ホテルゆがふいんおきなわ 神村会長、山城課長
- 21日○ **沖縄県薬剤師会第72回通常総会・懇親会** 県薬ホール・研修室
- 23火○ **沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊** ひめゆりの塔構内 長田紀昭氏、亀谷会長、宮城・村田各常務理事、吉田理事、神村武之前会長、吉田久子氏、大城係長  
○ **戦後70年沖縄全戦没者追悼式** 沖縄県営平和祈念公園 (糸満市摩文仁) 亀谷会長、宮城常務理事、吉田久子氏、大城係長  
○ **日本薬剤師会有功賞伝達授与** サザンビーチホテル&リゾート沖縄 (糸満市) 大城清吉氏 (被表彰者)、亀谷会長、宮城常務理事、吉田久子氏、大城係長
- 24水○ **沖縄県薬業連合会理事会・総会・懇親会** 沖縄都ホテル  
○ **沖縄県中部地区 Respiratory Forum** ラグナガーデンホテル 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
- 25木○ **個別指導 (2薬局) 那覇第一地方合同庁舎** 吉田理事  
○ **第42回沖縄うふいち会** ザ・ナハテラス 共催：アストラゼネカ(株)  
○ **社会保険診療支払基金沖縄支部審査委員会** 社会保険診療支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 26金○ **沖縄小児神経研究会特別講演会** 沖縄県医師会館  
○ **社会保険診療支払基金沖縄支部審査委員会** 社会保険診療支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 27土○ **第85回日本薬剤師会定時総会 (28日迄)** ホテルイースト21東京 神村武之前会長、吉田理事  
○ **平成27年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26街頭キャンペーン** パレットくもじ前広場、イオン名護店、北谷町美浜多目的広場、マックスバリューとよみ前、サンエーショッピングタウン宮古島店前、サンエー石垣店前
- 28日○ **実務実習指導薬剤師養成講習会** 県薬研修室  
○ **実務実習指導薬剤師更新認定講習会** 県薬ホール  
○ **琉球大学医学部再生医療研究センター・オープニングセレモニー・内覧会** 琉球大学医学部再生医療研究センター 亀谷会長  
○ **琉球大学医学部再生医療研究センター完成祝賀会** がじゅまる会館 亀谷会長  
○ **第122回健康とおくすり相談会** サンエー那覇メインプレイス 担当：那覇地区薬剤師会
- 29月○ **社会保険診療支払基金沖縄支部審査委員会** 社会保険診療支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏

- 29月○しごとミュージアム&グッジョブ、サマースクール事前打ち合わせ会議 県薬研修室  
前濱副会長、宮城・我喜屋各常務理事、勝連貴子氏、上里美矢子氏、神谷朝斗志氏、大城  
なつき氏、翁長里緒氏、大城係長
- 30火○地域医療構想の策定に係る取り組み等についての説明会 沖縄県庁舎 江夏副会長

## 平成27年7月

- 2木○沖縄県歯科医師会へ役員就任挨拶 沖縄県歯科医師会館 亀谷会長、前濱・江夏・外間各  
副会長、山城課長
- 会計監査 県薬研修室 仲程みちの税理士、事務局金城・前原
  - 沖縄県医師会へ役員就任挨拶 沖縄県医師会館 亀谷会長、江夏・外間・前濱各副会長、  
山城課長
  - 個別指導（2薬局） 沖縄県庁舎 吉田理事
  - 平成27年度沖縄県警察官友の会役員会（総会）・懇親会 サザンプラザ海邦 大城監事
  - 石垣島循環器講演会 ホテル日航八重山
  - 第3回関節リウマチ治療薬適正使用セミナー ラグナガーデンホテル 共催：アステラス  
製薬(株)
- 3金○薬学生実務実習 会営薬局医療センター前
- OPD研究会in八重山 ANAインターナショナル石垣リゾート
  - 青年薬剤師部会第10回通常総会 和民・那覇新都心店
- 4土○未来を広げよう！グッジョブ体験inなは なは市民活動支援センター 前濱副会長、勝連  
貴子氏、上里美矢子氏、神谷朝斗志氏、大城なつき氏、翁長里緒氏、大城係長
- 第12回沖縄小児内分泌研究会 ホテル日航グランドキャッスル 共催：JCRファーマ(株)
  - 平成27年度第2回医療安全対策委員会 県薬研修室
- 5日○平成27年度新任・新人薬剤師研修会 県薬ホール
- 6月○沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局長訪問 沖縄県立南部医療センター・  
こども医療センター 亀谷会長、大城係長
- 社会保険診療報酬支払基金より来訪 県薬会長室 亀谷会長
- 7火○会営薬局へ役員就任挨拶 会営うえはら・会営薬局とよみ 亀谷会長、山城課長
- 女性の翼会長来訪 県薬会長室 亀谷会長、前濱副会長
  - 平成27年度第5回定例幹事会 県薬研修室
- 8水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会 社会保険診療支払基金沖縄支部 亀谷会長
- 生涯学習フェスタ「しごとミュージアム」 沖縄コンベンションセンター展示棟 前濱副  
会長、宮城常務理事、実務実習薬学生、大城係長、事務局上原美也子
- 9木○沖縄県保健医療部長へ役員就任挨拶 沖縄県庁舎 亀谷会長、江夏・外間・前濱各副会長、  
山城課長
- 琉球病院新病棟完成記念式典・記念講演及び内覧会 琉球病院 亀谷会長、山城課長
- 10金○第13回OCEAN研究会 沖縄都ホテル 共催：吉富薬品(株)
- 11土○平成27年度医療通訳ボランティア養成講座（公財）沖縄県国際交流、人材育成財団講師：  
阪本崇彰氏
- 平成27年度第5回定例理事会 県薬研修室

- 12日○BLS (Basic Life Support ; 一次救命処置) 講習会 (アドバンス) おきなわクリニカルシミュレーションセンター
- 13月○豊見城中央病院へ役員就任挨拶 豊見城中央病院 亀谷会長、前濱副会長、山城課長  
○なごみ会主催県民健康フェア打ち合わせ会議 県薬会議室 笠原理事、稲福係長
- 15水○なごみ会主催県民健康フェアに係る新聞社周知依頼訪問 沖縄タイムス社、琉球新報社 亀谷会長、稲福係長  
○平成27年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会第2回講義 中部地区医師会館
- 16木○個別指導 (2薬局) 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：宮城幸枝氏  
○平成27年度第1回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 江夏副会長  
○中部地区「抗凝固療法Network Meeting」 ラグナガーデンホテル 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
- 17金○マイナンバー&会計セミナー 浦添市産業振興センター結の街 事務局金城・前原
- 19日○第52回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップin九州・福岡 (20日迄) 福岡大学薬学部棟 親川智史氏、西坂順氏、長谷川幸司氏、普久原隆氏、宮本直樹氏  
○琉球治療院職員研修会へ講師派遣 琉球治療院 講師：笠原理事、大城恭子氏
- 21火○管理薬剤師兼務についての打合せ 会営薬局とよみ 我喜屋理事・田場英治氏、島袋陽子氏、上野邦子氏、山城課長
- 22水○子ども生活福祉部より来訪 県薬会議室 前濱副会長、村田成夫学薬部会長  
○北部地区吸入指導セミナー ホテルゆがふいんおきなわ  
○地域保健開局委員会 県薬研修室
- 23木○(株)じほうより取材 県薬会長室 亀谷会長、山城課長  
○中北部地区「CKD-MBD研究会」中部地区医師会館 共催：バイエル薬品(株)  
○平成27年度第1回医薬分業対策委員会 県薬研修室
- 24金○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局金城・前原  
○会報取材 吉原東洋堂薬局 池間記世氏 (広報委員会)、大城係長
- 27月○平成27年度第2回広報委員会 県薬研修室
- 28火○管理者会議 県薬研修室  
○在宅委員会 県薬会議室  
○財務委員会 県薬研修室  
○臨床薬剤師育成研修会 (株)ダイコー沖縄
- 29水○平成27年度第2回都道府県会長協議会 日本薬剤師会 亀谷会長  
○なごみ会主催県民健康フェア打ち合わせ 沖縄県医師会館 笠原理事、稲福係長
- 30木○個別指導 (2薬局) 沖縄県庁舎 社会保険医療担当：宮城幸枝氏  
○平成27年度第1回南部地区健康おきなわ21推進連絡会議 南部保健所 川上雄一朗氏  
○なごみ会主催県民健康フェア県薬打ち合わせ会議 県薬ホール
- 31金○第7回沖縄精神科再発予防研究会 ザ・ナハテラス 共催：ヤンセンファーマ(株)

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成27年6月

- 6土○参議院議員 島尻安伊子氏訪問「医薬分業規制緩和反対に関する陳情」および「琉大薬学部設置に関する要望書提出」 島尻安伊子事務所 神村会長、山城（事務局）
- 衆議院議員 國場幸之助氏訪問「医薬分業規制緩和反対に関する陳情」および「琉大薬学部設置に関する要望書提出」 國場幸之助事務所 神村会長、山城（事務局）
- 衆議院議員 比嘉奈津美氏訪問「医薬分業規制緩和反対に関する陳情」および「琉大薬学部設置に関する要望書提出」 比嘉奈津美事務所 神村会長、山城（事務局）
- 衆議院議員 西銘恒三郎氏訪問「医薬分業規制緩和反対に関する陳情」および「琉大薬学部設置に関する要望書提出」 西銘恒三郎事務所 神村会長、山城（事務局）
- 沖縄県薬剤師連盟「沖縄県若手薬剤師フォーラム」 シーメズクラブ那覇
- 8月○衆議院議員 宮崎政久氏訪問 宮崎政久事務所 神村会長、山城（事務局）
- 11木○平成27年度第1回全国会長、幹事長拡大会議 ANAインターコンチネンタルホテル東京 神村会長、田場常任総務
- 自由民主党 薬剤師問題議員懇談会、日本薬剤師連盟合同懇親会 ANAインターコンチネンタルホテル東京 神村会長、田場常任総務
- 19金○八重山地区薬剤師フォーラム（八重山地区定例役員会後） 大濱信泉記念館 神村会長、前濱朋子氏
- 21日○沖縄県薬剤師連盟評議員会 県薬ホール
- 22月○衆議院議員 西銘恒三郎氏来訪「医薬分業規制緩和反対に関する陳情」および「琉大薬学部設置に関する要望書提出」 県薬会長室 亀谷会長、神村武之

平成27年7月

- 10金○島尻あい子女性の会 ロワジールホテル那覇 吉田幹事長、前濱朋子氏
- 参議院議員島尻あい子自由民主党沖縄県支部連合会会長就任激励会 ロワジールホテル那覇 亀谷会長、吉田幹事長、前濱朋子氏、山城（事務局）
- 11土○南九州女性薬剤師の集い 妙見温泉ホテル（鹿児島県） 宮城総務、前濱朋子氏
- 15水○沖縄県薬剤師連盟幹事長・副幹事長会議 県薬会議室
- 25土○衆議院議員コクバ幸之助と未来を語る集い・岸田文雄外務大臣基調講演・懇親会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 亀谷会長、吉田幹事長、神村顧問
- 30木○全国藤井もとゆき薬剤師後援会役員会 主婦会館プラザエフ（東京都） 亀谷会長

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。  
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 県薬事務局（前原・大城）：098-963-8930



## 平成27年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告

日時：平成27年6月21日(日) 13:00～13:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



沖縄県薬剤師会通常総会に先立ち当連盟評議員会が開催され、司会進行は姫野耕一副幹事が務めた。

始めに、神村武之会長より挨拶され、来年の7月予定の参議院議員選挙への推薦候補者藤井もとゆき氏の必勝を期するために、職能団体として政治力が不可欠であることを改めて会員の皆様にご理解いただき、強力なお力添えを賜りたいこと等が述べられた。

続いて、吉田久子幹事長より、報告第1号平成26年度会務経過報告で、昨年度は、地方選挙、知事選挙、衆議院議員選挙と多くの選挙が行われこと、また、医薬分業の規制見直し反対への陳情および協力願いを沖縄県選出の国会議員に申し入れたこと等が報告された。

次に、報告第2号平成26年度会務並びに会計監査報告を大城桂子監事、議案第1号平成



沖縄県薬剤師連盟  
担当事務 山城 英人

26年度決算承認の件を山里勇会計担当が述べられた。議案第2号平成27年度活動計画案では、吉田久子幹事長より、来年の参議院議員選挙に向けての活動が重点項目となり、若手・女性薬剤師の集いを開催し薬剤師職能と政治の関わりについて、その重要性の啓発を行い、政治連盟への積極的な参画と活動を強化していきたいこと等述べられた。議案第3号平成27年度予算案の件では、山里勇会計担当より、若手・女性薬剤師の集いの開催や各支部での会議を予定していることで会議予算を増額していること等が提案された。議案第4号任期

満了による次期役員総務の選出を次期執行部に委任することが、神村会長より説明された。

各議題とも無事承認され、終了した。



姫野 耕一副幹事長



吉田 久子幹事長



大城 桂子監事



山里 勇会計担当

薬連だより

若手薬剤師フォーラム開催  
～薬剤師職能と政治力の必要性について～

日時：平成27年6月6日(土) 19:30～22:00

会場：シーメンズクラブ那覇

＜式次第＞

1. 開会あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 全国若手薬剤師フォーラム参加して
4. 全国女性薬剤師の集い2015に参加して
5. 講演「日本薬剤師連盟の歴史」
6. 閉会あいさつ

司会	青年部会	上原 卓朗
	青年部 部会長	石川 恵市
	沖縄県薬剤師連盟会長	神村 武之
	青年部会	名嘉 紀勝
	沖縄県薬剤師会常務理事・連盟総務	宮城 敦子
	沖縄県薬剤師会常務理事	前濱 朋子
	日本薬剤師連盟副会長 兼 幹事長	岩本 研
	沖縄県薬剤師連盟幹事長	吉田 久子

去る6月6日、シーメンズクラブ那覇にて、青年部会主催の『沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム』が開催された。

日本薬剤師会より、日本薬剤師連盟副会長兼幹事長の岩本研先生を演者にお招きし、日本薬剤師連盟の歴史から薬剤師職能と政治との繋がりを幅広く講演していただいた。テーマのポイントでもあった『政治』は、普段あまり関わりがないように思われがちで、敬遠される事も少なくない。よって、参加人数が少ないのではと不安視していたが、開催場所が独特な雰囲気を堪能できるということもあってか、予想を上回る43名の参加となった。今回は初参加の先生方が多く、中には女性一人で参加された方もいて、大変喜ばしいかぎりであった。また、合間に全国女性薬剤師の集いや全国若手薬剤師フォーラムへの参加報告等で、政治関連の内容をスライドを用いて柔軟かつ楽しく話していただいた事も、場の雰囲気を和ませてくれた要因となった。報告していただいた3名の先生方には、ここで改めて感謝を申し上げたい。



青年部部会長  
石川 恵市

青年部会の趣旨として、若手や先輩方との交流及び様々な意見や情報交換の場を設けるという目標を掲げている。今後は、各地区の若手薬剤師同士の活動を推進し、青年部会組織内だけではなく他組織との横の連携を保ちながらコラボレーションしていきたい。そのためにも、いろんな地区での開催も検討しており、初めての先生方も気軽に参加していただきたい。参加していただく事で、年齢にとらわれずにより多くの繋がりを作っていただき、結果として個々のスキルアップに役立てていただければ幸いである。もちろん、先輩の先生方も大歓迎ですので、心よりお待ちしております！

引き続き、今回のフォーラムに参加いただいた盛本直也先生の報告文をお楽しみ下さい。



岩本 研氏



左より 前濱朋子常務理事、宮城敦子常務理事  
石川恵市青年部部会長、名嘉紀勝氏



吉田 久子  
幹事長



司会  
上原 卓朗氏

## ＜若手薬剤師 フォーラムに参加して＞



ヴァインドラッグ 末吉薬局  
盛本 直也

シーメンズクラブという聞きなれない場所でのフォーラムということで、内容半分・興味半分で参加させていただきました。会場の雰囲気はいきなりアメリカンな感じが漂う素敵な空間でした。会場には多くの薬剤師の方々が集まっており、既に若いパワーがみなぎっている雰囲気の中、若手を支えるベテラン薬剤師の先生方も共に参加している姿を見て、沖縄県薬剤師会の結束の強さを見ることができました。

講演会では日本薬剤師連盟副会長兼幹事長の岩本研先生により、これまでの日本薬剤師会の歴史を紐解き医薬分業にいたるまでの経緯などを聞くことができました。今でこそ医薬分業があたりまえの時代に、現在に至るまでに多くの薬剤師の先生方が労して、薬剤師の地位と働く場所を開拓し、そのおかげで今の我々が活躍できる場所があるということに感銘を受けました。私の世代では病院の薬は院外の薬局で受け取るのがあたりまえと言う感覚でしかなく、その分業も国が進めてきたものとしか認識していませんでした。しかしながら実際には、先輩方による医薬分業への決起集会や医師会との話し合い、国会での法案成立までの道筋を実際に聞いたことがなかったもので、その話を聞いて、薬剤師の国会議員は我々の代表として薬剤師の医療人としての地位を保ち、さらに高みへと引き上げるためにも必要不可欠であること、その議員をサポートしていくことがどれほど必要であるかということを知りました。同時に先人の薬剤師が築き上げてきた地位や名誉、そして勝ち取ってきた医薬分業、薬のスペシャリストとしての誇りを



我々が地に落としてはいけないというプレッシャーも同時に受けたことも事実です。

最近では報道などで薬局のあり方がクローズアップされることがあります。なぜでしょうか？点数だけが問題なののでしょうか？金額が問題なののでしょうか？一番問題なのは我々薬剤師自身の姿勢や態度ではないのでしょうか？点数に見合った情報提供、金額に見合った接遇をしていれば患者様からのクレームや報道で取り上げられるようなことはなくなるのではないのでしょうか？それをしていないから患者様から不信感を抱かれる結果に繋がるのではないのでしょうか？

そのような意味でも今の薬剤師は大きな変換期に立たされていると感じます。先輩方の費やしてきた時間・努力を無駄にしないためにも、なぜ薬剤師が必要なのか、薬剤師とは何か、を今後積極的に伝えていくべきだと感じます。そのためにも地域の方々への健康相談会にも積極的に参加し、かかりつけ薬局となるための真摯な取り組みをしていく時ではないのでしょうか。

今回のフォーラムを通して身が引き締まる思いで、自分自身薬剤師としてどうあるべきかを考えさせられました。このような時間を作ってくださった皆様に感謝申し上げます。



沖縄県薬剤師連盟「若手フォーラム」記念撮影

## 薬連だより

### 国会レポート

#### スイッチOTCの促進とセルフメディケーション



文部科学副大臣・参議院議員 藤井 基之

日本列島各地は30度を超す真夏日を記録するなど、5月としては例年にない暑さとなりました。インドでは南部を中心に50度近い熱波が襲い、多くの死者が出たと報じられています。やはり地球温暖化の影響なのでしょう。

大相撲夏場所に幕内初優勝を果たした照ノ富士関、平成生まれとして初の大関昇進が正式に決まりました。昇進伝達を受けた照ノ富士関は「今後も心技体の充実に努め、さらに上を目指して精進いたします」と平易な言葉ながら、更なる活躍を期待させる力強い決意を示しました。不祥事で一時低迷した大相撲人気も本格回復の兆しを見せています。

さて、「一般用医薬品の地域医療における役割と国際動向に関する研究報告」が5月20日に公表されました。本研究報告はスイッチOTC医薬品のあり方について、生活者の意識調査や欧米などの諸外国におけるスイッチ化の実情など、その要件や安全対策についての調査結果を踏まえ、医師・薬剤師等の専門家の意見を集約し、慶応義塾大学薬学部長の望月眞弓先生が研究代表として、とりまとめたものです。

研究報告書では、「承認審査に先立つスイッチOTC医薬品の候補品目の選定について、多様な主体からの提案を認めることとし、専門家を中心とした一般消費者も含めた場において、提案者等のヒアリングを行うほか、パブリックコメントの実施等を通じて、広く一般からの意見提出が可能な仕組みを設けるなど、従来の薬事・食品衛生審議会における意

思決定の仕組みを改善しつつ、より透明性を確保することが重要である。」としています。

また、「医薬品がより適切に、かつ安全に使用されるために、医療関係者から患者への説明だけではなく、使用者である患者自身が副作用の存在など医薬品に対する理解を深め、自ら納得した上で医薬品を使用することが求められている。」とし、「信頼され、安心して使用できる一般用医薬品であるためには、適正使用や安全性に関する適切な情報提供を行うなどの、医師、薬剤師等の専門家の関与が求められている。」としています。

昨年6月の「日本再興戦略」改訂2014において、セルフメディケーションの推進に向け、医薬品のスイッチOTCを加速するための措置を講ずるよう求められていた厚生労働省は、この研究報告内容を踏まえた新たな、医療用医薬品の有効成分の一般用医薬品への転用の仕組みの導入について、5月29日開催の「薬事・食品衛生審議会 要指導・一般用医薬品部会」に提示しました。

本格的な高齢化社会を控え、健康長寿の願いに応えるためには、セルフメディケーションの推進はより一層大切になっており、地域健康情報拠点としての薬局、薬剤師への期待も益々高いものとなっています。

ところで、6月4日夜9時のBS11の生放送番組「報道ライブ21 IN side OUT」に出演依頼を受け、医薬分業の必要性や「かかりつけ薬局」の大切さなど、お話しさせていただきました。国民の皆さんの正しい理解につながればと思っています。

## 薬連だより

国会レポート  
「骨太方針2015」

文部科学副大臣・参議院議員 藤井 基之

FIFAが汚職問題で揺れるなか開催された、カナダでの女子サッカーワールドカップ、前回優勝の“なでしこジャパン”は、期待通り3戦全勝の1位でグループステージを通過、決勝トーナメントは何れも僅差ながら順調に勝ち進み、決勝は前回大会と同じアメリカとの一戦、私も政府代表として急遽応援に駆けつけましたが、惜しくも連覇はなりません。なでしこたちの戦いぶりには賞賛と労いの言葉を送りたいと思います。

さて、政府は6月30日、「経済財政運営と改革の基本方針2015」（いわゆる「骨太の方針2015」）、『「経済再興戦略」改訂2015』及び「規制改革実施計画」を閣議決定しました。

骨太の方針では、最近の企業収益の改善や株価上昇、雇用環境の改善といったアベノミクスによる経済再生と、それに伴う財政状況の改善を評価したうえで、人口減少・高齢化が一層進展するなか、赤字が継続している我が国の財政とその大宗を占める社会保障制度が立ち行かなくなることは明らかとして、2020年度の財政健全化目標の達成に向けて、経済と財政の改革に不退転の決意で断行するとしています。

医薬品等に関する具体的な事項としては、○後発医薬品に係る数量シェア目標を平成32年度末までのなるべく早い時期に80%以上とする。また、臨床上必要性の高い基礎的医薬品の安定供給、新薬の適正評価等を通じた医薬品産業の国際競争力強化について検討する。○薬価改定のあり方について、平成30年度までの改定実績も踏まえ、その頻度も含め

て検討する。○薬局について、薬剤師による効果的な投薬・服薬管理や地域包括ケアへの参画を目指すとともに、服薬管理や在宅医療等への貢献度による適正な評価を行い、患者本位の医薬分業の実現に向けた見直しを行う。ことなどが示されています。

また、規制改革実施計画は先の規制改革会議の答申を踏まえて策定されたもので、○薬局における診療報酬とサービスのあり方について、門前薬局の評価を見直すとともに、努力した薬局・薬剤師が評価されるようにする。○医薬分業の本旨を推進する中で、患者の薬局選択の自由を確保しつつ、患者の利便性に配慮する観点から、保険薬局と保険医療機関の間で、患者が公道を行き来することを求め、また、その結果フェンスが設置されるような現行の構造上の規制を改める。○市販品類似薬について、負担の不公平が生じやすいとの指摘を踏まえ、実効性ある適正給付のあり方を検討する。ことなどを挙げています。

今後これらの決定内容を踏まえ、具体的な検討が厚生労働省等で進められることとなりますが、質の高い医療の確保や社会保障制度の安定に向け、引き続き努めて参ります。

ところで、来年夏の参議院議員選挙まで1年となりました。6年前の今頃は、北海道から九州・沖縄まで全国を駆け回っていたのを思い出します。現在は文部科学副大臣として公務に追われる日々が続き、各地での薬剤師会の会合などにも思うように出席できない状況です。関係者の皆様方にご迷惑をお掛けしていますこと、改めてお詫び致します。

## 入院学級

今年は悲惨な戦争から70年になる。県民の4人に1人が犠牲になった。沖縄の地上戦、平和の礎に刻まれた名前は24万余人である。今年も6月23日に不戦を誓い、平和の祈りの式典が挙行された。大事な家族を失い、友を亡くした戦争体験者の切なる思いを若い人達がどう受け止め、次の世代へ伝えてゆくのだろうか。こんな時に、である。安保関連法案が衆議院で強行採決された。集団的自衛権の行使に道を開くものだと国論を二分し論戦が展開されてゆく。また、沖縄では普天間基地の危険性除去と日米安保の関連抑止力の強化を前面に名護市辺野古へ移設を進めるため政府は走り出している。それに対して去年12月の沖縄県知事選挙で、「辺野古移設はNOだ！新しい基地は造らせない！」との民意が示された。今、沖縄県知事はこれを力として日米政府の高く厚い壁に立ち向かっている。60年安保の時、国会議事堂の周りにデモ隊の1人となって安保法の成立に無念の思いをしたものだが、今、このヒートアップの時、ギャラリ的であるのは大いに気が退けるのである。

ヒートアップと言えば、自然現象も大いにヒートアップしている。台風9号が過ぎ去って梅雨も明けると日本中が猛暑となる。35度以上はざらで、39度になる地域があり熱中症で搬送される患者が一日数百人もあり死者も数人出るという。文明の進展により吐き出されたCO<sub>2</sub>などで地球温暖化が進み、世界的な天候異変である。フェーン現象などで地球が怒っている。熱中症は高齢者が特に危ない。脱水症状になっても喉の渇きを知覚せず、水分補給が遅れてしまう。生命の危険である。加齢故である。人間の体は約60兆の細胞からなる。最初はひとつの受精卵が2分割しスタート。分裂した細胞の一つ一つが成長し組織をつくり、器官を形成してゆく。約25歳～30歳くらいの成長のピークとなると次に細胞の一つ一つが老化し、ゆっくりと組織、器官もその機能が衰えてゆく。いわゆるライフサイクルである。生老病死である。これを加齢ともいうのだろう。

小生もこの頃、大いに加齢を感じるところである。チョッピリ情けないがこんな体験をした。イヤ、この体験は現在もINGである。

去年の12月、これまで足のしびれや痛みが時々あったのだが、急に頻繁になり、約30分の通勤距離を5～6回しびれと痛みのため休まなければならないのである。背中を丸めて20秒くらい立ち止まると回復するので、また歩き出す。いわゆる間欠跛行である。馬尾型・神経根型の症状のようだ。しばらく頑張っていたが、3月になって、ついに整形外科を受診する。ドクターがMRIの画像を見ながら、2枚のパンフレットのイラストは同じだが、一つは椎間板ヘルニア、一方は腰部脊柱管狭窄症である。

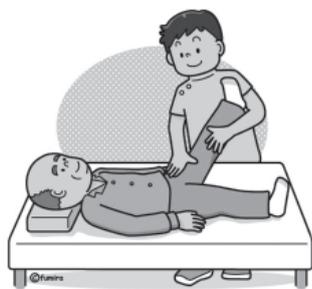
「ヘルニアの方は30代、40代の方が多く、ストレッチと薬で完治するが、貴方のものは進行するばかりで、手術が、しびれ、痛みからの解放に一番ですね。しびれ、痛みの原因は加齢ですから……画像的には悪いです。この手術はここ20年間でもとても進んでいるので安心ですよ。」と言う。そう言えば、小生もカレーライス（加齢米）を70年食べ続けているのだから……。

何度か通院した後、ついに我慢ができなくなり、手術をしてくれる先生に紹介状を書いてもらった。〇〇病院の整形外科のN先生に診てもらうことになった。ここでもレントゲン、MRIの画像を見ながら説明を受ける。「4番、5番の間がほとんど潰れ、神経を圧迫しています。3番、4番の間も狭くなっていますので、同時にやった方が良いでしょう。背部に5cm程開けて顕微鏡で見ながら広げましょう」広げるとは、実は骨を削る事なのだ。穏やかな笑顔で自信に満ちた声は信頼度抜群である。「頑張りましょう」と言われて不安が吹っ飛んだものである。

色々な検査、感染症防止の口腔ケアなど終えて、4月20日にいよいよ手術である。ベッドに乗せられ手術室へ運ばれる。麻酔のドクターと2～3言葉を交わす。「始めますよ」「どうぞよろしく」スタートする。名前を呼ばれて目を開ける。「いよいよ始まりますか？」と言うと「終わりました。2時間程かかりました」「ええっ！手術は済んだのですか？」「無事に済みました」小生の知覚感覚、人格までが2時間の間、この世から消えていたのか、麻酔の力に驚きである。一晚、観察室で過ご

し、3日目には点滴が取れた。手術後の経過は順調であった。ドクターは毎朝8時15分には回診に訪れる。「頑張ってるね」と声をかけてくれる。これからは自分の体力、自然治癒力、それにリハビリに助けてもらうのである。今までの下肢のしびれと激痛が消えたのは大きな喜びである。

理学療法士や作業療法士の方の指導でメニューを実行するのだが、リハビリ室は満杯である。様々な疾患で来ているのだろう。小生より先輩の方が多いようだ。自分の立場境遇に肩を落としているのだろうか。若い頃、家族のために働き、自分のために楽しんだ事にここでは達成感を持ちながら頑張っているのだろうか。ここでの小生の仕事は朝、昼、



夕きちんと食事を取り体力をつけること。一日2～3回のリハビリで運動機能を高めることである。

その他は時間がたっぷりあるので

ラジオを友に耳学問である。朝の6時からマイクの前で仕事をする人、深夜まで働く人、色々な生活のパターンに出会うことが出来る。政治、経済、文化、音楽など、仕事に追われて気が付かなかった事も耳から入ってくる。努力しなくても知識を広げるのは「今、でしょう！」である。小生の入院学級である。2人の幼い孫が母親に連れられてやってきた。もう一人の帰省中の娘もいて家族が揃った。小生におかまいなく無心に遊ぶ孫達を見ると心が和む。この子達の時代も戦争のない平和な世の中でありますように・・・祈るような気持ちになるのだ。ひとしきり賑わしてから引き上げて行った。病室にポツンと一人だ。ラジオのスイッチを入れると歌が流れる。“桜の花の下で見る。夢にも似てる人生さ、純で行こうぜ、愛で行こうぜ、生きてる限りは、青春だ～・・・”

そうだ、今年も「熟年の集い」に参加して青春をしようかな。

橋の下

## 会報原稿募集のご案内

### 広報委員会

ととし  
お寄せ  
下さい!

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

#### 【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

#### 【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

#### 【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

#### 【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

#### ☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10  
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp



## 誌上ギャラリー（裏表紙）について

上：「雲海を臨む」 photo by 成川 玲子（レオナ薬局・那覇市） 撮影地：南アフリカケープタウン

中央：「水深15mから振り返った水面」 photo by 西坂 順（ふく薬局うむさ店・名護市） 撮影地：波照間島

下：「涼し気なヒカゲヘゴの群生」 photo by 亀谷 浩昌（沖縄県薬剤師会）

撮影地：名護市二見から329号線を下って世富慶の近く

### 編 集 後 記

某団体が脚本賞の作品を募集した。その企画に携わっている縁で脚本賞の審査会に立ち会うことを許された。最終審査会は芥川賞直木賞に倣って（?）、やはり高級料亭が舞台だ。審査員の「プロの目」はさすがに厳しい。表現力だけではなく創造性や構成の力量も求められる。さて、2次元的に書かれた文章は、読者の創造性をもってそこから3次元的な世界が広がっていくのだ。書き手と読み手、両者の創造性が融合されたとき、そこに感動が生まれるのだろう。広報委員として取材記事や報告記事を書いているが、「心が動く」「腑に落ちる」メッセージを伝えていきたい。

（クララ）

今週末いよいよ、全国薬剤師フォーラムに参加するため千葉へ出発だ。台風接近が懸念されたが、うまい具合にそれてくれて影響もなさそうだ。2日間のスケジュールがびっしり埋まっており、眠くならないか心配である…。実は、全国薬剤師フォーラムへの参加は2回目、前回は懇親会の後にスモールグループディスカッションがあり、ほろ酔いながらの討論で大盛況?だったのを覚えている。今回は順序が逆になっているので、何かしらのクレームがあったのかな?（笑）とにかく、フォーラムは様々な人達との交流が醍醐味であり魅力的でもある。今回はどのような形での討論になるのか楽しみだ! 詳細は追って報告するとしよう・・・（ごり）

今年アメリカのTIME誌が発表した「世界で最も影響力のある100人」に村上春樹氏とともに選出された「こんまり」こと近藤真理子氏。著書「人生がときめく片づけの魔法」は世界30カ国以上で出版され、200万部以上の売り上げを記録しているという。世界中で整理・整頓・片づけに悩んでいる人がこんなにもいるとは驚きであり、また勇気づけられる。整理・整頓まるで苦手な私は、いくら本を読んでもいっこうに「魔法」のように片付かないのである。彼女の著書によると、「書類は全捨てが基本」とバッサリである。薬局の仕事は何もしなければ書類は毎日毎日たまるばかりである。医薬品情報関連文書・薬剤師会関連文書等々よほど意識して行動を起こさなければ書類が減ることはない。しかも法律で定められた保管期間のある重要書類も多々あって薬局の空きスペースを占領し、はては置き場に困って自宅までも倉庫化する勢いである。早く何とかしなければと焦る毎日なのだが・・・。（ピアナ）

活字が好きだ。暇さえあれば追っていたと思う一布団から出て読んで、歯磨き中も読んで、職場で読んで、料理中に読んで、広報の会議前に読んで、寝る直前も読んで。そんな私に新アイテムが投入された。—Kindle!! 買ったものがすぐ読めるその手軽さに負け、じゃんじゃかカートに入れて読んでいる。まんまとamazonの謀略にかかっているではないか・・・（いさ吉）

広報委員会として『熟年の集い』に参加した。お世話係で参加のはずが、「もうそんな年齢だったのね」と言われ、元気に「はい」と答えたところ、冗談ではなく本気で尋ねられていたことが判明。しかし、周りにいらっしゃる先生方のパワーからすると、お疲れモードで睡眠不足の私は、誰よりも老いていたに違いない。3日前に2名の友人から、同僚の女性先輩薬剤師（65歳、67歳）が80歳まで現役を目指しておられると聞き、すごいと思ったが、集いに参加された先生方なら、まだまだいけそう。しかし、あと20年、30年後はどうだろう？働きたくても働く場所があるのか？薬連の女性薬剤師大会で南九州班で出した参院選に向けてのキャッチフレーズ「いつまでもあると思うな、医薬分業 自分の生活は基之と守ろう」が思い出された・・・

(TOMO)

久しぶりにお薬相談会に参加しました。老若男女問わず、思ってた以上に訪れる人が多くて嬉しい悲鳴でした。処方箋がなくお話をすることがたくさんあるのだなと肌で感じました。よしっ、次も参加するぞっ！（みつなり）

迷走台風11号の影響で数か月かけて準備を進めていた糖尿病関連のセミナーが中止になりました。開催直前まで、セミナーを開催するかどうかの難しい判断を迫られましたが、当日開催予定の様々なイベントが相次いで中止を決めていたこともあり、開催前日の朝8時に中止を決定しました。当日は本島中・南部地区は台風の影響はほぼありませんでした。ただし北部の状況を考えると、主催者として中止は正しい判断であったと考えています。ただ本心を言えば、念入りな準備をしていたため中止はすごく残念な気分です（; ;）。

(三郎)

先日、糸満ハーリーがあり参加してきました。一昨年も参加させてもらったのである程度のはわかってはいるつもりでしたがやはり大変でした…。後半になると權をこぐ手は震え、いつの間にか、無理をしないように浅くこぐようになっている始末。ゴールの後はどうも他者のレースを見る他ありませんでした。是非、このきつさはみんなに分かってもらいたい！というわけで来年のハーリーに参加する薬剤師を募集いたします（笑）。

(松)



## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報 第277号 平成27年8月18日発行

◇次号は、平成27年10月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／亀谷浩昌・池間記世・前濱朋子・砂川智子・鈴木一徳  
石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子  
八重山地区通信員／宮良善朗 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 Skill



誌上ギャラリー（会員作品）お気軽にご投稿下さい。